AM/FMラジオ＆CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

Mercedes-Benz

表記と記載内容について

マーク	内容
*	オプションや仕様により異なる装備には * マークが付いています。
⚠	**警告** 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
!	**注意** けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
ⓘ	**知識** 知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
▶	操作手順などを示しています。
(▷ ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。

お客様へ

このたびはメルセデス・ベンツ車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、AM/FM ラジオ & CD/DVD プレーヤー、およびオプション装着の HDD ナビゲーションシステムや地上デジタル放送用テレビチューナーについての取り扱い方法、機能を十分に発揮させるための情報などを記載しています。

車および本機をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。

ご不明な点は、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

- 取扱説明書は、いつでも読めるように必ず車内に保管してください。
- 車両の取り扱いに関しては、別冊の取扱説明書（車両本編）をお読みください。
- 車を次のオーナーにお譲りになる場合は、車と一緒にすべての取扱説明書と整備手帳をお渡しください。
- 表紙の画像はイメージであり、日本仕様とは異なる場合があります。
- 本書で使用しているイラストは、オプション装着の HDD ナビゲーションや地上デジタル放送用テレビチューナー、メディアインターフェースを装備した状態のものを使用しています。
- 装備の違いや仕様の変更などにより、本書に記載されている機能や記述、イラストや画面表示などが、お買い上げいただいた車とは異なることがあります。
- 本書に記載されている機能や記述、イラストや画面表示などは、取扱説明書作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 本書に記載されている画面表示は、該当する操作やモードを説明するための代表例です。該当する操作やモードと関係のない表示内容については、実際の画面と異なることがあります。

  また、表示内容を一部記載していないことがあります。

ℹ メルセデス・ベンツ日本㈱ 公式サイト

http://www.mercedes-benz.co.jp/

メルセデス・ベンツ日本株式会社

さくいん………………………………… 4
安全のために……………………………… 14
はじめに………………………………… 15
システム………………………………… 29
ナビ……………………………………… 45
電話……………………………………… 125
オーディオ……………………………… 175
テレビ / DVD ビデオ …………… 223
音声認識………………………………… 247

ア

アドレス帳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **154**
Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードする・・・・・・・・ 164
アドレス帳から電話を発信する・・・・・・ 159
アドレス帳からナビの目的地を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162
アドレス帳基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
アドレス帳データの詳細を表示する・・ 156
アドレス帳データを削除する・・・・・・・・ 163
アドレス帳データを編集する・・・・・・・・ 158
アドレス帳のデータを新規作成する・・ 155
アドレス帳を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154
一時データを保存データに移行する・・ 166
位置データを登録する・・・・・・・・・・・・・・ 159
メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165

アドレス帳から電話を発信する ・・・・・・・・ **159**

アドレス帳からナビの目的地を設定する 162

アドレス帳基本画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **155**
アドレス帳のデータを検索する・・・・・・ 155
アドレス帳のデータを選択する・・・・・・ 155

アドレス帳データの詳細を表示する ・・・・ **156**
データの項目を選択する・・・・・・・・・・・・ 157
データの詳細を表示する・・・・・・・・・・・・ 157
電話番号のカテゴリーを示すアイコン 157

アドレス帳データを削除する ・・・・・・・・・・ **163**
個別に削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
属性ごとに一括して削除する・・・・・・・・ 163

アドレス帳データを編集する ・・・・・・・・・・ **158**
電話番号のカテゴリーを変更する・・・・ 159

アドレス帳のデータを新規作成する ・・・・ **155**

アドレス帳を開く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **154**
電話の他の画面から開く・・・・・・・・・・・・ 154
他のアプリケーションから開く・・・・・・ 154

アプリケーションについて ・・・・・・・・・・・・・ **16**
HDD ナビゲーションシステム、地上デジタル放送用テレビチューナーについて・ 17
各アプリケーションの主な機能・・・・・・・ 17

アプリケーションを切り替える ・・・・・・・・・ **22**

アプリケーションを切り替える音声コマンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **252**

安全に使用するために（音声認識） ・・・・・ **248**

安全に利用するために ・・・・・・ **183、224、235**

安全のために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **14**

一時データと保存データについて ・・・・・・ **145**
一時データについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
保存データについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 146

一時データを保存データに移行する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **153、166**

位置データを登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ **159**
アドレス帳データを新規に作成して位置データを登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
位置データを削除する・・・・・・・・・・・・・・ 161
既存のアドレス帳に位置データを登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161

インタラクティブコンテンツ ・・・・・・・・・・・ **246**

オーディオの構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **176**

音楽再生（ディスク / メモリーカード）183
CD / DVD オーディオ、メモリーカードを開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190
Gracenote Media Database ・・・・・・・・ 198
SD カードの挿入 / 取り出し・・・・・・・・ 189
安全に利用するために・・・・・・・・・・・・・・ 183
音楽再生（ディスク）に関する注意・・ 186
再生できるディスクについて・・・・・・ 186
再生できるデータについて・・・・・・・・ 186
ディスクの取り扱いに関する注意・・ 187
マルチセッション CD について・・・・ 187
基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192
グループの選択（DVD オーディオ）・・ 197
再生可能なオーディオフォーマット・・ 184
MP3 データについて ・・・・・・・・・・・・・ 184
WMA データについて ・・・・・・・・・・・・ 185
再生できる SD カードについて ・・・・・・ 189
再生できるメディアについて・・・・・・・・ 184
再生の停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 195
再生モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
サウンドの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199
選曲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
著作権に関する注意・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
ディスクの挿入 / 取り出し ・・・・・・・・・ 187
ディスクを挿入する・・・・・・・・・・・・・・ 188
ディスクを取り出す・・・・・・・・・・・・・・ 188
早送り / 早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・・ 193

フォルダの選択（MP3）・・・・・・・・・・・・・ 197

音楽再生（ディスク）に関する注意・・・・186

音楽再生（ミュージックレジスター）・・・199

音楽 CD のデータをミュージックレジスターに録音する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・204

再生の停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・202

再生モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・203

サウンドの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・208

すべての音楽データを削除する・・・・・・ 207

選曲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・201

早送り / 早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・ 201

フォルダの選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・204

フォルダやアルバム、トラックの名前を編集する / 削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 207

ミュージックレジスター基本画面・・・・ 201

ミュージックレジスターを開く・・・・・・ 199

メモリ容量を表示する・・・・・・・・・・・・・・ 207

音楽再生（メディアインターフェース）・209

カテゴリーの選択（iPod® 接続時）・・ 216

ご使用の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・209

再生の停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213

再生モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213

サウンドの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 217

選曲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 212

早送り / 早戻しする ・・・・・・・・・・・・・・ 212

フォルダの選択（USB 機器接続時）・・ 215

メディアインターフェース基本画面・・ 211

メディアインターフェースを開く・・・・ 210

音質・音場の調整・・・・・・・・・・・・・・・・234、246

音声案内の音量を調節する・・・・・・・・・・・・251

音声コマンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・252

アプリケーションを切り替える音声コマンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・252

音声コマンドの訂正・・・・・・・・・・・・・・・・ 291

各アプリケーション内で使用する音声コマンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・257

施設ジャンルの音声コマンド一覧・・・・ 291

数字の読み方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・296

ヘルプ機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・290

音声コマンドの訂正・・・・・・・・・・・・・・・・・291

音声認識機能の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

音声認識学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

音声認識機能のヘルプ表示の設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

音声認識設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・251

音声認識学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251

ヘルプ表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251

音声認識を使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・249

音声認識を中止する・・・・・・・・・・・・・・・・・・251

音量の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

オーディオやテレビ、DVD ビデオの音量を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

通話時の音量を調整する・・・・・・・・・・・・・ 25

ナビの音声案内の音量を調整する・・・・・ 25

カ

外部入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・218

外部機器の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218

外部入力を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218

サウンドの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219

入力レベルの補正・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219

各アプリケーション内で使用する音声コマンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・257

AM、FM ラジオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 257

音楽 CD / DVD オーディオ / ミュージックレジスター / メモリーカード ・・・・・ 259

テレビ / DVD ビデオ ・・・・・・・・・・・・・・ 267

電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 271

ナビ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 273

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

画質・画面の調整・・・・・・・・・・・・・・・233、241

画質の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233、241

画面比率の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 242

画面表示の消去・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

既存のデータに電話番号を追加登録する 149

機能の制限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・237

基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・192

DVD オーディオ再生時 ・・・・・・・・・・・・・ 192

MP3 再生時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193

音楽 CD 再生時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192

基本画面と全画面表示の切り替え 229、239

基本機能（音声認識）・・・・・・・・・・・・・・・・・248

音声案内の音量を調節する・・・・・・・・・・ 251

音声認識設定 251
音声認識を使用する 249
音声認識を中止する 251
ご使用になる前に 248

設定基本画面にする 30

決められた場面に移動する 246

グループの選択（DVD オーディオ） 197

携帯電話の Bluetooth® 接続 127
携帯電話の詳細情報を表示する 130
携帯電話の認証を解除する 131
携帯電話を認証する 127
使用する携帯電話を切り替える 132

携帯電話の詳細情報を表示する 130

携帯電話の認証を解除する 131

携帯電話を認証する 127
COMAND システムから携帯電話を検索して認証する 127
携帯電話から COMAND システムを検索して認証する（外部認証） 130

言語の設定 31

交通情報（AM ラジオ） 182

国際電話 144
国際プリフィックス番号の設定 144

ご使用になる前に（音声認識） 248

ご使用になる前に（電話） 126
安全上のご注意 126
機能の制限 126

ご使用の前に（ナビ） 46
安全上の注意事項 46
コンパス表示 57
全画面表示 48
全般的な注意事項 46
地図ソフトの更新 46
地図の縮尺を切り替える 49
地図のスクロール 51
ナビ基本画面 49
ナビ設定 56
ナビを開く 48
入力制限について 48
表示設定 52

こんなときは 118
現在地（自車位置）を補正する 122

コンパス表示 57

サ

再生可能なオーディオフォーマット 184

再生できる SD カードについて 189

再生できるメディアについて 184

再生の停止 195、241
DVD オーディオのとき 195

再生モード 196

サウンドの調整 27、183、199
音質の調整 27
音場の調整 28

サブタイトルとカメラアングル 245

自局番号を表示する 143

システム設定 30
Bluetooth® の設定 35
音声認識機能の設定 33
言語の設定 31
システムのリセット 41
ディスプレイの設定 32

システムのリセット 41

施設ジャンルの音声コマンド一覧 291

施設を選択する 70

自宅を目的地に設定する 58
自宅の設定を削除する 59
自宅を設定する 58

車内マイクをオフにする 139

周辺施設の表示と検索 68
施設を選択する 70
周辺施設を検索する 68

周辺施設を検索する 68
"現在地" または "カーソル周辺" を選択したとき 69
"目的地周辺" を選択したとき 70
"ルート周辺" を選択したとき 70

受話音量 / 発声音量を調整する 142

使用する携帯電話を切り替える 132

情報メニューの表示 228、239

数字の読み方（丁目、番地、号） 296

数字の読み方（電話番号、郵便番号） 296

ステアリングスイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
全画面表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
選曲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
全般的な注意事項（ナビ）・・・・・・・・・・・・・・・46
GPS 信号の受信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
車を輸送した後にルート案内を使用するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
その他の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
ハードディスクについて・・・・・・・・・・・・・・ 47
全ルート図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
地図のスクロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
ルート案内の開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
ルート条件の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
走行中の映像表示について・・・・・・・224、235

タ

タイトルを選択する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・245
地上デジタル放送について・・・・・・・・・・・・・224
地上デジタル放送化のスケジュール・・225
地上デジタル放送とは？・・・・・・・・・・・・・224
地上デジタル放送の特徴・・・・・・・・・・・・・224
フルセグメント（12 セグメント）地上デジタル放送の受信エリアについて・・・・225
地図・情報について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
地図記号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
地図記号の例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
道路種別マーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
地図上に VICS 情報を表示する・・・・・・・・・ 111
地図ソフトの更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
地図の縮尺を切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・49
地図の距離表示の例・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
地図のスクロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
地点の検索方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
アドレス帳検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
以前の目的地から検索する・・・・・・・・・・・・ 99
すべての目的地履歴を削除する・・・・100
目的地履歴をアドレス帳に保存する 100
目的地履歴を削除する・・・・・・・・・・・・・ 99
施設検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
住所検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
地図から指定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
電話番号検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
名前検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
検索結果をさらに絞り込む・・・・・・・・・ 90
入力文字履歴から検索する・・・・・・・・・ 93
メモリ地点からの検索・・・・・・・・・・・・・・・ 98
郵便番号検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101
着信・発信履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
COMAND システムをオフにしたときの履歴削除の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・142
ディスプレイに着信 / 発信履歴を表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
マルチファンクションディスプレイに発信履歴を表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
履歴画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
履歴の詳細を表示する・・・・・・・・・・・・・・・ 141
履歴をアドレス帳に登録する・・・・・・・・ 141
駐車場情報を検索する・・・・・・・・・・・・・・・・・108
著作権に関する注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・184
通過点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
通過点位置の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
通過点の入れ替え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
通過点の削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
通過点を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
通話を終える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138
割込み通話があったとき・・・・・・・・・・・・・138
ディスクの挿入 / 取り出し ・・・・・・・・・・・・187
ディスクの取り扱いに関する注意・・・・・・236
ディスプレイの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
ディスプレイの色調を設定する・・・・・・・ 32
ディスプレイの照度を調整する・・・・・・・ 32
ディスプレイの表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ディスプレイの手入れ・・・・・・・・・・・・・・・ 21
データの検索方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169
テレビ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・224
B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用カード）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・227
B-CAS カードについて ・・・・・・・・・・・・・226
安全に利用するために・・・・・・・・・・・・・・224
音質・音場の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・234
画質・画面の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・233
基本画面と全画面表示の切り替え・・・・229
情報メニューの表示・・・・・・・・・・・・・・・・228
走行中の映像表示について・・・・・・・・・・224

地上デジタル放送について・・・・・・・・・・ 224
テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え ・・・・・ 230
テレビを開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
放送局の選局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230
放送局のプリセット・・・・・・・・・・・・・・・・ 232

テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え ・・・・・・・230

テレビを開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・228
DVD ビデオから開く ・・・・・・・・・・・・・・・ 228
他のアプリケーションから開く・・・・・・ 228

電源のオン / オフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
国際電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 144
ご使用になる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
自局番号を表示する・・・・・・・・・・・・・・・・ 143
車内マイクをオフにする・・・・・・・・・・・・ 139
受話音量 / 発声音量を調整する ・・・・・ 142
着信・発信履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140
通話を終える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138
電話基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
電話の着信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
電話の発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
電話を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134

電話基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135

電話帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146
Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードする・・・・・・・・ 152
一時データを保存データに移行する・・ 153
既存のデータに電話番号を追加登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149
電話帳画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
電話帳から電話を発信する・・・・・・・・・・ 147
電話帳データの詳細を表示する・・・・・・ 147
電話帳データの属性を示すアイコン・・ 147
電話帳データを削除する・・・・・・・・・・・・ 150
電話帳のデータを新規作成する・・・・・・ 148
電話帳を閉じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147
複数の電話番号が登録されているとき 147
マルチファンクションディスプレイへの電話帳表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152

電話帳画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146

電話帳から電話を発信する・・・・・・・・・・・・・147

電話帳データとアドレス帳データ・・・・・・145
電話帳データとアドレス帳データについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
電話帳データやアドレス帳データの作成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145

電話帳データとアドレス帳データについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145

電話帳データの詳細を表示する・・・・・・・・ 147

電話帳データの属性を示すアイコン・・・・ 147

電話帳データやアドレス帳データの作成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145
本機へのダウンロード・・・・・・・・・・・・・・ 145
本機への直接入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145

電話帳データを削除する・・・・・・・・・・・・・・・150
個別に削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150
属性ごとにデータを一括して削除する 151

電話帳のデータを新規作成する・・・・・・・・ 148

電話帳を閉じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147

電話の着信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137

電話の発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135
電話帳から発信する（ステアリングスイッチでの操作）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
電話帳またはアドレス帳から発信する（COMAND システムでの操作）・・・・・・ 136
電話番号を入力して発信する・・・・・・・・ 135
発信・着信履歴から発信する（COMAND システムでの操作）・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
発信履歴から発信する（ステアリングスイッチでの操作）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136

電話を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134
電話の他の画面から開く・・・・・・・・・・・・ 134
他のアプリケーションから開く・・・・・・ 134

ナ

ナビ基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

ナビ設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

ナビを開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

日時設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
時刻を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
日付・時刻の表示形式を設定する・・・・・ 43

入力制限について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

ハ

早送り / 早戻しする ············ 193、201

早送り / 早戻し ·····················240

マルチファンクションディスプレイでの操作·····························240

表示設定·····························52

VICS ·····························53

地図に表示するランドマーク（施設）を選択する·····························54

地図表示切替·····················52

地図向·····························54

表示形式···························53

ビル情報を表示する·················55

フォルダの選択（MP3） ············· 197

複数の電話番号が登録されているとき·· 147

電話番号のカテゴリーを示すアイコン 148

プリセット·························181

ヘルプ機能·························290

放送局の選局················· 178、230

手動選局·························230

チャンネルを入力しての手動選局···· 231

プリセット選局···················230

マルチファンクションディスプレイでの操作·····························231

放送局のプリセット·················232

オートプリセット·················232

手動プリセット···················233

本機のお手入れ····················· 14

本機の基本機能····················· 25

音量の調整························ 25

サウンドの調整···················· 27

ミュート·························· 26

本機の基本操作····················· 21

FM ラジオでの基本操作の例 ········· 23

アプリケーションを切り替える······· 22

電源のオン / オフ ················· 21

マ

マルチファンクションディスプレイ····· 19

マルチファンクションディスプレイへの電話帳表示·····························148

ミュージックレジスター基本画面······201

ミュージックレジスターを開く·········199

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く·······················200

オーディオの他の音楽ソースから開く 200

他のアプリケーションから開く······200

ミュート·····························26

消音する·························· 26

ナビの音声案内の消音を解除する····· 26

ナビの音声案内を消音する··········· 26

ミュートを解除する················ 26

メニュー言語、音声言語、字幕言語を設定する·································244

メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードする················· 152、165

メモリ地点···························82

メモリ地点リスト··················· 83

メモリ地点を登録する··············· 82

メモリ地点リスト····················83

すべてのメモリ地点を削除する······· 87

メモリ地点の位置の変更············· 85

メモリ地点の詳細を表示する········· 83

メモリ地点の電話番号の入力 / 変更 ·· 85

メモリ地点の並び替え··············· 86

メモリ地点のマークの変更··········· 84

メモリ地点の名称の変更············· 84

メモリ地点リストを表示する········· 83

メモリ地点をアドレス帳に登録する··· 87

メモリ地点を削除する··············· 86

メモリ地点を登録する················82

目的地の設定························58

自宅を目的地に設定する············· 58

全ルート図························ 61

通過点···························· 65

目的地を削除する·················· 65

目的地を設定する·················· 60

目的地の設定をする前に············· 58

ルート案内中のルート条件の変更····· 63

ルート情報画面···················· 64

目的地を削除する····················65

目的地を設定する····················60

地図から設定する·················· 60

地点検索などで設定する············· 60

文字の入力方法（オーディオ）・・・・・・・・・220
コントロールダイヤル / コントロールスティックでの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・220
文字入力キーでの入力・・・・・・・・・・・・・・221
文字の変換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・221
文字の入力方法（電話）・・・・・・・・・・・・・・・166
コントロールダイヤルとコントロールスティックでの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・166
カーソルを移動する・・・・・・・・・・・・・・167
ひらがなとカタカナの入力・・・・・・・・167
文字の種類の選択・・・・・・・・・・・・・・・166
文字の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・167
文字を削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・167
文字入力キーでの入力・・・・・・・・・・・・・・167
アルファベットの入力・・・・・・・・・・・・168
数字の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・167
ひらがなやカタカナ、句読点などの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・168
文字の種類の選択・・・・・・・・・・・・・・・167
文字の変換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・168
文字の入力方法（ナビ）・・・・・・・・・・・・・・・102
コントロールダイヤル / コントロールスティックでの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
カーソルを移動する・・・・・・・・・・・・・・103
ひらがなとカタカナの入力・・・・・・・・103
文字の種類の選択・・・・・・・・・・・・・・・102
文字の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
文字を削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
文字入力キーでの入力・・・・・・・・・・・・・・104
アルファベットの入力・・・・・・・・・・・・104
数字の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
ひらがなやカタカナ、句読点などの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
文字の種類の選択・・・・・・・・・・・・・・・104
文字の変換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104

ラ

ラジオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・176
FM1 と FM2、AM1 と AM2 を切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
FM ラジオ / AM ラジオを開く・・・・・・177
オーディオの他の音楽ソースから開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・177
他のアプリケーションから開く・・・・177
交通情報（AM ラジオ）・・・・・・・・・・・・・182
サウンドの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183
プリセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181
オートプリセット・・・・・・・・・・・・・・・・181
手動プリセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・182
放送局の選局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
自動選局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
周波数を入力しての手動選局・・・・・・180
手動選局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
プリセット選局・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
マルチファンクションディスプレイでの操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・180
ラジオ基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
ラジオ基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
ルート案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
迂回探索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80
回避エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
回避エリアを削除する・・・・・・・・・・・・78
回避エリアを修正する・・・・・・・・・・・・78
回避エリアを登録する・・・・・・・・・・・・77
すべての回避エリアを削除する・・・・・79
学習ルート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・79
登録道路外および地図外の場所・・・・・・・75
地図に登録されていない場所から目的地までのルート案内・・・・・・・・・・・・・・・・75
地図に登録されていない目的地までのルート案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
ナビの音声案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76
別画面の案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
交差点拡大図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
高速案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
高速道路分岐案内図・・・・・・・・・・・・・・73
車線案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
分岐点案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
マルチファンクションディスプレイの表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
目的地または目的地周辺の地域・・・・・75
目的地情報を表示する・・・・・・・・・・・・・・81
地点情報画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
目的地名称画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
ルート情報を表示する・・・・・・・・・・・・82
ルート案内を再開する・・・・・・・・・・・・・・80
ルート案内を中止する・・・・・・・・・・・・・・79
ルート案内を利用する前に・・・・・・・・・・71
ルートを再探索する・・・・・・・・・・・・・・・・81

ルート案内中のルート条件の変更 ・・・・・・・ **63**

ルート情報画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **64**
ルート情報画面の縮尺の変更 ・・・・・・・・・ 64
ルートのプレビューをする ・・・・・・・・・・・ 65
ルートリストの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

ワ

割り込み情報を表示する ・・・・・・・・・・・・・・・ **112**
割り込み情報の自動表示 ・・・・・・・・・・・・ 112
割り込み図形情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
割り込み文字情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112

A

AM/FM ラジオ &CD/DVD プレーヤーとは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **16**
アプリケーションについて ・・・・・・・・・・・ 16

B

B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用カード） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **227**

B-CAS カードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・ **226**
B-CAS カード使用上の注意 ・・・・・・・・・ 226

Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードする ・・・・・・・ **152、164**

Bluetooth® の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **35**
Bluetooth® 対応機器から COMAND システムを検索して認証する ・・・・・・・・・・・・・ 39
Bluetooth® 対応機器の詳細を表示する 39
Bluetooth® 対応機器の認証を解除する 40
Bluetooth® 対応機器を接続する ・・・・・ 36
Bluetooth® デバイスリスト ・・・・・・・・・ 37
Bluetooth® とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
COMAND システムから Bluetooth® 対応機器を検索する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
COMAND システムから Bluetooth® 対応機器を認証して接続する ・・・・・・・・・・・・・ 38
COMAND システムの Bluetooth® のオン / オフを切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
すでに認証されている Bluetooth® 対応機器に接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
本機の Bluetooth® のオン / オフを切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

C

CD / DVD オーディオ、メモリーカードを開く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **190**
オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191
オーディオの他の音楽ソースから開く 190
ディスクや SD カードを挿入しての再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190
他のアプリケーションから開く ・・・・・・ 190

COMAND コントロールパネル ・・・・・・・・・・ **18**
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

COMAND システムのアプリケーション
各アプリケーションの主な機能 ・・・・・・・ 17

COMAND システムの基本機能
音量の調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
サウンドの調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
ミュート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

COMAND システムの基本操作
FM ラジオでの基本操作の例 ・・・・・・・・・・ 23
アプリケーションを切り替える ・・・・・・・ 22
電源のオン / オフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

D

DVD ディスクに関する注意 ・・・・・・・・・・・・ **235**

DVD ディスクの挿入 / 取り出し ・・・・・・ **237**
ディスクを挿入する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 237
ディスクを取り出す ・・・・・・・・・・・・・・・・ 237

DVD ビデオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **235**
DVD ディスクに関する注意 ・・・・・・・・・ 235
DVD ディスクの挿入 / 取り出し ・・・・ 237
DVD ビデオの再生規格 ・・・・・・・・・・・・・ 236
DVD ビデオを開く ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 238
DVD メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 242
安全に利用するために ・・・・・・・・・・・・・・ 235
インタラクティブコンテンツ ・・・・・・・・ 246
音質・音場の調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 246
画質・画面の調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 241
機能の制限 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 237
基本画面と全画面表示の切り替え ・・・・ 239
決められた場面に移動する ・・・・・・・・・・ 246
再生の停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 241
サブタイトルとカメラアングル ・・・・・・ 245
情報メニューの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 239

走行中の映像表示について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 235
タイトルを選択する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 245
ディスクの取り扱いに関する注意‥‥‥‥ 236
早送り / 早戻し ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 240
メニュー言語、音声言語、字幕言語を設定する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 244

DVD ビデオの再生規格‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥236

DVD ビデオを開く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥238
音楽再生（メモリーカード、ミュージックレジスター）から開く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 238
テレビから開く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 238
他のアプリケーションから開く‥‥‥‥‥‥ 238

DVD メニュー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥242
DVD メニューから項目を選択する‥‥‥ 243
DVD メニューを表示させる‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 242
再生を再開する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 244

E

ETC‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 123
ETC の設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 123
ETC 履歴 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 124

ETC の設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 123

ETC 履歴 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 124

F

FM1 と FM2、AM1 と AM2 を切り替える‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 178

FM VICS 放送局の受信状況を見る ‥‥‥ 112

FM 多重放送‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 171
FM 多重放送を開く ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 172

FM 多重放送を開く ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 172
電話の他の画面から開く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 172
放送局をサーチして選局する‥‥‥‥‥‥‥‥ 172
他のアプリケーションから開く‥‥‥‥‥‥ 172

FM ラジオ / AM ラジオを開く‥‥‥‥‥‥‥‥ 177

FM ラジオでの基本操作の例‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 23
受信バンドを FM1 から FM2 に切り替える‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 24
プリセットされた放送局を選局する‥‥‥ 24
他のアプリケーションから FM ラジオを開く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 23

G

Gracenote Media Database ‥‥‥‥‥‥‥‥ 198

S

SD カードの挿入 / 取り出し‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 189
SD カードを挿入する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 189
SD カードを取り出す ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 190

V

VICS‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 106
FM VICS 放送局の受信状況を見る‥‥‥ 112
VICS 情報の取得方法 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 106
VICS 情報の表示形式 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 108
VICS とは？ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 106
VICS の設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 113
VICS マーク ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 114
図形情報を表示する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 110
地図上に VICS 情報を表示する‥‥‥‥‥‥ 111
駐車場情報を検索する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 108
文字情報を表示する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 109
割り込み情報を表示する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 112

VICS 情報の取得方法 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 106
FM 多重放送 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 107
電波ビーコン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 107
光ビーコン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 107

VICS 情報の表示形式 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 108

VICS の設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 113

VICS マーク ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 114
事象規制マーク‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 114
渋滞・混雑情報‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 114
駐車場に関する情報‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 115

安全のために

⚠ 事故のおそれがあります

- どのような交通状況においても、常に車両を安全にコントロールできるように注意してください。
- 車両が 50km/h で走行しているときは、1 秒間に約 14m も走行してしまうということを常に念頭において走行してください。
- 走行中にディスプレイを 1 秒以上注視しないでください。
- 本機の操作は、できるだけ走行中を避け、安全な場所に停車して操作してください。

- ナビゲーション * のルート案内はあくまでも走行の参考として地図と音声で案内するものです。精度や地図データの情報により不適切な案内をすることがあります。

  案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）に従ってください。

- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。

  なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

- オーディオなどの音量が大きすぎると、安全運転のさまたげになります。適切な音量に調整してください。

- ディスプレイが表示されない、音が聞こえないなど、異常を感じたときや、本体に飲み物などがかかったりしたとき、本体に強い衝撃を与えたときは、ただちに本機の電源をオフにして使用を中止してください。

  そのまま使用すると感電事故や火災の原因になります。

  すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

- 本機の本体、および関連構成部品などを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電事故、火災の原因になります。
- 純正アクセサリー以外の電装品（盗難防止装置やオーディオなど）を取り付けるときは、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

  また、純正アクセサリー以外の電装品を取り付けると、電磁波障害やノイズ発生などの原因になります。特にラジオやテレビ *、電話、ナビゲーション * の使用時に予期せぬトラブルを生じるおそれがあります。

本機のお手入れ

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジン・シンナー類を使用すると各部の材料や塗装が変質しますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、変色・変質の原因となりますので、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

AM/FM ラジオ & CD/DVD プレーヤーとは 16
コントロールパネル 18
ステアリングスイッチ / マルチファンクションディスプレイ 19
ディスプレイの表示 20
本機の基本操作 21
本機の基本機能 25

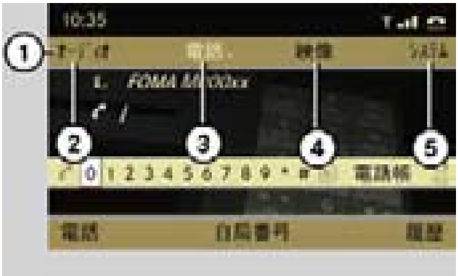
AM/FM ラジオ & CD/DVD プレーヤーとは

本機は、オーディオやナビ *、電話などの各機能を一体にした、ドライバーと車両の総合的なコミュニケーションシステムです。

有効な情報を、画面表示や音声によって効率よくドライバーに伝えます。

> ⚠ **けがのおそれがあります**
>
> 本機はクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。
>
> - コントロールパネルのカバーを取り外さないでください。
> - 本機の本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
> - コントロールパネルのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
> - 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

アプリケーションについて



HDD ナビゲーションシステム / 地上デジタル放送用テレビチューナー非装着車

① アプリケーションエリア
② オーディオ
③ 電話
④ 映像
⑤ システム

本機は、以下のアプリケーションから構成されています。

" オーディオ "

" 電話 "

" 映像 "

" システム "

各アプリケーションはアプリケーションエリア①から選択できます。

また、コントロールパネルの各アプリケーションの選択ボタンを押すことでも選択できます。

ℹ 本機にはラストモードがあります。例えば、FM ラジオを聞いているときに、DVD ビデオを選択し、その後アプリケーションをオーディオにすると、オーディオで最後に選択していた FM ラジオが選択されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

HDD ナビゲーションシステム、地上デジタル放送用テレビチューナーについて

HDD ナビゲーションシステム / 地上デジタル放送用テレビチューナー装着車
① アプリケーションエリア
② ナビ
③ オーディオ
④ 電話
⑤ TV/ 映像
⑥ システム

HDD ナビゲーションシステム

HDD ナビゲーションシステムは販売店オプションです。

HDD ナビゲーションシステムを装着することにより、アプリケーションエリアに " ナビ " ②が表示され、ナビが使用できます。また、以下の機能が使用できます。

- **" オーディオ "** のミュージックレジスター機能（▷199 ページ）
- **" 電話 "** の FM 多重放送（▷171 ページ）
- 音声認識機能（▷247 ページ）

地上デジタル放送用テレビチューナー

地上デジタル放送用テレビチューナーは販売店オプションです。

地上デジタル放送用テレビチューナーを装着することにより、アプリケーションエリアに "TV/ 映像 " ⑤が表示され、テレビが使用できます。

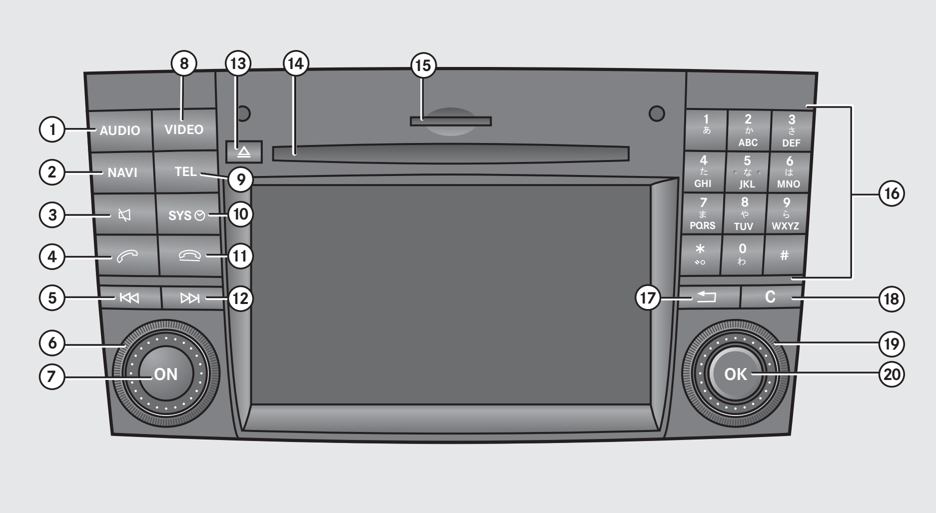
詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

各アプリケーションの主な機能

ナビ * （▷45 ページ）	ナビメニュー、自宅、図形情報、案内中止 / 案内再開
オーディオ （▷175 ページ）	FM ラジオ、AM ラジオ、ディスク（音楽 CD、DVD オーディオ、MP3 を記録した CD または DVD）、メモリーカード（MP3 を記録したメモリーカード）、ミュージックレジスター *、メディアインターフェース *、外部入力
電話 （▷125 ページ）	電話、アドレス帳、FM 多重放送 *
TV* / 映像 （▷223 ページ）	テレビ *、DVD ビデオ
システム （▷29 ページ）	システム設定、日時設定、ディスプレイのオフ

* オプションや仕様により、異なる装備です。

コントロールパネル



各部の名称

① オーディオ選択ボタン

オーディオを選択するときに押します。

② ナビ選択ボタン

ナビ * を選択するときに押します。

③ ミュートボタン

音声を消音するときなどに使用します。

④ 通話開始ボタン

着信した電話を受けるときや電話を発信するときなどに使用します。

⑤ 選曲・選局ボタン（早戻し）

曲の早戻しや前のトラックの選択、放送局の選局などに使用します。

⑥ 音量調整ダイヤル

音量を調整するときに使用します

⑦ オン / オフスイッチ

本機の電源をオン / オフするときに使用します。

⑧ TV / 映像選択ボタン

テレビ * や映像を選択するときに押します。

⑨ 電話選択ボタン

電話を選択するときに押します。

⑩ システム選択ボタン

システムを選択するときに押します。

⑪ 通話終了ボタン

通話を終えるときや応答を保留するときなどに使用します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

⑫ 選曲・選局ボタン（早送り）

曲の早送りや次のトラックの選択、放送局の選局などに使用します。

⑬ CD / DVD ディスク排出ボタン

CD / DVD ディスクを取り出すときに使用します。

⑭ CD / DVD ディスクスロット

CD / DVD ディスクを挿入します。

⑮ SD カードスロット

SD カードを挿入します。

⑯ 文字入力キー

電話番号や数字、文字の入力、放送局の選択などに使用します。

⑰ リターンボタン

1 つ前の画面に戻るときに押します。

状況によっては、リターンスイッチを押したときに、最後に表示したアプリケーションの基本画面に戻り、1 つ前の画面に戻らないことがあります。

⑱ クリアボタン

入力した数字や文字を削除するときなどに使用します。

⑲ コントロールダイヤル

項目を選択するときにまわします。

⑳ コントロールスティック

項目を選択するときに操作します。

また、選択した項目を確定するときに押します。

ステアリングスイッチ / マルチファンクションディスプレイ

A クラス

⚠ 事故のおそれがあります

ステアリングスイッチは、直進時で周囲の交通状況が安全なときにだけ操作してください。ステアリングの操作中にスイッチを操作すると、スイッチ操作に気をとられて事故を起こすおそれがあります。

	機能
①	マルチファンクションディスプレイのメニュー選択スイッチ • 放送局の選局（ラジオ / TV*） • トラックの選択（オーディオ / DVD） • 電話発信先や電話帳の選択（電話）
②	マルチファンクションディスプレイ
③	音声認識レバー *（▷249 ページ）
④	音量調整スイッチ（上げる）（▷25 ページ） 音量調整スイッチ（下げる）（▷25 ページ） 通話開始スイッチ（▷133 ページ～） 通話終了スイッチ（▷136 ページ～）

ディスプレイの表示

選択したアプリケーションとそれに関連するメニューがディスプレイに表示されます。

ディスプレイは 4 つのエリアに分かれています。

例えば、FM ラジオ基本画面は次のように表示されます。

① ステータスエリア
② アプリケーションエリア
③ メインエリア
④ サブメニューエリア

ステータスエリア

時刻、消音時のミュートマーク、接続されている携帯電話の電波状況や電話の通信状態などが表示されます。

アプリケーションエリア

各アプリケーションが表示されます。このエリアから各アプリケーションおよび各アプリケーションに応じたメニューを選択します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

メインエリア

選択したアプリケーションに応じた画面が表示されます。また、アプリケーションエリアやサブメニューエリアからのメニューが表示されます。

サブメニューエリア

選択したアプリケーションに応じた設定項目が表示されます。

ⓘ ステータスエリアを選択することはできません。

ⓘ 選択されているエリアは明るく表示されます。

ディスプレイの手入れ

ディスプレイが汚れたときは、薄めた中性洗剤を含ませた不織布で拭き取ってください。

! ディスプレイに直接触れないでください。ディスプレイの液晶部は非常にデリケートなため、損傷するおそれがあります。

本機の基本操作

本機では、コントロールダイヤルやコントロールスティックを操作して、ディスプレイに表示される項目を選択・決定することにより、ほとんどの操作を行なうことができます。

電源のオン / オフ

B クラス
① オン / オフスイッチ

電源をオンにする

▶ オン / オフスイッチ①を押します。

警告メッセージが表示された後、前回オフにしたときの画面が表示されます。

ⓘ 警告メッセージが日本語で表示されているときにコントロールスティックを押すと、警告メッセージは英語表記になります。

電源をオフにする

▶ オン / オフスイッチ①を押します。

! バッテリー保護のため、本機を使用するときはエンジンを始動してください。

ℹ マルチファンクションディスプレイに本機のメニューを表示しているときに、本機の電源をオフにすると、マルチファンクションディスプレイのメニューもオフになります。

バッテリー保護機能

バッテリー電圧が低下すると、自動的に電源がオフになります。

また、エンジンを始動せずに約 27 分以上本機を使用すると、下記のメッセージが表示されます。

このときは、エンジンを始動してください。約 3 分以内にエンジンを始動しないと、自動的に電源がオフになります。

それでもエンジンを始動しないときは、以下のメッセージが表示され、自動的に電源がオフになります。

ℹ これらのメッセージ画面が表示されたときは、本機の電源をオフにするだけでなく、バッテリーあがりを防止するために、エンジンを始動してバッテリーを充電してください。

アプリケーションを切り替える

基本的な操作は以下のように行ないます。

▶ コントロールスティックを上に倒して、アプリケーションエリア①を選択します。

① アプリケーションエリア

ℹ 選択されているエリアは明るく表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、希望のアプリケーションを選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

選択したアプリケーションの画面が表示されます。

FM ラジオでの基本操作の例

他のアプリケーションから FM ラジオを開く

▶ コントロールスティックを上に倒して、アプリケーションエリアを選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して " オーディオ " を選択し、コントロールスティックを押します。

前回開いていた音楽ソースが FM ラジオのときは、FM ラジオが開きます。

前回開いていた音楽ソースが FM ラジオ以外のとき

▶ 再度アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択し、コントロールスティックを押します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上に倒して "FM" を選択します。

① オーディオメニュー
② 現在選択されている機能（左側に " • " が表示されています）

受信バンドを FM1 から FM2 に切り替える

▶ FM ラジオのとき、コントロールスティックを下に倒して、サブメニューエリアを選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左に倒して、"FM1" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを下に倒して、"FM2" を選択します。

受信バンドが FM2 に切り替わります。

プリセットされた放送局を選局する

▶ サブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、受信したい放送局を選択します。

選択した放送局に選局され、FM ラジオ基本画面に戻ります。

ℹ コントロールスティックを左右に倒すか、リターンボタンを押すと FM ラジオ基本画面に戻ります。

ℹ コントロールパネルの文字入力キーを押すことでも、放送局を選択できます。

本機の基本機能

音量の調整

オーディオやテレビ *、DVD ビデオやナビ * の音声案内の音量、電話の通話音量などを調整できます。

オーディオやテレビ、DVD ビデオの音量を調整する

▶ 音量調整ダイヤルをまわします。

または

▶ ステアリングの [＋] または [－] スイッチを押します。

ナビの音声案内の音量を調整する

ナビの音声案内の音量は、音声案内が行なわれている間に調整することができます。

▶ 音量調整ダイヤルをまわします。

または

▶ ステアリングの [＋] または [－] スイッチを押します。

ℹ 音声案内中に、一定の範囲を超えて音量を小さくまたは大きくしたときも、次に行なわれる音声案内は、一定の範囲内の音量で行なわれます。

通話時の音量を調整する

ハンズフリー通話時の音量は、通話中に調整することができます。

▶ 音量調整ダイヤルをまわします。

または

▶ ステアリングの [＋] または [－] スイッチを押します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ミュート

オーディオやテレビ *、DVD ビデオの音声、またはナビ * の音声案内を消音することができます。

① ミュートマーク

ℹ オーディオなどを消音しているときでも、ナビの音声案内は行なわれます。

ℹ ディスクやメモリーカード、ミュージックレジスター * を再生しているときは、一時停止します。

ℹ オーディオやテレビ、DVD ビデオのときに電話がかかってきたり通話を開始すると、自動的にミュートになります。通話が終了するとミュートは解除されます。

ℹ 消音されているときは、ステータスエリアにミュートマーク①が表示されます。

消音する

▶ ミュートボタン を押します（▷18 ページ）。

ステータスエリアにミュートマーク①が表示されます。

ミュートを解除する

▶ 再度、ミュートボタン を押します（▷18 ページ）。

ℹ 消音しているときに以下の操作をすると、ミュートは解除されます。

- 音量を調節する
- 早送り / 早戻しをする
- 選局をする
- トラックやフォルダ、音楽ソースを切り替える

ナビの音声案内を消音する

▶ 音声案内の途中で、ミュートボタンを押します。

ナビの音声案内の消音を解除する

▶ サブメニューエリアで " 音声 " を選択します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

サウンドの調整

下記のソースごとにサウンドを設定できます。

- FM ラジオ
- AM ラジオ
- CD / DVD オーディオ
- MP3 を記録したディスク / メモリーカード
- ミュージックレジスター *
- メディアインターフェース *
- テレビ *
- 外部入力
- DVD ビデオ

音質の調整

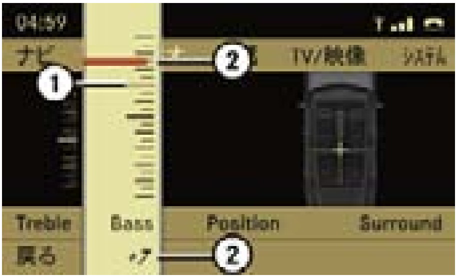
▶ サブメニューエリアでコントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを右に倒して、"ｻｳﾝﾄﾞ" を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、"Treble" または "Bass" を選択します。

高音を調整するときは "Treble"、低音を調整するときは "Bass" を選択します。

調整スケールが表示されます。

ℹ 前回選択していたレベル①は細い黒フチで表示されます。



低音調整画面
① 前回選択していたレベル
② 現在選択しているレベル

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒してレベルを調整します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

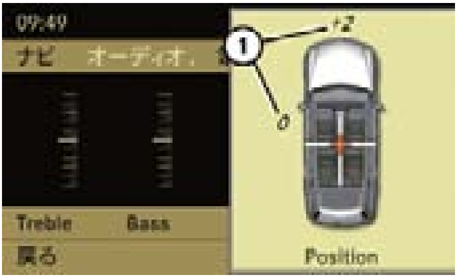
音場の調整

車室内の左右および前後の音量のバランスを調整することができます。

▶ サブメニューエリアでコントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを右に倒して、"ｻｳﾝﾄﾞ "を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを右に倒して、"Position" を選択します。

調整画面が表示されます。



① 現在の設定

▶ コントロールスティックを上下左右に倒します。

"✚" が移動し、左右および前後の音量のバランスが調整されます。

システムを開く……………………… 30
システムの設定……………………… 30
日時設定………………………………… 42
ディスプレイをオフにする……… 44

システムを開く

▶ コントロールパネルの システム選択ボタン を押します。

または

▶ アプリケーションエリアの " システム " を選択します。

システム基本画面になります。

システムの設定

システムでは、以下の項目の設定ができます。

言語の設定

本機の言語を日本語 / 英語に切り替えます。

ディスプレイの設定

ディスプレイの照度と色調の設定ができます。

音声認識機能の設定 *

ヘルプ表示と音声認識学習の設定ができます。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® を使用した携帯電話接続の設定ができます。

本機のリセット

本機を出荷時の設定にリセットできます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

言語の設定

本機の言語を設定できます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 言語 / Language" を選択します。

現在選択されている設定の左側には " • " が表示されています。

" ﾏﾙﾁﾌｧﾝｸｼｮﾝﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲと同期 "

言語設定がマルチファンクションディスプレイの言語設定と連動します。

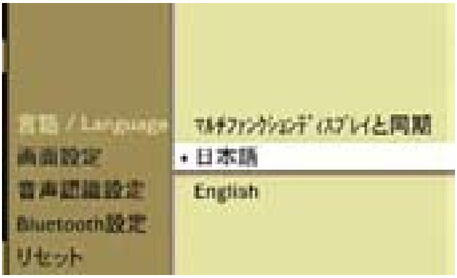
ℹ マルチファンクションディスプレイの言語設定については、車両の取扱説明書をお読みください。

" 日本語 "

言語設定が日本語になります。

"English"

言語設定が英語になります。



▶ コントロールスティックを押します。

言語が設定されます。

ℹ 言語設定を英語にすると、ナビ * の地名表示も英語になります。

システム

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ディスプレイの設定

ディスプレイの照度を調整する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 画面設定 " → " 明るさ " を選択します。

照度のスケールが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

指針が上下に移動し、照度が設定されます。

▶ コントロールスティックを押すか、左右に倒します。

元の画面に戻ります。

ディスプレイの色調を設定する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 画面設定 " を選択します。

現在設定されている色調の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

" 昼画面設定 "

車両周囲の明るさにかかわらず、昼画面の色調に設定されます。

" 夜画面設定 "

車両周囲の明るさにかかわらず、夜画面の色調に設定されます。

" オート "

車両周囲の明るさに応じて、昼画面と夜画面の色調に切り替わります。

▶ 希望の設定を選択して、コントロールスティックを押します。

音声認識機能の設定 *

音声認識機能のヘルプ表示の設定をする

音声認識をオンにしたときに、ヘルプ画面を表示できます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " ヘルプ表示 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

音声認識学習

はじめて音声認識を使用するときや、音声認識率が低いと感じたときは、音声認識学習を行ない、発声者の音声を登録することで、発声者の音声が認識されやすくなります。

音声認識学習は 3 つのパートで構成されており、全体で約 15 分（各パート約 5 分）かかります。

登録できる発声者は 1 名です。

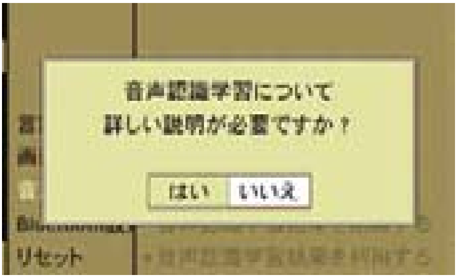
ℹ 音声認識学習中は、他の音が入らないようにオーディオや電話などは使用しないでください。

音声認識学習を開始する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " 音声認識学習を開始する " を選択します。

下記の画面が表示されます。



* オプションや仕様により、異なる装備です。

▶ " はい " を選択します。

音声認識学習についての説明が行なわれます。

説明が終了した後にコントロールスティックを押すと、音声認識学習が開始されます。

または

▶ " いいえ " を選択します。

音声認識学習が開始されます。

▶ 本機の音声案内にしたがってパート１～パート３までの音声コマンドを発声します。

ℹ パート１またはパート２のみで終了した場合も、学習結果は保存されます。

音声認識学習結果を削除する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " 音声認識学習結果を削除する " を選択します。

▶ " はい " を選択します。

学習結果が削除されます。

音声認識学習結果を利用する / 利用しない

音声認識学習を行なった人以外の人が音声認識を使用するときなどに、音声認識学習結果を利用しない設定にできます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " 音声認識学習結果を利用する " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。

チェックマークが表示されているときは、音声認識学習結果が利用されます。

ℹ 音声認識学習が行なわれていないときは、" 音声認識学習結果を利用する " を選択することはできません。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® とは

Bluetooth® とは、携帯電話や周辺機器、ハンズフリー対応機器などとの間を無線で接続し、ケーブルで接続することなくデータをやりとりする技術です。

ℹ Bluetooth® 対応携帯電話であっても、本機に接続できなかったり、電話帳データをダウンロードできない場合があります。

ℹ ハンズフリーに対応していない携帯電話は本機に登録できません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP のみのサービスは利用できません。

ℹ 接続する携帯電話により、操作方法や音量が異なることがあります。

ℹ Bluetooth® 対応携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすおそれがあります。

ℹ Bluetooth® 対応携帯電話は、Bluetooth® 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ℹ Bluetooth® 対応機器は、2.4GHz の周波数帯を使用して無線通信を行なっています。この周波数帯はさまざまな機器が共有しているため、場合によっては他の機器からの影響により、通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断することがあります。

ℹ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth® 対応機器により、通信速度や通信距離は異なります。

ℹ 本機に Bluetooth® 接続する携帯電話は、以下の仕様に適合している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部の機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- Bluetooth® Specification Ver.1.1（Ver.1.2 以上を推奨）

対応プロファイル

- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1
- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

Bluetooth® ワールドマークとロゴは、Bluetooth SIG の所有です。

ℹ 本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

本機の Bluetooth® のオン / オフを切り替える

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ "Bluetooth 設 定 " → "Bluetooth ON" を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

Bluetooth® 対応機器を接続する

Bluetooth® を使って以下の機器を本機に接続できます。

- 携帯電話
- ノートパソコン
- PDA

本機には最大 15 台までの Bluetooth® 対応機器を登録できます。

すでに 15 台の機器が認証されているときに、新しい機器を登録したい場合は、いずれかの機器の認証を解除してください（▷40 ページ）。

本機と Bluetooth® 対応機器を接続するには、以下の２通りの方法があります。

- 本機から Bluetooth® 対応機器を検索して認証する
- Bluetooth® 対応機器から本機を検索して認証する

ℹ Bluetooth® 対応機器を接続するためには、本機と特定の機器の両方で Bluetooth® をオンにする必要があります。

また、Bluetooth® 対応機器は本機から検索可能な状態になっている必要があります。それによって、本機は Bluetooth® 対応機器を検索して表示できます。

設定方法については、Bluetooth® 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

本機から Bluetooth® 対応機器を検索する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ "Bluetooth 設定 " → "Bluetooth デバイスリスト " → "Bluetooth 検索 " を選択します。

受信範囲内にある Bluetooth® 対応機器の検索を開始します。

ℹ 最大 10 台までの Bluetooth® 対応機器を検索できます。

検索が終了すると、デバイスリストが表示されます。

Bluetooth® デバイスリスト

Bluetooth® デバイスリストは、以下のときに表示されます。

- Bluetooth® 対応機器の検索が終了したとき
- システム基本画面のサブメニューエリアで "システム" を選択し、"Bluetooth 設定 " → "Bluetooth デバイスリスト " を選択したとき

Bluetooth® デバイスリストでは、Bluetooth® 対応機器の名称が表示されます。また、Bluetooth® 対応機器の認証状況や接続状況がアイコンで表示されます。

アイコン	
•	本機に接続している Bluetooth® 対応機器を示しています。
✔（黒色）	すでに認証され、検索された Bluetooth® 対応機器を示しています。
✔（灰色）	すでに認証されているが、検索されなかった Bluetooth® 対応機器を示しています。
なし	検索されたが、認証されていない Bluetooth® 対応機器を示しています。

ℹ 検索された Bluetooth® 対応機器を車外に持ち出しているときなどに Bluetooth® 対応機器を検索すると、前回は検索された Bluetooth® 対応機器が表示されないことがあります。

ℹ 本機の Bluetooth® がオフになっているときは、Bluetooth® デバイスリストは表示できません。

すでに認証されている Bluetooth® 対応機器に接続する

▶ Bluetooth® デバイスリストで、接続する Bluetooth® 対応機器を選択します。

"✔"（黒色）のアイコンがある（すでに認証され、検索された）Bluetooth® 対応機器を選択してください。

▶ コントロールスティックを押します。

選択した Bluetooth® 対応機器に接続されます。

また、Bluetooth® 対応機器の名称の左側に " • " が表示されます。

本機から Bluetooth® 対応機器を認証して接続する

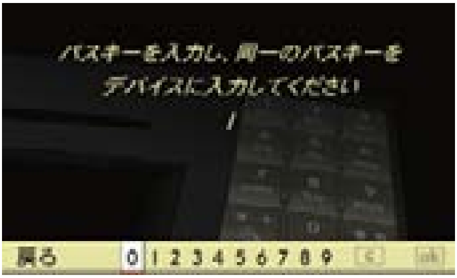
▶ Bluetooth® デバイスリストで、認証する Bluetooth® 対応機器を選択して、コントロールスティックを押します。

アイコンのない（検索された、認証されていない）Bluetooth® 対応機器を選択してください。

または

▶ Bluetooth® デバイスリストで、認証する Bluetooth® 対応機器を選択し、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証 " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。



ⓘ パスキーは任意に選択できる 1 ～ 16 桁の数字です。

本機と認証される Bluetooth® 対応機器の両方に同じ数字を入力します。

認証する機器の取扱説明書もご覧ください。

▶ 文字入力キーでパスキーを入力します。

または

▶ コントロールダイヤルかコントロールスティックで数字を選択してパスキーを入力します。

入力した数字を削除する

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押すか、ディスプレイの c を選択します。

入力を取り消す

▶ " 戻る " を選択します。

入力を確定する

▶ ok を選択します。

▶ Bluetooth® 対応機器に同じパスキーを入力します（認証する機器の取扱説明書をご覧ください）。

▶ Bluetooth® 対応機器に認証の確認メッセージが表示されたときは、Bluetooth® 対応機器で認証操作を行ないます。

Bluetooth® 対応機器が認証されます。

認証が完了すると、デバイスリストが表示され、認証・接続した Bluetooth® 対応機器の名称の左側に " • " と "📱✔" が表示されます。

Bluetooth® 対応機器から本機を検索して認証する

Bluetooth® 対応機器のセキュリティ設定などにより、本機から Bluetooth® 対応機器を検索できない場合があります。

その場合は、Bluetooth® 対応機器から本機を検索して認証することができます。

本機の Bluetooth® 機器名は "MB Bluetooth" です。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ "Bluetooth 設定 " → "Bluetooth デバイスリスト " → "Bluetooth 検索 " → " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 外部認証 " を選択します。

▶ Bluetooth® 対応機器から Bluetooth® 機器の検索を開始します。

詳しくは、Bluetooth® 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ Bluetooth® 対応機器の検索機器リストから "MB Bluetooth" を選択します。

ディスプレイに Bluetooth® 対応機器の認証を求めるメッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。

▶ 本機にパスキーを入力します。

▶ Bluetooth® 対応機器にパスキーを入力します。

Bluetooth® 対応機器が認証されます。

Bluetooth® 対応機器の詳細を表示する

▶ Bluetooth® デバイスリスト（▷37 ページ）で、詳細を表示する Bluetooth® 対応機器を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

Bluetooth® 対応機器の詳細表示画面が表示されます。

詳細表示画面を閉じる

▶ コントロールスティックをいずれかの方向に操作します。

または

▶ コントロールダイヤルをまわします。

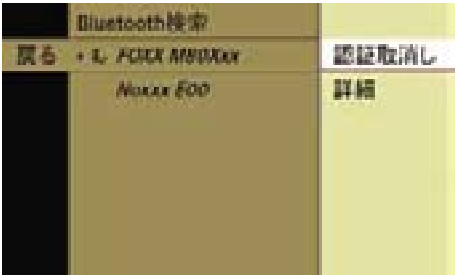
または

▶ コントロールパネルのクリアボタンかリターンボタンを押します。

Bluetooth® 対応機器の認証を解除する

▶ Bluetooth® デバイスリスト（▷37 ページ）で、認証を解除する Bluetooth® 対応機器を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証取消し " を選択します。



確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

Bluetooth® 対応機器の認証が解除されます。

ℹ Bluetooth® 対応機器の認証を解除すると、Bluetooth® デバイスリストから Bluetooth® 対応機器名が削除されます。

システムのリセット

本機の設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

ℹ 本機をリセットすると、設定データ（放送局のプリセット内容、アドレス帳の登録内容、ナビ * の設定など）が削除されます。

車をお譲りになる場合には、リセットを行なってください。

ℹ リセット操作を行なっても、ミュージックレジスター * の音楽データは削除されません。ミュージックレジスターの音楽データを削除するときは、（▷208 ページ）をご覧ください。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " リセット " を選択します。

リセットの確認画面が表示されます。

▶ " はい " を選択します。

リセットの確認画面が再度表示されます。

ℹ " いいえ " を押すと、システムメニューに戻ります。

▶ " はい " を選択します。

本機がリセットされ、再起動します。

ℹ " いいえ " を押すと、システムメニューに戻ります。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

日時設定

時刻を設定する（HDD ナビゲーションシステム装備車）

ℹ 通常では時刻の設定は必要ありません。正しく表示されないときに設定してください。

ナビの以下の機能を正しく作動させるためには時刻を正しく設定する必要があります。

- 時間に応じた交通規制がある経路を含むルート案内
- 到着予想時間の算出

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 日時設定 " を選択します。

▶ " 時間設定 " を選択します。

① 時刻
② 日付

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

時刻が 30 分単位で変更されます。

▶ コントロールスティックを押します。

時刻が設定されます。

ℹ 日付②は時刻の設定に連動して設定されます。

時刻を設定する（HDD ナビゲーションシステム非装備車）

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 日時設定 " を選択します。

▶ " 時間設定 " を選択します。

① 時刻

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

時刻が 1 分単位で変更されます。

▶ コントロールスティックを押します。

時刻が設定されます。

※ 上記の内容は取扱説明書作成時点のもので、予告なく変更されることがあります。

日付を設定する（HDD ナビゲーションシステム非装備車）

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 日時設定 " を選択します。

▶ " 日付設定 " を選択します。

① 日付

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

日付が変更されます。

▶ コントロールスティックを押します。

日付が設定されます。

日付・時刻の表示形式を設定する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 日時設定 " を選択します。

▶ " 表示形式 " を選択します。

▶ 日付の表示形式を選択します。

現在設定されている日付の表示形式の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"DD.MM.YY"

" 日 . 月 . 年（西暦の末尾 2 桁）" で表示されます。

"MM/DD/YYYY"

" 月 . 日 . 年（西暦）" で表示されます。

"YY/MM/DD"

" 年（西暦の末尾 2 桁）/ 月 / 日 " で表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

日付の表示形式が設定されます。

▶ 時刻の表示形式を選択します。

現在設定されている時刻の表示形式の左側の " ○ " の中には、" • " が表示されています。

"HH:MM（24H）"

24 時間表示になります。

"HH:MM（AM/PM）"

12 時間表示になります。

▶ コントロールスティックを押します。

時刻の表示形式が設定されます。

※ 上記の内容は取扱説明書作成時点のもので、予告なく変更されることがあります。

ディスプレイをオフにする

ディスプレイをオフにできます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 画面 OFF" を選択します。

ディスプレイがオフになります。

ディスプレイを再度表示するときは、以下の操作を行ないます。

- コントロールダイヤルをまわす
- コントロールスティックを押す
- コントロールスティックをいずれかの方向に操作する
- コントロールパネルのクリアボタンまたはリターンボタンを押す

ℹ オーディオやテレビ * などを使用しているときも、ディスプレイのみをオフにすることができます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ご使用の前に………………………… 46
目的地の設定………………………… 58
周辺施設の表示と検索…………… 68
ルート案内…………………………… 71
メモリ地点…………………………… 82
地点の検索方法……………………… 88
文字の入力方法……………………… 102
VICS ………………………………… 106
地図記号……………………………… 116
こんなときは………………………… 118
ETC…………………………………… 123
地図・情報について……………… 124

ナビ機能は、販売店オプションのHDD ナビゲーションシステムを装着することにより使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ご使用の前に

安全上の注意事項

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、目的地の設定は必ず停車時に行なってください。走行中に操作すると、周囲の状況を把握できなくなり、事故を起こすおそれがあります。

ルートの探索を行なう場合、以下のような要素は考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐停車禁止
- 道幅の狭い区間
- その他の交通規制

⚠ 事故のおそれがあります

道路が変更された場合や一方通行の方向が逆になった場合のように、実際の道路状況がデジタル地図と異なる場合には適切でない案内をすることがあります。

そのため、走行中は本機の案内よりも、実際の道路状況を優先し、必ず実際の交通規制に従ってください。

地図ソフトの更新

地図ソフトのデジタルデータは、従来の道路地図と同じように古くなります。

地図ソフトを更新することにより、最適なルート案内を行なうことができます。

地図ソフトの更新は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことができます。

新しい地図ソフトのバージョンなど、詳細についてはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

全般的な注意事項

GPS 信号の受信

ナビの機能は、GPS 信号を受信することにより正しく機能します。

立体駐車場やトンネル内にいるとき、GPS アンテナに雪が付着しているときなどは、GPS 信号が十分に受信できない、または完全に受信できなくなることがあります。

GPS アンテナに雪が付着しているときは、取り除いてください。

GPS アンテナは車のルーフ後部にあります。

車を輸送した後にルート案内を使用するとき

車をフェリーやけん引などで輸送した後は、本機が車の位置を再度特定する必要があります。

再び走行を開始すると、システムがオフになっていても位置を自動的に特定します。

位置を特定するまでの時間は場合によって異なります。

位置を特定している間は、以下のような状況が発生することがあります。

- ナビの音声案内、ルート案内表示および表示される道路の名前が実際のものと一致しない
- ナビの音声案内が行なわれない
- マルチファンクションディスプレイに、ルート案内表示の代わりに目的地の方向を示す矢印が表示される

位置が特定されると、音声案内とルート案内表示が有効になり、ルート案内が再開されます。

ハードディスクについて

本機には、地図データを保存するハードディスクが内蔵されています。

ハードディスクが故障すると、ルート探索を行なうときなどにハードディスクに保存されている地図データにアクセスできなくなります。

このときは " ドライブが利用できません " と表示されます。

メッセージを消す

▶ システムをオフにして、再度オンにします。

メッセージが再度表示される場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

その他の注意事項

システムの構成上、以下のようなことが発生することがありますが、故障ではありません。

- 走行場所や運転条件などにより、現在地マークが正しい位置を表示しないことがあります。
- 分岐角度のゆるやかな Y 字分岐点を通過しているときに、しばらくの間もう一方の道路に現在地マークが表示されることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点（分岐点）で曲がったときなど､誤った音声案内をすることがあります。
- 高速道路を走行しているときに、並行している側道、あるいは高架下の一般道に現在地マークが表示されることや､その反対の場合があります。
- 走行中に再探索あるいは、迂回探索をすると、ルート表示が次の交差点（分岐点）までに間に合わないことがあります。
- 一方通行規制で進入できない道路を案内することがあります。
- 時間規制で曲がれない交差点を曲がるように案内することがあります。
- 再探索、迂回探索で探索したルートが遠回りになることがあります。
- ビルや大型車両の近く、あるいは山間部を走行すると、現在地マークがずれることがあります。
- 通過点を経由せずに目的地に向かうとき、再探索や迂回探索を実行すると、通過点に戻るルートが表示されることがあります。

- 探索されたルート表示が、U ターンを案内することがあります。
- 実際には通行できない道（すでに廃止されている旧道など）を案内することがあります。
- 駐車場などのターンテーブルで回転させたり、らせん状の道路を走行しているときに現在地マークがずれることがあります。
- 駐車場から出た直後は、現在地マークが他の道路に表示される場合があります。
- 砂利道、雪道、凍結路などの滑りやすい路面を走行すると、タイヤのスリップにより現在地マークがずれることがあります。
- 現在地位置を修正したときに修正を間違えたまま走行を続けると、自動修正できないことがあります。
- 目的地まで道路が達していないときや道幅が狭いときは、目的地から離れたところでルート案内を終了することがあります。
- 目的地の施設などの裏の道路へルート案内することがあります。
- 直線道路で車線変更を繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 地図データにない新しい道路や開拓地域を走行すると、ルート案内ができなかったり、現在地マークがずれることがあります。
- 目的地までの距離が極端に長いときや短いときは、ルート案内できないことがあります。

入力制限について

走行速度が約 8km/h 以上になると、入力できなくなる項目があります。

ただし、走行速度が約 5km/h 以下になると、これらの項目への入力制限は解除されます。

ナビを開く

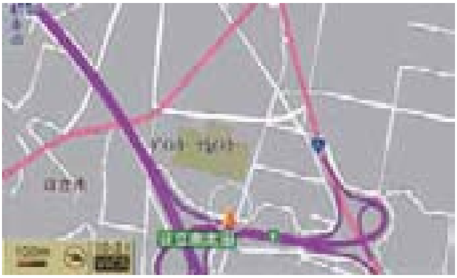
▶ コントロールパネルのナビ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアの"ナビ"を選択します。

前回表示していたナビの画面が表示されます。

全画面表示



全画面表示からナビ基本画面に切り替える

▶ コントロールスティックを押します。

ℹ 全画面表示のときにコントロールパネルのナビ選択ボタンを押すと、現在地の地名が数秒間表示されます。

ナビ基本画面

① ステータスエリア
② アプリケーションエリア
③ メインエリア
④ サブメニューエリア
⑤ 現在地（自車位置）

ナビ基本画面から全画面表示に切り替える

▶ メインエリアを選択します。

▶ " 全画面表示 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

または

▶ コントロールパネルの ナビ選択ボタンを押します。

地図の縮尺を切り替える

① スケール表示（地図上のこの長さが、この距離に相当します。）
② 変更前のスケール表示
③ スケール変更バー
④ スケールのインジケーター

▶ 全画面表示にします。

地図の表示を縮小する

▶ コントロールダイヤルを時計回りにまわします。

スケールのインジケーター④が数秒間表示されます。

地図の表示を拡大する

▶ コントロールダイヤルを反時計回りにまわします。

スケールのインジケーター④が数秒間表示されます。

ℹ 地図データがない場合、地図の縮尺は灰色で表示され選択できません。

ℹ 市街地データは 25m と 50m で表示されます。

市街地データは主要都市のみで表示されます。

市街図を選択している状態で高速道路を走行しているときに、走行速度が約 5km/h 以上になると、自動的に 100m 表示に切り替わります。そのとき地図をスクロールしていないときは 25m、50m へ縮尺を変更することができなくなります。

地図の距離表示の例

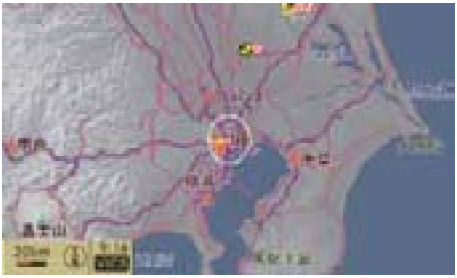
以下の画面は、同地点での異なる距離表示の例です。

25m 表示

100m 表示

200m 表示

20km 表示



距離表示と地図縮尺

距離表示	地図縮尺
25m	1/2500
50m	1/5000
100m	1/1 万
200m	1/2 万
500m	1/5 万
1km	1/10 万
2km	1/20 万
5km	1/50 万
10km	1/100 万
20km	1/200 万
50km	1/500 万
300km	1/3000 万

地図のスクロール

ⓘ 走行中は、安全のため一定間隔でスクロールします。

▶ 全画面表示にします（▷48 ページ）。

▶ コントロールスティックをいずれかの方向に倒します。

地図上にクロスカーソル①が表示されます。

① クロスカーソル
② 現在地（自車位置）
③ クロスカーソル位置の情報
④ クロスカーソルの位置から現在地までの距離

ⓘ スクロール先の地点に元の地点の縮尺の地図データがないときは、最も詳細な地図の縮尺に切り替わります。

スクロール画面で縮尺スケールや地図表示を変更した後に現在地画面へ戻った場合、スクロール画面で変更した設定はキャンセルされ現在地画面の元の設定に戻ります。

現在地画面に戻す

▶ コントロールパネルのナビ選択ボタンを押します。

または

▶ 現在地画面が表示されるまでコントロールパネルのリターンボタンを押します。

表示設定

地図表示に関しての設定を行ないます。

以下の設定を行なうことができます。

" 地図表示切替 "

" 表示形式 "（▷53 ページ）

" VICS"（▷53 ページ）

" 地図向 "（▷54 ページ）

" ランドマーク表示 "（▷54 ページ）

" ビル情報 "（▷55 ページ）

地図表示切替

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 地図表示切替 " を選択します。

▶ "2D 表示 "、"3D 表示 "、" ビル表示 " のいずれかを選択します。

現在選択されている設定の左側には " • " が表示されています。

ℹ 地図をスクロールしているときは、地図表示を切り替えることはできません。

ℹ 3D 表示やビル表示にしているときに地図をスクロールすると、2D 表示に切り替わります。

ℹ 地図表示を 3D 表示またはビル表示にすると、ヘディングアップ表示になります。

以下の画面は、同地点での異なる地図表示の例です。

2D 表示の例

3D 表示の例

ビル表示の例

ビルを立体的に表示します。

ℹ 25m および 50m の市街地地図表示のときに表示できます。

ℹ ビル表示は、主要都市のみで表示されます。

ℹ 走行中は、一部のビルが表示されないことがあります。

表示形式

別画面の案内図の表示を設定できます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 表示形式 " を選択します。

▶ " 高速案内図 " または " 分岐点案内図 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

ℹ 分岐点案内図は、ルート案内中の一般道を走行しているときのみ表示されます。

詳しくは（▷74 ページ）をご覧ください。

VICS

一般道または高速道路での VICS 情報表示の設定 / 解除ができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ "VICS" を選択します。

▶ "VICS 一般道 " または "VICS 高速道 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

地図向

地図を2D表示にしているときに、ノースアップ表示（北が上）とヘディングアップ表示（進行方向が上）に切り替えることができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 地図向 " を選択します。

コントロールスティックを押すと、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

以下の画面は、同地点でのノースアップ表示およびヘディングアップ表示の例です。

ノースアップ表示

画面左下に " " が表示されます。

ℹ ノースアップ表示のときに、地図表示を 3D 表示またはビル表示にすると、ヘディングアップ表示になります。

ヘディングアップ表示

画面左下に " " が表示されます。" " の向きは車の進行方向に応じて変化します。" " は北方向を " " は南方向を表示しています。

ℹ 地図をスクロールしているときはヘディングアップ表示からノースアップ表示にすることはできますが、ノースアップ表示からヘディングアップ表示にすることはできません。

地図に表示するランドマーク（施設）を選択する

地図上にランドマーク（施設）のアイコンを表示できます。

ランドマーク（施設）アイコンは、200m 表示以下の詳細な縮尺を表示しているときに表示されます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " ランドマーク表示 " を選択します。

▶ 表示したいアイコンのランドマーク（施設）を選択します。

アイコンを表示しないときは、" 表示解除 " を選択します。

ℹ 同時に 2 種類のランドマーク（施設）のアイコンを表示することはできません。

ビル情報を表示する

ビルや建物に施設の情報が入っているときは、情報を表示できます。ビルや建物に複数の施設が入っているときは、それぞれの施設の情報を表示できます。

ℹ 25m および 50m の市街地地図表示のときに表示できます。

▶ 地図を 25m または 50m 表示にします。

▶ 地図をスクロールさせて、ビル情報のあるビルや建物にクロスカーソルを合わせます。

" i " マークが表示されます。

ℹ クロスカーソルを合わせたときに " i " マークが表示されないビルや建物は情報を表示できません。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " ビル情報 " を選択します。

ビル情報が表示されます。

施設に電話発信する

▶ " 電話 " を選択します。

ℹ 情報に電話番号が登録されていない場合、" 電話 " は選択できません。

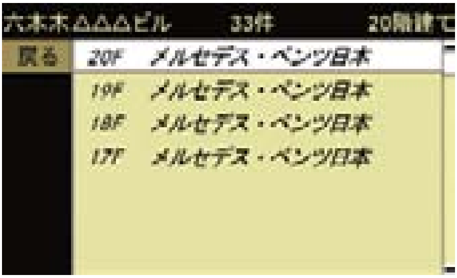
目的地に設定する

▶ " 目的地 " を選択します。

複数の施設が入っているとき

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、施設を選択します。

施設リストは階数順に表示されます。



▶ コントロールスティックを押します。

施設の情報が表示されます。

ナビ設定

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → " ナビ設定 " を選択します。

ナビ設定のリストが表示されます。

▶ 設定 / 解除したい項目を選択して、コントロールスティックを押します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

" 冬期規制考慮 "

冬期規制を考慮したルート設定を行ないます。

" 時間規制考慮 "

時間規制を考慮したルート設定を行ないます。

" 料金表示 "

有料道路の料金が表示されます。

" 山並み地図表示 "

山並みが立体的に表示されます。

" 合流警告 "

合流地点にアイコンが表示され、合流の手前で音声案内します。

" 踏切警告 "

踏切のアイコンが表示され、踏切の手前で音声案内します。

" 県境お知らせ "

都府県境付近で音声案内します。

" 渋滞回避探索 "

渋滞を回避してルート探索します。

ℹ ビーコン受信ユニット * を接続すると、より詳しい情報で渋滞回避探索を行なうことができます。

" 学習ルート "

学習したルートを優先してルート案内します（▷79 ページ）。

" 音声案内優先 "

ナビの音声案内時に、オーディオの音量が自動的に下がります。

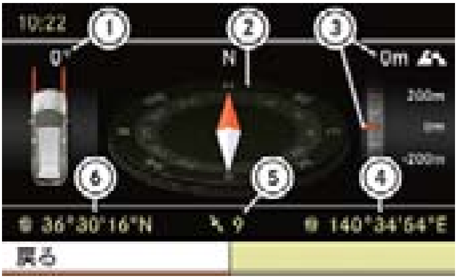
コンパス表示

自車の方位や自車位置の緯度 / 経度、高度などを表示することができます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " コンパス " を選択します。

コンパス画面が表示されます。



① ステアリング操舵角
② 自車の方位
③ 自車位置の高度
④ 自車位置（経度位置）
⑤ 受信している GPS 衛星数
⑥ 自車位置（緯度位置）

* オプションや仕様により、異なる装備です。

目的地の設定

目的地の設定をする前に

ⓘ 以下の場合は、ルート探索を行なうことができません。

- 目的地および出発地付近に道路がない場合

  その場合は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

- 離島などで適当なルートがない場合

全ルート図が表示されます。

ルート案内については（▷71 ページ）をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " ガイド " を選択します。

ⓘ 自宅が設定されていないときは " 設定 " 以外は選択できません。

自宅を設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " 設定 " を選択します。

▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷88 ページ）

" 名前検索 "（▷88 ページ）

" 施設検索 "（▷94 ページ）

" 住所検索 "（▷96 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷97 ページ）

" メモリ地点 "（▷98 ページ）

" 以前の目的地 "（▷99 ページ）

" 電話番号検索 "（▷100 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷101 ページ）

自宅地点の地図が表示されます。

▶ " 設定 " を選択します。

自宅が設定されます。

ⓘ 地図の縮尺が大きいときは、自動的に縮尺が切り替わります。

複数の地点を自宅に設定することはできません。

地図をスクロールする

▶ " スクロール " を選択します。

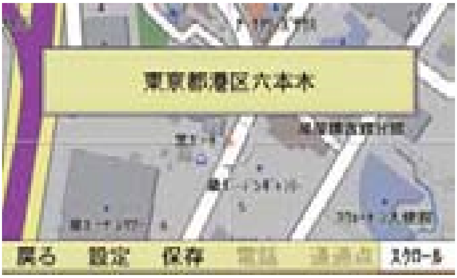
▶ コントロールスティックをいずれかの方向に倒します。

地図がスクロールします。

▶ 自宅地点にクロスカーソルを合わせて、コントロールスティックを押します。

▶ " 設定 " を選択します。

自宅が設定されます。



地図では、設定した自宅は " 🏠 " で表示されます。

自宅の設定を削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " 削除 " を選択します。

自宅の設定が削除されます。

目的地を設定する

地図から設定する

▶ 全画面表示にします（▷48 ページ）。

▶ 地図スクロールで地図を移動します。

▶ クロスカーソルを目的地に合わせてコントロールスティックを押します。

▶ " 目的地 " → " 目的地設定 " を選択します。

ⓘ 縮尺表示が 1km 以上のときは、メッセージが表示され、自動的に 500m の縮尺表示に拡大されます。再度クロスカーソルを目的地に合わせてコントロールスティックを押し、" 目的地 " を選択してください。

目的地が設定され、全ルート図が表示されます（▷61 ページ）。

地点検索などで設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " を選択します。

▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷88 ページ）

" 名前検索 "（▷88 ページ）

" 施設検索 "（▷94 ページ）

" 住所検索 "（▷96 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷97 ページ）

" メモリ地点 "（▷98 ページ）

" 以前の目的地 "（▷99 ページ）

" 電話番号検索 "（▷100 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷101 ページ）

検索された地点が表示されます。

▶ " 目的地 " を選択します。

ⓘ " スクロール " を選択すると、コントロールスティックをいずれかの方向に倒して、地図をスクロールできます。

ℹ "保存"→"メモリ地点"を選択すると、表示した地点をメモリ地点に保存できます。

ℹ "保存"→"アドレス帳保存"を選択すると、表示した地点をアドレス帳に保存できます。

全ルート図が表示されます。

ルート案内については（▷71ページ）をご覧ください。

全ルート図

全ルート図では、ルート案内に関する設定を行なったり、ルートの内容や情報を表示できます。

① 現在地
② 案内ルート
　青色：推奨ルート
　オレンジ色：道幅優先ルート
　緑色：一般優先ルート
　赤色：距離優先ルート
　黄色：別ルート
③ 目的地
④ ルートの種類（この場合は推奨）
⑤ 道路名
⑥ 入り口の IC 名
⑦ 出口の IC 名
⑧ 目的地までの距離
⑨ 到着予想時間
⑩ 料金

ℹ ルート案内中も、ナビ基本画面のサブメニューエリアで"ルート"→"全ルート"を選択すると、全ルート図を表示できますが、この全ルート図ではルート条件の変更（▷62ページ）はできません。

ルート案内の開始

▶ 全ルート図で、" 開始 " を選択します。

ルート案内が開始します。

ℹ カーソルが " 開始 " にあるとき、約 15 秒以上走行すると、自動的に案内が開始され、現在地画面になります。

地図のスクロール

▶ 全ルート図で " スクロール " を選択します。

全画面表示になり、地図上にクロスカーソルが表示されます。

▶ コントロールスティックをいずれかの方向に倒します。

地図がスクロールします。

走行中は一定の距離で地図スクロールが停止します。

地図の縮尺を変更する

▶ コントロールダイヤルをまわします。

ルート条件の変更

▶ 全ルート図で"5ルート"を選択します。

ルート選択画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、ルート条件を選択します。

" 推奨 "

最も推奨できるルート

" 道幅 "

できるだけ広い道幅の道路を通るルート

" 一般優先 "

できるだけ一般道路を通るルート

" 距離 "

できるだけ短い距離を通るルート

" 別ルート "

上記以外のルート

ℹ "推奨"を選択すると、有料道路を優先したルートが探索されます。

ℹ 異なるルート条件を選択したときも、同じルートが表示されることがあります。

ℹ 表示される有料道路の料金は実際の料金と異なることがあります。

ℹ 探索したルートにフェリーを利用する区間があるときは、下記の①が表示されます。

ルート案内中のルート条件の変更

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで"ルート"を選択します。

▶ "条件変更"を選択します。

ルート選択画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、ルート条件を選択します。

"推奨"

最も推奨できるルート

"道幅優先"

できるだけ広い道幅の道路を通るルート

"一般優先"

できるだけ一般道路を通るルート

"距離優先"

できるだけ短い距離を通るルート

"別ルート"

上記以外のルート

ℹ 探索が終わると、選択したルート条件とともに新しいルートが表示されます。

高速道路と一般道路が上下あるいは平行のまましばらく続くような道路を走行する場合、異なる道路を案内することがあります。

このため、例えば高速道路を走行中に、自車位置マークが一般道路上に表示されることがあります。

ルート情報画面

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " ルート情報 " を選択します。

ルート情報画面が表示されます。

ルートリストの表示

目的地までに通過する道路や分岐点、料金所やＩＣなどの名称やおよその距離、料金や通過点を表示します。

▶ " リスト " を選択します。

ルートリストが表示されます。

リストを上 / 下にスクロールする

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

ルート情報画面に戻る

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

ルート情報画面の縮尺の変更

▶ " ズーム " を選択します。

全画面表示になります。

▶ コントロールダイヤルをまわして、縮尺を変更します。

ルート情報画面に戻る

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

ルートのプレビューをする

出発地から目的地までのルートに沿って、ルートを確認できます。

目的地の方向に移動する

▶ " 前進 " を選択します。

目的地までスクロールします。

出発地の方向に移動する

▶ " 後退 " を選択します。

出発地までスクロールします。

移動を停止する

▶ " 停止 " を選択します。

目的地を削除する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " → " 削除 " を選択します。

▶ " 目的地 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

" いいえ " を選択すると、ナビ基本画面に戻ります。

通過点

目的地が設定されているときに、通過点を設定できます。

通過点を設定する①

▶ 通過点に設定したい地点に地図をスクロールして、コントロールスティックを押します。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " → " 通過点 1 " → " 設定 " を選択します。

通過点が設定されます。

さらに通過点を追加する場合は、上記の手順を繰り返します。

ℹ すでに設定してある通過点で " 設定 " を選択すると、その通過点に上書きされ、以前に設定されていた通過点は消去されます。

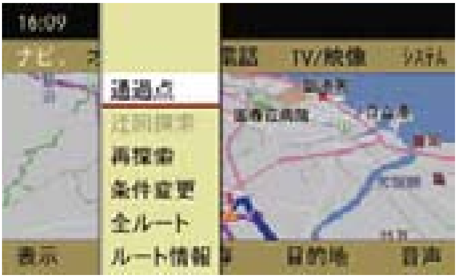
ℹ すでに設定してある通過点で " 追加 " を選択すると、新たに設定する通過点が以前に設定されていた通過点の前に追加されます。

ℹ " 通過点 2"、" 通過点 3"、" 通過点 4" は、それより以前の通過点が設定されているときに設定できます。

通過点を設定する②

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 通過点 " を選択します。



通過点画面が表示されます。

▶ " 設定 " を選択します。

▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷88 ページ）

" 名前検索 "（▷88 ページ）

" 施設検索 "（▷94 ページ）

" 住所検索 "（▷96 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷97 ページ）

" メモリ地点 "（▷98 ページ）

" 以前の目的地 "（▷99 ページ）

" 電話番号検索 "（▷100 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷101 ページ）

▶ " 通過 " → " 通過 1" → " 設定 " を選択します。

設定した通過点 1 が表示されます。

さらに通過点を追加する場合は、上記の手順を繰り返します。

ℹ " 通過点 2"、" 通過点 3"、" 通過点 4" は、それより以前の通過点が設定されているときに設定できます。

▶ " 戻る " を選択します。

ナビ基本画面に戻ります。

通過点位置の変更

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで、" ルート " を選択します。

▶ " 通過点 " → " 編集 " を選択します。

▶ 位置を変更したい通過点を選択します。

通過点の地図が表示されます。

▶ コントロールスティックをいずれかの方向に倒して、通過点の位置を移動します。

▶ コントロールスティックを押します。

" ルート探索中です " のメッセージが表示され、変更された通過点位置でのルート探索が開始されます。

ℹ 通過済みの通過点の位置を変更することはできません。

通過点の入れ替え

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで、" ルート " を選択します。

▶ " 通過点 " → " 入れ替え " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、入れ替えたい通過点（" 通過 1" ～ " 通過 4"）を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、選択した通過点を移動します。

▶ コントロールスティックを押します。

" ルート探索中です " のメッセージが表示され、入れ替えた通過点でのルート探索が開始されます。

通過点の削除

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで、" ルート " を選択します。

▶ " 通過点 " → " 削除 " を選択します。

▶ 削除する通過点を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

選択した通過点が削除されます。

周辺施設の表示と検索

周辺施設を検索する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ "ナビメニュー"→ "周辺施設検索"を選択します。

▶ " 現在地 "(" カーソル周辺 ")、" ルート周辺 " 、" 目的地周辺 " のいずれかを選択します。

" 現在地 "

現在地の周辺にある施設を検索します。

ℹ 地図をスクロールしているときは、" カーソル周辺 " と表示され、クロスカーソルの周辺にある施設を検索します。

" ルート周辺 "

案内ルートの周辺にある施設を検索します。

" 目的地周辺 "

目的地の周辺にある施設を検索します。

ℹ " ルート周辺 " および " 目的地周辺 " は、目的地を設定しているときに選択できます。

施設検索画面が表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

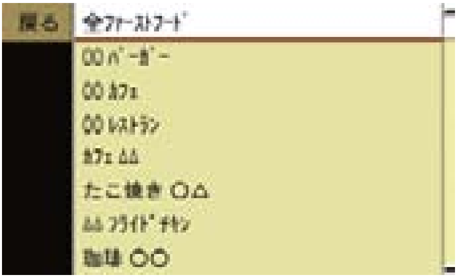
ジャンル（" 食事 "、" 買物 "、"Mercedes-Benz".....）が切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

施設（ジャンルが " 食事 " であれば、" ファーストフード "、" ファミリーレストラン "、" ステーキ・ハンバーグ ".....）が切り替わります。

ℹ 施設によっては、ファーストフード店舗名など、さらに細かく施設を選択できます。



▶ コントロールスティックを押します。

" 周辺施設を検索しています " というメッセージが表示され、検索を開始します。

" 現在地 " または " カーソル周辺 " を選択したとき

現在地またはクロスカーソルから近い順に、半径 30km 以内の範囲で、最大 200 件までの施設を検索します。

施設のアイコンと現在地またはクロスカーソルからの距離、施設名が表示されます。

" 現在地 " を選択しているときは、現在地からの方向も表示されます。

ℹ 検索する項目によっては、検索範囲が半径 50km 以内となります。

ナビ

" ルート周辺 " を選択したとき

現在地から近い順に、半径 30km 以内の範囲で、案内ルート沿いにある施設を最大 200 件まで検索します。

施設のアイコンと案内ルートの左右いずれにあるかの矢印、現在地からの距離と施設名が表示されます。

ℹ 検索する項目によっては、検索範囲が半径 50km 以内となります。

ℹ 高速道路ではルート周辺の施設検索はできません。

ℹ 自車位置が変わると、施設リストの距離やアイコンが更新されます。

" 目的地周辺 " を選択したとき

目的地から近い順に、半径 30km 以内の範囲で、最大 200 件までの施設を検索します。

施設のアイコンと目的地からの距離、施設名が表示されます。

ℹ 検索する項目によっては、検索範囲が半径 50km 以内となります。

施設を選択する

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、施設を選択します。

選択した施設周辺の地図が表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

施設の名称が表示されます。

ℹ 施設に電話番号が登録されているときは、電話番号も表示されます。

以下のいずれかの操作を行なうことができます。

" 目的地 "

検索した施設を目的地に設定します。

" 保存 "

検索した施設をメモリ地点またはアドレス帳に保存できます。詳しくは(▷87 ページ)をご覧ください。

" 電話 "

検索した施設に電話発信できます。

" 通過 "

検索した施設を通過点に設定します。

" スクロール "

地図をスクロールできます。

ルート案内

ルート案内を利用する前に

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、目的地の設定は必ず停車時に行なってください。走行中に操作すると、周囲の状況を把握できなくなり、事故を起こすおそれがあります。

本機がルートの探索を行なう場合、以下のような要素は考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐停車禁止
- 道幅の狭い区間
- その他の交通規制

⚠ 事故のおそれがあります

道路が変更された場合や一方通行の方向が逆になった場合のように、実際の道路状況がデジタル地図と異なる場合には適切でない案内をすることがあります。

そのため、走行中は本機の案内よりも、実際の道路状況を優先し、必ず実際の交通規制に従ってください。

ⓘ 探索ルートを外れると、本機は新しいルートを探索します。

ⓘ 道路によってはルート案内ができない場合があります。

地図データに該当する情報が登録されている場合、本機はルート案内時に通行が制限されている道路（通行止めや居住者専用道路など）を回避しようとします。

5.5m 未満の細街路は案内対象外です。

ⓘ ルート案内は公道の走行開始後すぐに始まりますが、出発点が地図上に表示されていない道路や私有地内のときは、地図上に表示される公道を走行するまで案内できません。

ⓘ 交差点表示や目印となる施設、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、レストランなどは地図の作成時点での公開情報に基づくものであり、実際とは異なることがあります。

ⓘ 立体交差や複雑に交差する分流、分岐点などの通過時に一時的に現在地や車両の方向が正しく表示されないことがあります。

この場合、そのまま走行を続けると自動再探索を実行し、その地点からのルートを案内します。

別画面の案内図

ルート案内中は、以下のような案内図が別画面で表示されます。

- 交差点拡大図
- 高速道路分岐案内図

また、以下の案内図が表示されるように設定 / 解除できます。設定 / 解除方法については（▷53 ページ）をご覧ください。

- 高速案内図
- 分岐点案内図

交差点拡大図

一般道路でルート案内を行なっているときに、交差点に近づくと表示されます。

交差（分岐）点までの距離と進行方向が案内されます。

交差（分岐）点までの距離に応じて、数回に分けて案内が行なわれることがあります。

交差点を通過すると元の画面に戻ります。

ⓘ 交差点拡大図は、地図データに情報があるときに表示されます。

交差（分岐）点までの距離が近づくにつれて、②の青色の部分は下から上へ減っていきます。

車線案内および分岐点の形状は、実際と異なることがあります。

① 拡大されている交差（分岐）点を示すアイコン
② 交差（分岐）点までの距離
③ 車線案内

交差点拡大図を消去する

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

高速道路分岐案内図

① 高速道路名またはジャンクション名

高速道路分岐案内図は、高速道路でルート案内を行なっているときに表示されます。

高速道路分岐案内図を消去する

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

高速案内図

表示形式の " 高速案内図 " が設定されているときは（▷53 ページ）、高速道路を走行しているときに高速案内図が表示されます。

分岐点案内図

表示形式の " 分岐点案内図 " が設定されているときは（▷53 ページ）、ルート案内を行なって一般道を走行しているときに分岐点案内が表示されます。

次の分岐点の名称や分岐方向、分岐点までの距離が表示されます。

車線案内

車線が複数ある道路では、交差点（分岐点）までの車線案内がディスプレイ下部に表示されます。

① 車線案内がある地点を示すアイコン
② 灰色（推奨されない車線）
③ 青色（推奨する車線）

②推奨されない車線

この車線からは、次の交差点（分岐点）までに、車線変更をする必要があります。

③推奨する車線

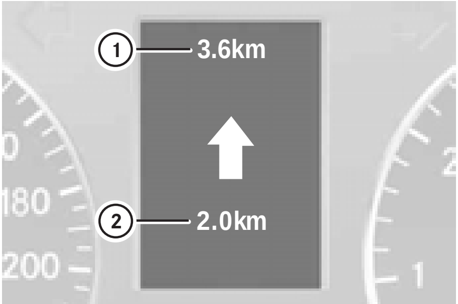
この車線からは、次の交差点（分岐点）を車線変更をしないで走行することができます。

マルチファンクションディスプレイの表示

▶ マルチファンクションディスプレイにナビ画面を表示させせます。

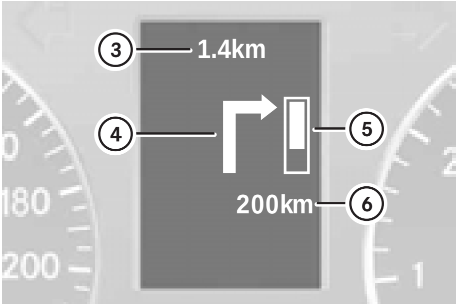
マルチファンクションディスプレイに進行方向や交差点（分岐点）または通過点までの距離が表示されます。

また、交差点（分岐点）または通過点までの距離が約 300m（高速道路などでは約 1,000m）になると、分岐点または通過点での進行方向や分岐点または通過点までの距離とグラフが表示されます。



① 目的地までの距離
② 次の分岐点または通過点までの距離

分岐点または通過点に近づいたとき



③ 目的地までの距離
④ 分岐点または通過点での進行方向
⑤ 分岐点または通過点までの距離を示すグラフ
⑥ 分岐点または通過点までの距離

目的地または目的地周辺の地域

目的地にはゴールマーク①が表示されています。

目的地周辺に到達すると自動的にルート案内が終了します。

① ゴールマーク

登録道路外および地図外の場所

地図に登録されていない目的地までのルート案内

一部の離島などを除き、地図に登録されていない場所であっても、登録道路外の目的地としてルート案内を行なうことができます。

地点検索により目的地を設定できない場合は、地図をスクロールさせることにより、目的地として設定することができます。

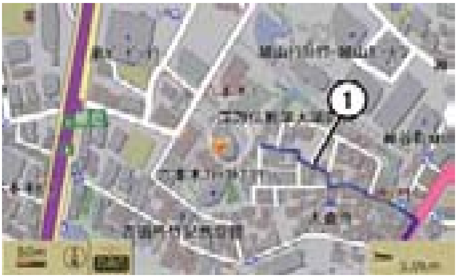
この場合、本機は登録されている道路を使ってルート案内を行ない、できるだけ目的地に近い場所まで誘導しようとします。

地図に登録されていない場所から目的地までのルート案内

車が 5.5m 未満の細街路など、本機に登録されていない道路にあるときは、ルート案内を開始すると、メッセージと目的地の方向、目的地までの距離が表示されます。

このときはルート案内は行なわれません。

車が本機に登録されている 5.5m 以上の道路に戻ると、すぐに通常のルート案内が行なわれます。



① 細い青色線

ℹ 細い青色線①（5.5m 未満の道路）は、自車位置から本機に登録されている道路までのルートを示しています。

ℹ 車が地図に表示されていない場所にあるときや駐車場などの道路以外にあるときは、本機に登録されている道路までのルートは表示されません。

ナビの音声案内

音声案内を繰り返して聞くことができます。

ℹ 電話の通話中は、ナビの音声案内は消音されます。

ℹ 車が案内ルートを走行しているときにのみ、音声案内を繰り返して聞くことができます。

音声案内を聞く

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 音声 " を選択します。

音声案内を消音する

▶ 音声案内中にコントロールパネルのミュートボタンを押します。

消音を解除するときは " 音声 " を選択します。

音声案内の音量を調整する

▶ 音声案内中にコントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。

または

▶ ステアリングの音量調節スイッチを押します。

ℹ 音声案内中に、一定の範囲を超えて音量を小さくまたは大きくしたときも、次に行なわれる音声案内は、一定の範囲内の音量で行なわれます。

回避エリア

通過したくない地域を設定できます。

ℹ 回避エリアは最大５件まで登録することができます。

ℹ 高速道路や有料道路を回避エリアに設定しても、回避されないことがあります。

回避エリアを登録する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

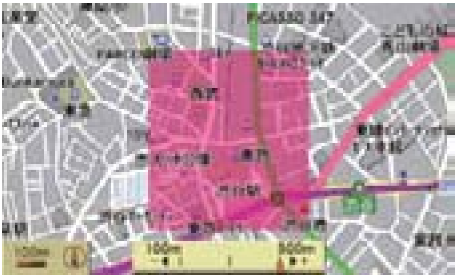
▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " 新規 " を選択します。

▶ 地図をスクロールさせて、設定するエリアの中心にクロスカーソルを移動します。

▶ コントロールスティックを押します。

地図が 100m 表示になり、回避エリアが赤い四角で表示されます。

回避エリア範囲のスケールが表示されます。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、回避エリアの範囲を指定します。

ℹ 回避エリアは一辺 100m、300m または 500m のいずれかの範囲で指定できます。

▶ コントロールスティックを押します。

選択した回避エリアの地名と範囲が、回避エリアリストに登録されます。

回避エリアを修正する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、修正する回避エリアを選択します。

▶ " オプション " → " 編集 " を選択します。

地図が表示されます。

回避エリアの位置を修正する

▶ コントロールスティックをいずれかの方向に倒して、地図をスクロールします。

回避エリアの範囲を修正する

▶ コントロールスティックを押します。

回避エリア範囲が移動してスケールが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、回避エリアの範囲を指定します。

ℹ 回避エリアは一辺 100m、300m または 500m のいずれかの範囲で指定できます。

▶ コントロールスティックを押します。

回避エリアが修正されます。

回避エリアの地名と範囲が修正され、回避エリアリストに登録されます。

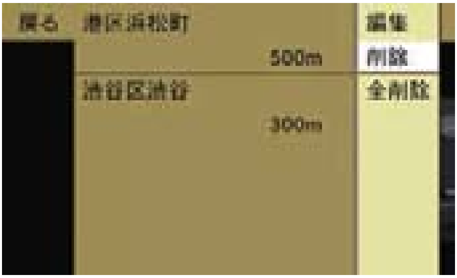
回避エリアを削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、削除する回避エリアを選択します。

▶ " オプション " → " 削除 " を選択します。



確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

回避エリアが削除されます。

すべての回避エリアを削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ " オプション " → " 全削除 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

すべての回避エリアが削除されます。

学習ルート

ナビが設定したルート案内以外のルートを繰り返し利用した場合に、学習した内容を優先してルート案内を行ないます。

学習ルートの設定は（▷56 ページ）をご覧ください。

学習ルートを削除する

記憶した学習ルートを削除できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 学習ルート " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

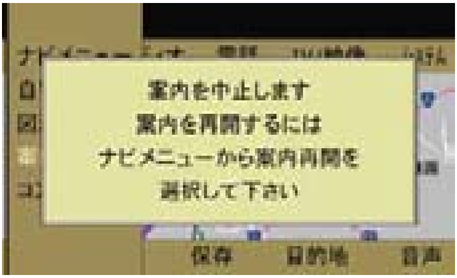
記憶した学習ルートが削除されます。

ルート案内を中止する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 案内中止 " を選択します。

以下のメッセージが表示されます。



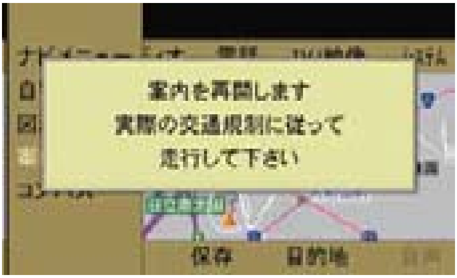
ルート案内を中止すると、地図上のルート（青色のライン）が消えます。

ルート案内を再開する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 案内再開 " を選択します。

以下のメッセージが表示されます。



現在地からのルートを探索します。

探索が終了すると、現在地の地図が表示されます。

迂回探索

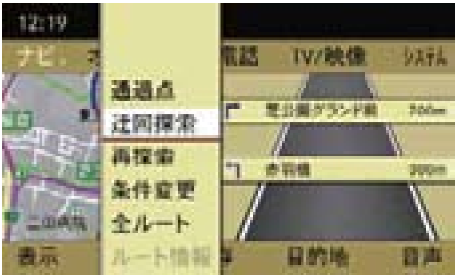
ルート案内中に現在地を起点として、案内ルートの特定区間を走行しないようにルートを再探索することができます。

ℹ 設定する迂回区間の距離により、迂回探索ができないことがあります。

迂回探索を設定する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 迂回探索 " を選択します。



▶ 現在地を起点として、迂回する距離を選択します。

ℹ 選択できる迂回距離は、案内ルートの種類や目的地の距離などにより異なります。

迂回探索を開始します。

ℹ 迂回距離を変更するときは、再度 " 迂回探索 " から設定します。

迂回探索を解除する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 再探索 " を選択します。

迂回探索が解除されます。

ルートを再探索する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 再探索 " を選択します。

探索が終了すると、新しいルートが表示されます。

目的地情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " を選択します。

▶ " 目的地情報 " を選択します。

地点情報画面

地点情報画面では、以下の項目が表示されます。

- 現在地から各地点までの距離
- 現在地から各地点までの到着予想時刻

① 現在地から各地点までの距離
② 現在地から各地点までの到着予想時刻

目的地名称画面に切り替える

▶ " 目的地名称 " を選択します。

ℹ 走行中は画面を切り替えることはできません。

目的地名称画面

目的地名称画面では、通過点や目的地の名称が表示されます。

地点情報画面に切り替える

▶ " 地点情報 " を選択します。

ルート情報を表示する

▶ " ルート情報 " を選択します。

ルート情報については（▷64 ページ）をご覧ください。

メモリ地点

任意の地点をメモリ地点に登録できます。

メモリ地点を登録する

▶ 現在地位置が表示されているときにコントロールスティックを押します。

ℹ 地図をスクロールしているときもメモリ地点を登録できます。このときは、クロスカーソルの位置がメモリ地点になります。

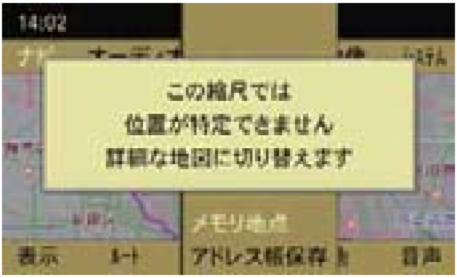
▶ サブメニューエリアから " 保存 " を選択します。

▶ " メモリ地点 " を選択します。

以下のようなメッセージが表示され、メモリ地点が登録されます。

ℹ "アドレス帳保存"を選択すると、選択地点の位置データをアドレス帳に登録することができます。詳しくは（▷159 ページ）をご覧ください。

ℹ 地図表示が広域になっているときは、以下のようなメッセージが表示され、自動的に縮尺が切り替わります。



メモリ地点リスト

メモリ地点リストでは、以下の操作ができます。

- メモリ地点の詳細を表示して編集する
- メモリ地点を登録順またはマーク順に並び替える
- メモリ地点を削除する
- すべてのメモリ地点を削除する
- メモリ地点をアドレス帳に登録する

メモリ地点リストを表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで"ナビ"を選択します。

▶ "ナビメニュー"→"メモリ地点"を選択します。

メモリ地点リストが表示されます。

ℹ メモリ地点を選択してコントロールスティックを押すと、メモリ地点の地図が表示され、目的地や通過点に設定できます。

メモリ地点の詳細を表示する

▶ メモリ地点リストで、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、詳細を表示するメモリ地点を選択します。

▶ "オプション"→"詳細"を選択します。

メモリ地点の詳細画面が表示されます。

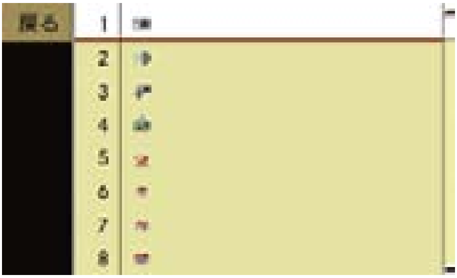
① マークの種類
② 名称
③ 電話番号（入力されている場合）
④ メモリ地点の位置

メモリ地点のマークの変更

地図上に表示されるマークを変更します。

▶ メモリ地点の詳細画面で、" 編集 " → " マーク " を選択します。

マークのリストが表示されます。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、マークを選択します。

下記のメッセージが表示されて、マークが変更されます。

メモリ地点の名称の変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、" 編集 " → " 名称 " を選択します。

文字入力画面が表示されます。

文字の入力方法については（▷102 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、"ok" を選択します。

メモリ地点の名称が変更されます。

メモリ地点の電話番号の入力 / 変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、" 編集 " → " 電話番号 " を選択します。

電話番号入力画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを倒して、番号を選択します。

または

▶ テンキーで番号を入力します。

▶ 電話番号入力が終了したら "ok" を選択します。

入力した電話番号が登録されます。

ℹ メモリ地点の電話番号が入力されているときは、メモリ地点の詳細画面で " 電話 " が黒色で表示され、電話を発信できます。

メモリ地点の位置の変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、" 編集 " → " 地点 " を選択します。

地図上にクロスカーソルが表示されます。

▶ 地図をスクロールして、コントロールスティックを押します。

メモリ地点の位置が変更されます。

メモリ地点の並び替え

メモリ地点リストのメモリ地点を、マーク順または登録順に並び替えます。

▶ メモリ地点リスト画面で " オプション " を選択します。

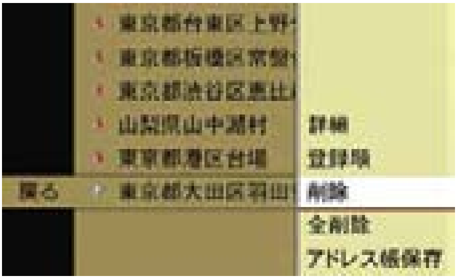
▶ " マーク順 " または " 登録順 " を選択します。

ℹ メモリ地点が登録順に並んでいるときは " マーク順 " が、マーク順で並んでいるときは " 登録順 " が表示されます。

メモリ地点を削除する

▶ メモリ地点リスト画面で、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、削除するメモリ地点を選択します。

▶ " オプション " → " 削除 " を選択します。



下記の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

メモリ地点が削除されます。

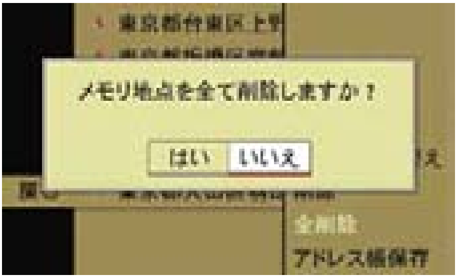
" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

すべてのメモリ地点を削除する

▶ メモリ地点リスト画面で " オプション " を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

すべてのメモリ地点が削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

メモリ地点をアドレス帳に登録する

▶ メモリ地点リスト画面で、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、アドレス帳に登録するメモリ地点を選択します。

▶ "オプション"→"アドレス帳保存"を選択します。

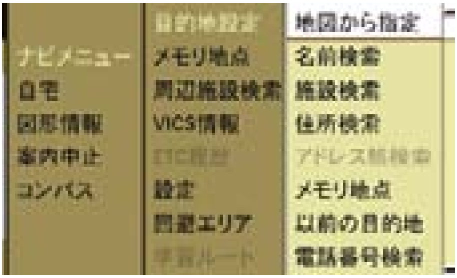
アドレス帳への登録の方法は、（▷159 ページ）をご覧ください。

地点の検索方法

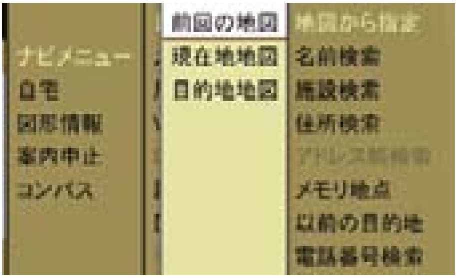
地図から指定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 地図から指定 " を選択します。



▶ 表示したい地図を選択します。



" 前回の地図 "

前回表示した地図を表示します。

" 現在地地図 "

現在地の地図を表示します。

" 目的地地図 "

目的地を設定しているときは、目的地周辺の地図を表示します。

▶ コントロールスティックを押します。

選択した地図が表示されます。

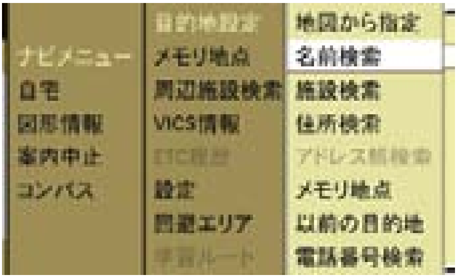
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

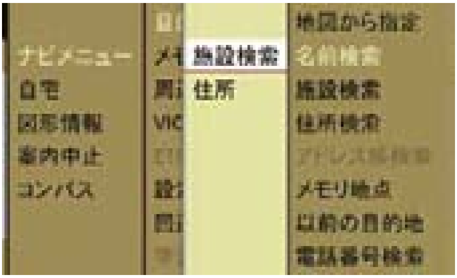
名前検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 名前検索 " を選択します。



▶ 施設名で検索するときは " 施設検索 "、地名で検索するときは " 住所 " を選択します。



ひらがなパレットが表示されます。

ℹ 文字が入力されていない場合、C と " リスト " は利用できません。

ℹ " リスト " は該当件数が 1000 件未満のときに選択できます。

コントロールダイヤル / コントロールスティックで入力する

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下左右に倒して文字を選択し、コントロールスティックを押して入力します。

該当する施設名または地名が表示されます。

ℹ 灰色で表示されている文字は選択できません。

ℹ 該当件数が 1 件になったときは、自動的に施設名または地名が表示されます。

コントロールパネルの文字入力キーで入力する

▶ 入力したい文字の行が表示された文字入力キーを押します。

その行の文字が表示されます。

▶ 約 2 秒以内に同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他の文字入力キーを押したときも、入力文字は確定します。

入力した文字の削除

▶ C を選択します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

入力した文字が一文字削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力されたすべての文字が削除されます。

リストを開く

文字を入力すると、画面右上に該当件数が表示されます。

入力した施設または地名の該当件数が1000 件未満になると、" リスト " が選択できます。

▶ " リスト " を選択します。

入力した文字に該当する施設または地名のリストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、施設または地名を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

選択した施設または地名の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

検索結果をさらに絞り込む

施設名で検索しているときは、検索結果をさらに絞り込むことができます。

▶ " オプション " を選択します。

メニューが表示されます。

ℹ 絞り込み検索は組み合わせて使用できます。各リストが表示されているときに " オプション " を選択すると、他の絞り込み方法で絞り込めます。

ジャンルで絞り込む

▶ " ジャンル " を選択します。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

施設の大分類（" 食事 "、" 買物 " .....）が切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

施設の小分類（ジャンルが " 食事 " であれば、" イタリア料理 "、" 仕出し弁当 "、" デパート ".....）が切り替わります。

▶ 絞り込みたい施設を選択します。

該当施設のリストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、該当施設を選択します。

施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

都道府県で絞り込む

▶ " 県別 " を選択します。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

地域(" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 "…..)が切り替わります。

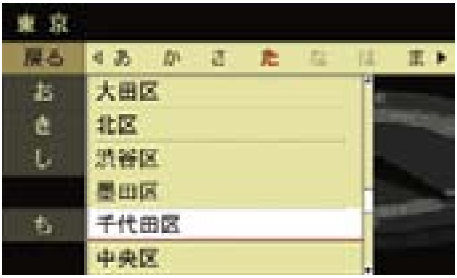
または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

都道府県が切り替わります。

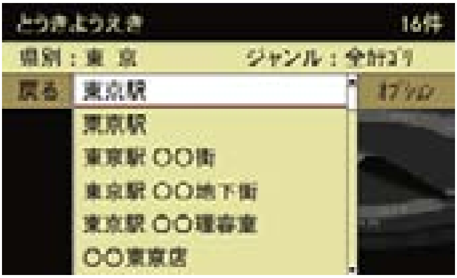
▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

市区町村リストが表示されます。



▶ 絞り込みたい市区町村を選択します。

該当施設のリストが表示されます。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、該当施設を選択します。

施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

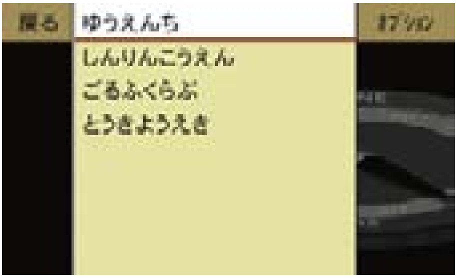
入力文字履歴から検索する

名前検索で入力した文字は記憶されます。

入力文字履歴を表示して、検索できます。

▶ " 検索履歴 " を選択します。

入力文字履歴のリストが表示されます。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、入力文字履歴を選択します。

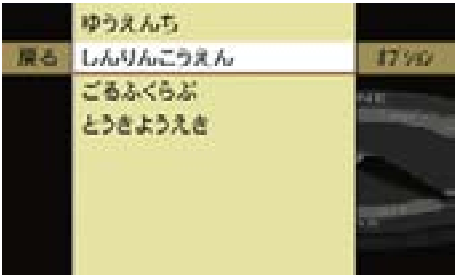
▶ コントロールスティックを押します。

選択した入力文字履歴がひらがなパレットに表示されます。

さらに文字を入力して、リストを表示できます。

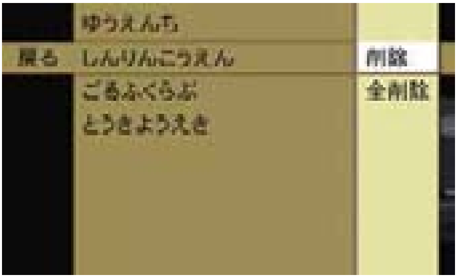
入力文字履歴を削除する

▶ 入力文字履歴のリストで、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、削除する入力文字履歴を選択します。

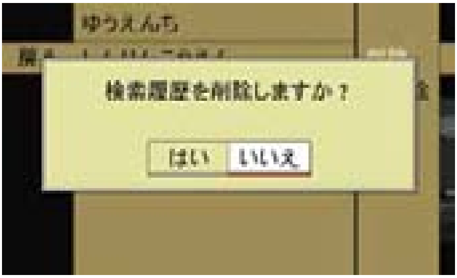


▶ " オプション " を選択します。

▶ " 削除 " を選択します。



下記の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

入力文字履歴が削除されます。

すべての入力文字履歴を削除する

▶ 入力文字履歴のリストで " オプション " を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。

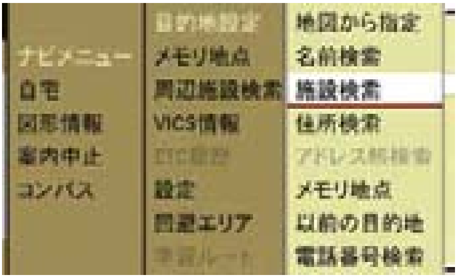
▶ " はい " を選択します。

すべての入力文字履歴が削除されます。

施設検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 施設検索 " を選択します。



▶ コントロールスティックを左右に倒します。

施設の大分類（"Mercedes-Benz"、" 交通 "…..）が切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

施設の小分類（大分類が " 交通 " であれば、"JR 駅 "、" 私鉄駅 "、" 地下鉄駅 ".....）が切り替わります。

▶ 絞り込みたい小分類を選択します。

都道府県リストが表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

地域（" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 ".....）が切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

都道府県が切り替わります。

▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

施設リストが表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

50 音の行ごとに施設リストが切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

施設リストがスクロールします。

▶ 施設を選択します。

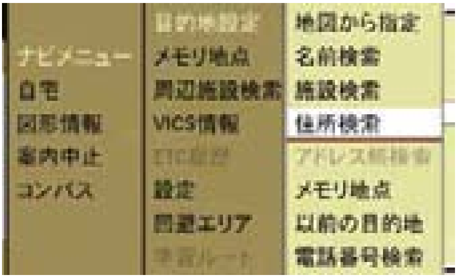
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

住所検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 住所検索 " を選択します。



都道府県リストが表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

地域 (" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 "…..) が切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

都道府県が切り替わります。

▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

市区町村リストが表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

50 音の行ごとに市区町村リストが切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

市区町村リストがスクロールします。

▶ 市区町村を選択します。

詳細住所が表示されます。

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

50 音の行ごとに住所名リストが切り替わります。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

住所名リストがスクロールします。

▶ 住所名を選択します。

丁目リストが表示されます。

ℹ " 主要部 " を選択すると、選択した詳細住所の主要部の地図が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

丁目がスクロールします。

▶ 丁目を選択します。

番地リストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

番地がスクロールします。

▶ 番地を選択します。

号リストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

号がスクロールします。

▶ 号を選択します。

選択地点の地図画面が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

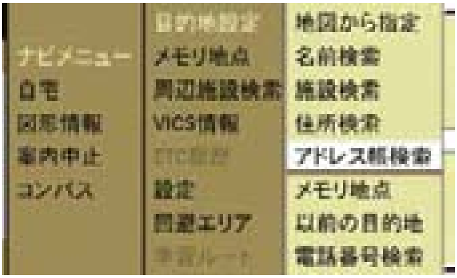
自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

アドレス帳検索

位置データが保存されているアドレス帳の登録データを検索できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " アドレス帳検索 " を選択します。



▶ アドレス帳の分類を選択します。

アドレス帳が表示されます。

登録データが 8 件以上ある場合は、登録データを検索できます。

アドレス帳の検索方法については（▷155 ページ）をご覧ください。

▶ 表示したい登録データを選択します。

選択地点の地図画面が表示されます。

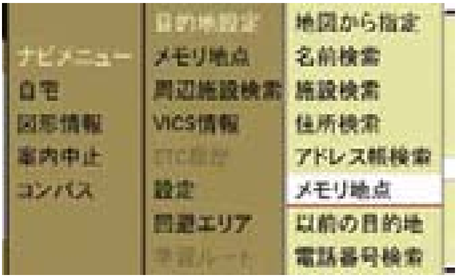
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

メモリ地点からの検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " メモリ地点 " を選択します。



メモリ地点リストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、表示したいメモリ地点を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

選択したメモリ地点の地図が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

メモリ地点リスト画面では以下の操作もできます。詳しくは（▷86､87 ページ）をご覧ください。

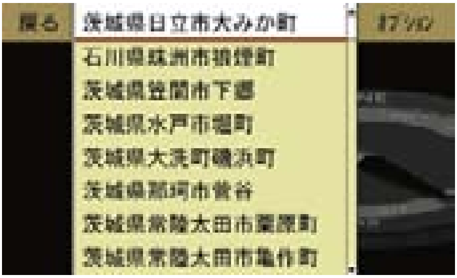
- メモリ地点をマークまたは登録順に並び替える
- メモリ地点をアドレス帳に登録する

以前の目的地から検索する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 以前の目的地 " を選択します。

目的地履歴リストが表示されます。



ℹ メモリ地点から設定した目的地は、目的地履歴リストには登録されません。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して表示したい目的地履歴を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

選択した目的地履歴の地図画面が表示されます。

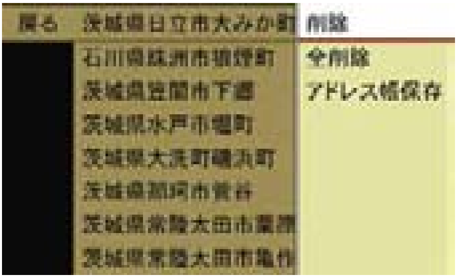
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

目的地履歴を削除する

▶ 目的地履歴リストでコントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、削除する目的地履歴を選択します。

▶ " オプション " → " 削除 " を選択します。



下記の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

目的地が削除されます。

すべての目的地履歴を削除する

▶ 目的地履歴リストで " オプション "→" 全削除 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

" はい " を選択します。

すべての目的地が削除されます。

目的地履歴をアドレス帳に保存する

▶ 目的地履歴リストでコントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、保存する目的地を選択します。

▶ " オプション "→" アドレス帳保存 " を選択します。

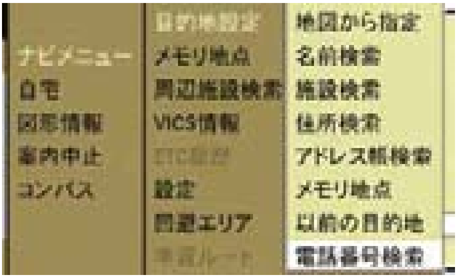
アドレス帳への保存方法については（▷159 ページ）をご覧ください。

電話番号検索

ℹ 入力した電話番号によっては、丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー "→" 目的地設定 "→" 電話番号検索 " を選択します。



電話番号入力画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、数字を選択します。

または

▶ コントロールパネルの文字入力キーを押します。

入力した電話番号が表示されます。

ℹ 市外局番と市内局番だけを入力した場合は、代表地点の地図が表示されます。

入力した文字の削除

▶ c を選択します。

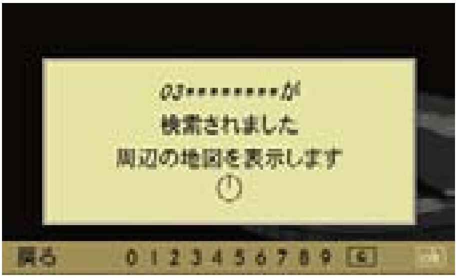
または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

カーソル左側の文字が削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、先頭からカーソル左側までの文字が削除されます。

▶ 入力が完了したら、"ok" を選択します。



地図画面が表示されます。

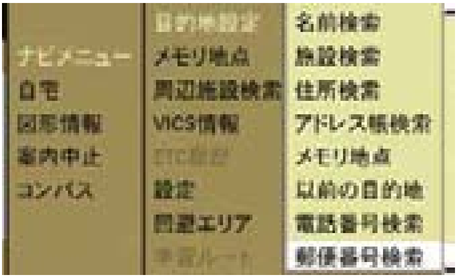
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

郵便番号検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで "ナビ" を選択します。

▶ "ナビメニュー" → "目的地設定" → "郵便番号検索" を選択します。



郵便番号入力画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、数字を選択します。

または

▶ コントロールパネルの文字入力キーを押します。

入力した郵便番号が表示されます。

入力した文字の削除

▶ C を選択します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

カーソル左側の文字が削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、先頭からカーソル左側までの文字が削除されます。

7 桁の郵便番号を入力すると、地図画面が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

自宅の設定	▷58 ページ
目的地の設定	▷60 ページ
通過点の設定	▷65 ページ

文字の入力方法

コントロールダイヤルとコントロールスティック、または文字入力キーを使用して文字を入力できます。

コントロールダイヤル / コントロールスティックでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を選択します。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

電話番号や郵便番号など数字を入力する項目では、文字の種類は自動的に数字になります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（大文字） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット（小文字） 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ヱなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下左右に倒して、入力する文字を選択します。

または

▶ "←""↑""↓""→"を選択してカーソルを移動し、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントロールスティックを左右に倒して、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して入力する文字を選択します。

カーソルを移動する

カーソルを移動して、文字を入力する位置を指定します。

▶ コントロールスティックを上下左右に倒して、"←" または "→" を選択します。

文字を削除する

▶ C を選択します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

カーソル左側の文字が削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

文字入力キーでの入力

文字の種類の選択

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "#" を押します。

文字入力キーの "#" を押すごとに文字の種類が切り替わり、文字の種類がディスプレイに表示されます。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

ℹ " 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントロールダイヤルおよびコントロールスティックで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されている文字入力キーを押します。

アルファベットの入力

▶ 入力したい文字が下方に表示されている文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示された文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他の文字入力キーを押したときも、入力文字は確定します。

文字の変換

▶ 入力したい単語の読みがなをひらがなで入力します。

▶ " 変換 " を選択します。

候補となる単語が表示されます。

ℹ ok を選択すると、漢字に変換されずにひらがなになります。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、変換する単語を選択します。

VICS

VICS とは？

VICS（道路交通情報通信システム）とは、FM 多重放送やビーコンにより、交通渋滞や所要時間、事故による規制などの道路交通情報を送信するシステムです。

VICS は Vehicle Information and Communication System の略です。

VICS は以下の情報を送信します。

- 交通渋滞
- 所要時間
- 事故および工事箇所
- 速度および車線規制
- 駐車場の位置
- 駐車場の混雑状況

ⓘ VICS 情報の収集・処理・提供は、公安委員会、道路管理者、（財）日本道路交通情報センター、（財）VICS センターが行なっています。

VICS 情報内容の問い合わせ

VICS の概念や表示された情報内容に関することは（財）VICS センターにお問い合わせください。

（財）VICS センター

電話：0570-00-8831
（PHS からは利用できません）

電話受付：9:30 ～ 17:45
（土・日・祝祭日を除く）

FAX：03-3592-5494

HP アドレス：http://www.vics.or.jp

※上記の内容は取扱説明書作成時のもので、予告なく変更されることがあります。

VICS 情報の取得方法

VICS 情報は、FM 多重放送、電波ビーコン、光ビーコンにより提供されています。

! 本機に送信される情報はあくまで参考情報です。

情報の収集と処理の条件により、実際の状況と本機に送信される情報が異なる場合があります。

実際の規制や状況に従って走行してください。

! FM 多重放送の情報は通常 5 分毎に更新されますが、常に最新の情報が表示されるわけではありません。そのため、最新の情報が画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。

実際の規制や状況に従って走行してください。

ℹ 電波ビーコンおよび光（赤外線）ビーコンのビーコン受信装置は販売店オプションです。詳しくはお買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

FM 多重放送

特徴

- 各地域の NHK の FM 放送局の音声放送を多重化して、同一周波数帯域で放送します。
- 2.5 分あたり約 5 万文字相当の情報を送信します。送受信を確実にするため、5 分間に 2 回情報を送信します。
- 放送エリアは全国の主要都市をカバーしています。
- 走行している都道府県の情報と、その隣接地域、都府県境近辺の情報を提供します。また、進行方向の前方約 100km までの高速道路の情報を提供します。

提供される情報

- 交通渋滞
- 所要時間（広域）
- 交通事故、工事規制、速度規制、車線規制などの情報（広域）
- 駐車場の位置と混雑状況

電波ビーコン *

特徴

- 交通情報を電波により提供します。
- ビーコンから半径約 70m 以内の範囲の電波を受信できます。
- 主に高速道路に設置されています。
- 進行方向の前方約 200km までの高速道路の情報や、高速道路に接続するインターチェンジ付近のバイパスおよび一般道路に関する情報などを提供します。

提供される情報

- 交通渋滞
- インターチェンジ間の所要時間
- インターチェンジ付近の交通状況
- 交通事故、速度規制、車線規制、チェーン規制、通行止めなどの情報
- 高速道路のサービスエリアおよびパーキングエリアの駐車場の混雑状況

光ビーコン *

特徴

- 交通情報を赤外線により提供します。
- ビーコンの手前約 3.5m の範囲の電波を受信できます。
- 主要幹線道路に設置されています。
- 進行方向の前方約 30km および後方約 1km の一般道路と高速道路の情報を提供します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

提供される情報

- 交通渋滞
- 所要時間
- 交通事故、故障車、工事規制などの情報
- 駐車場の混雑状況

VICS 情報の表示形式

⚠ **事故のおそれがあります**

VICS 情報は走行中も表示されますが、表示画面を注視しないでください。

前方不注意などにより事故を起こすおそれがあります。

VICS 情報には、3 種類の表示形式があります。

レベル 1：文字情報

VICS 情報を文字で表示します。

現在の道路交通情報が文字形式で提供されます。

ℹ "VICS 設定 " 画面（▷113 ページ）から、文字情報の表示 / 非表示を選択することができます。

レベル 2：図形情報

VICS 情報を図形で表示します。

混雑している場所や所要時間が、道路の種類別に図形や文字で表示されます。

ℹ "VICS 設定 " 画面（▷113 ページ）から、図形情報の表示 / 非表示を選択することができます。

レベル 3：地図情報

取得した VICS 情報を地図上に表示します。受信する情報は、車の現在位置によって変わります。表示する情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます。

駐車場情報を検索する

VICS 情報から取得した駐車場情報を表示できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "VICS 情報 " を選択します。

VICS 情報メニューが表示されます。

VICS 情報メニュー

▶ VICS 情報メニューで " 駐車場 " を選択します。

VICS 情報で取得した駐車場のリストが表示されます。

VICS 情報で取得した駐車場の地図を表示する

▶ 駐車場のリスト画面で、コントロールダイヤルをまわすかコントロールスティックを上下に倒して、地図を表示したい駐車場を選択します。

VICS 情報で取得した駐車場の地図が表示されます。

VICS 情報で取得した駐車場の詳細情報を表示する

▶ 駐車場のリスト画面で、コントロールダイヤルをまわすかコントロールスティックを上下に倒して、地図を表示したい駐車場を選択し、" オプション " を選択します。

▶ " 詳細 " を選択します。

VICS 情報で取得した駐車場の詳細情報が表示されます。

文字情報を表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

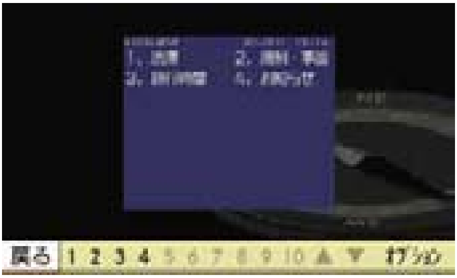
▶ " ナビメニュー " → "VICS 情報 " を選択します。

VICS 情報メニューが表示されます。

VICS 情報メニュー

▶ VICS 情報メニューで、"FM 文字 " を選択します。

FM 文字情報画面が表示されます。



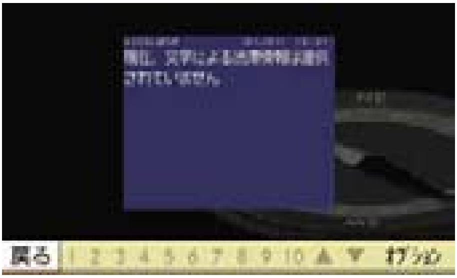
▶ サブメニューエリアで取得したい情報の番号を選択するか、コントロールパネルの文字入力キーを押します。

ℹ 情報を表示できる番号は黒色で表示されます。

VICS 文字情報が表示されます。

▶ ページを移動するときは、サブメニューエリアで "▼ " または "▲ " を選択します。

ℹ 表示する情報がないときは以下のような画面が表示されます。



図形情報を表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "VICS 情報 " を選択します。

VICS 情報メニューが表示されます。

VICS 情報メニュー

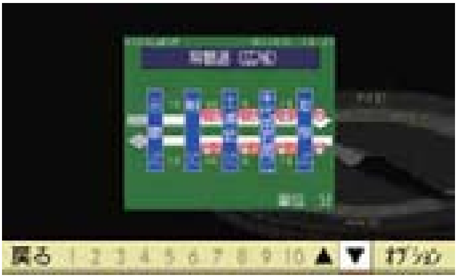
▶ VICS 情報メニューで、"FM 図形 " を選択します。

図形情報画面が表示されます。

▶ サブメニューエリアで取得したい情報の番号を選択するか、コントロールパネルの文字入力キーを押します。

ℹ 情報を表示できる番号は黒色で表示されます。

VICS 図形情報が表示されます。



▶ ページを移動するときは、サブメニューエリアで "▼" または "▲" を押します。

地図上に VICS 情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ "VICS" を選択します。

▶ "VICS 一般道 " または "VICS 高速道 " を選択します。

一般道の VICS 情報を表示する

▶ "VICS 一般道 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

一般道の情報が表示されます。

一般道の VICS 情報

高速道路の VICS 情報を表示する

▶ "VICS 高速道 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

高速道路の情報が表示されます。

高速道路の VICS 情報

ℹ 表示する情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます（▷113 ページ）。

割り込み情報を表示する

割り込み文字情報

▶ VICS 情報メニュー（▷109 ページ）で " 割り込み文字情報 " を選択します。

割り込み文字情報画面が表示されます。

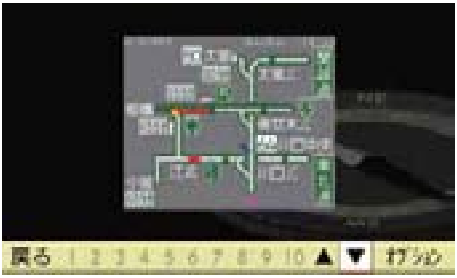
複数の情報があるときは、サブメニューエリアで " ▼ " または " ▲ " を選択して情報画面を切り替えることができます。

割り込み図形情報

▶ VICS 情報メニュー（▷109 ページ）で " 割り込み図形情報 " を選択します。

割り込み図形情報画面が表示されます。

複数の情報があるときは、サブメニューエリアで " ▼ " または " ▲ " を選択して情報画面を切り替えることができます。



割り込み情報の自動表示

走行中に割り込み情報を取得したときは、自動的に割り込み情報が表示されます。

FM VICS 放送局の受信状況を見る

▶ VICS 情報メニュー（▷109 ページ）で " 選局 " を選択します。

FM VICS 放送局を受信しているとき

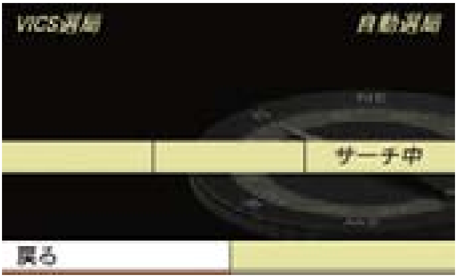
下記の画面が表示されます。

① 受信中の FM VICS 放送局の周波数
② 受信中の FM VICS 放送局の名称

ℹ 受信する FM VICS 放送局は、自車位置に応じて自動的に選局されます。

FM VICS 放送局を受信していないとき

下記の画面が表示されます。



VICS の設定

地図上に表示する情報や割り込み情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → "VICS 設定 " を選択します。

VICS 設定リストが表示されます。

▶ 各項目を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

" 渋滞・混雑線表示 "

渋滞している道路を赤色の矢印で、混雑している道路をオレンジ色の矢印で表示します。

" 順調線表示 "

空いている道路を緑色の矢印で表示します。

"VICS 音声案内 "

取得した VICS 情報を音声で案内します。

" 規制情報表示 "

交通規制情報が表示されます。

" 文字情報割込 "

文字情報が割り込み表示されます。

" 図形情報割込 "

図形情報が割り込み表示されます。

" 注意警戒情報割込 "

注意警戒情報が割り込み表示されます。

VICS マーク

渋滞・混雑情報

ℹ 渋滞している道路は赤色、混雑している道路はオレンジ色、空いている道路は緑色の矢印で表示されます。

	道路の流れの目安		
矢印	一般道	都市内高速道路	都市間高速道路
渋滞	10km/h 以下	20km/h 以下	40km/h 以下
混雑	10km/h ～ 20km/h	20km/h ～ 40km/h	40km/h ～ 60km/h
順調	20km/h 以上	40km/h 以上	60km/h 以上

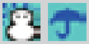
事象規制マーク

交通障害情報

マーク	障害の内容
	事故
	故障車
	障害物・路上障害
	工事
	凍結
	作業

交通規制の情報

マーク	規制の内容
	閉鎖・通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	入口閉鎖
	入口制限
	出口閉鎖
	速度規制
	徐行
	行事など
	災害
	右左折規制

マーク	規制の内容
	直進規制
	火災
	悪天候

駐車場に関する情報

駐車場に関する情報は、地図上に駐車場のランドマークを表示しているとき（▷54 ページ）に表示されます。

ⓘ 駐車場とサービスエリア（SA）/パーキングエリア（PA）の位置を表示し、混雑状況を色で表示します。

ⓘ 駐車場情報は一部のエリアでのみ提供されます。

500m 以下の縮尺表示を選択している場合、駐車場情報は表示されません。

ⓘ 駐車場に関する情報は絶えず変化しているため、そのときの状況と本機で受信した情報が異なることがあります。

駐車場に掲示されている情報などにも注意してください。

ⓘ ビル表示を選択しているときは、駐車場情報と SA/PA 情報は表示されません。

マーク	混雑状況
	満車（混雑率 90%以上）
	混雑（混雑率 70 %〜90%）
	（青色） 空車（混雑率 70%以下）
	閉鎖
	（黒色） 駐車場情報がない状態

地図記号

地図記号の例

記号	名称
	高速道路・都市高速・有料道路
	国道
	主要地方道
	一般都道県道
	その他の道路（幅 5.5m 以上）
	その他の道路（幅 3.0m 以上）
	私鉄線路
	JR 線路
	水域（河川、湖沼、海など）
	緑地
	駅 / 敷地
	都道府県庁
	市役所
	東京 23 区役所
	町村役場、東京以外区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	病院
	その他の施設
	銀行、信用金庫、農協
	商業施設
	ホテル、旅館
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ゴルフ場
	スキー場
	ヨットハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	インターチェンジ
	パーキングエリア
	サービスエリア
	駐車場
	フェリーターミナル
	山
	墓地
	空港、飛行場

道路種別マーク

記号	名称
	国道
	都道府県道
	高速道路

こんなときは

画面表示や操作に対する反応に疑問を感じたときなどは、故障とお考えになる前に、以下の項目を参照して故障かどうか確認してください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
画面表示のディスプレイ面に光る点が散在する	• 画面表示の液晶パネルには非常に高度な製造技術で高密度の表示画素を採用しています。 • 表示する有効画素数の保証値は 99.99% 以上となっていますが、わずかながら（0.01% 以下）の割合で表示画素のエレメント配列欠損や常時点灯などの異常があることがあります。	故障ではありませんので、安心して使用してください。
自宅前の道路から案内を開始しない	• 団地内の私道や、住宅街の交通量の少ない（私道に準ずる）道は安全上と道路環境を保護するため、ルート案内対象道路として適用していません。	少し走行して近くの案内対象道路（公道）に出るとルート案内が始まります。
	• また、同じ理由から住宅街や学校付近などの「裏道や抜け道」も画面表示しなかったりルート案内や現在地表示ができないことがあります。	「裏道」などの走行中に画面表示から道路が消えても、再び案内対象道路（公道）に出るとルート案内を開始します。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
道路（公道）が画面に表示されない、画面表示の施設名が実際とは異なる	道路や施設名、交差点名などについては地図の作成時点で公開されている情報に基づくものであり、実際とは異なることをご理解のうえ使用してください。	
地図の表示画面が暗すぎる、明るすぎる		▶ ディスプレイの照度を調整してください(▷32 ページ)。
現在地マークが画面に正しく表示されない	• GPS（人工衛星）信号の受信状態や車の状態（たとえば、タイヤの交換直後やバッテリーの交換直後など）によって一時的に表示がずれることがあります。 • これまでに走行した道路と地図の登録情報が一致しないときや、地図に登録されていない新しい道路の通過後などでは一時的に表示がずれることがあります。	しばらくそのままで走行を続けると GPS の受信により自動的に修正されます。 ▶GPS を精度よく受信するために見晴らしのよい安全な場所に駐車することも一案です。 ▶GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動的に修正されないときは手動で修正することもできます。詳細については、" 現在地（自車位置）を補正する " をご覧ください（▷122 ページ)。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
現在地マークの方向と車の進行方法が合わない	以下のような状況では、一時的に車の進行方向がずれることがあります。 • 駐車場の出入り口でターンテーブルを使用したあと • ループ状の駐車場出入口の通過後 • ループ橋などの道路の通過後	しばらくそのままで走行を続けると、GPS の受信により自動的に修正されます。 ▶GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動的に修正されないときは手動で修正することもできます。詳細については、" 現在地（自車位置）を補正する " をご覧ください（▷122 ページ）。
現在地位置までの走行距離の誤差が大きい（常に大きな誤差がある）	このシステムはタイヤの回転数によりこの車の走行距離を計算します。 指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着すると表示誤差が大きくなることがあります。 非舗装路面や路面の凸凹が激しい道路、凍結路などの通過時やタイヤチェーン装着時などはタイヤの回転数が不安定になるため表示誤差が大きくなることがあります。	▶表示誤差が直らない場合や、タイヤ交換時は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
案内ルートが不適切	以下のようなときは、ルート選択画面で " 推奨 " を選択していなくても有料道路を案内することがあります。 • 一般道路を通ると極端に遠回りになるとき • 周囲に適切な案内対象の一般道が存在しないとき 距離優先を選ぶと、ルート探索上の最短の距離を表示します。 その結果、有料道路の区間別に繰り返し案内することがあります。	
インターチェンジなどの走行中現在地マークが回転する	ループ状のインターチェンジや交差点などを通過するときは方位が連続して変わるため、一時的に現在地マークが回転することがあります。	そのまま走行を続けると、正しい方位を探索して自動的に修正されます。
画面いっぱいに施設マークが表示される		▶施設マークを消去する場合は、" 地図に表示するランドマーク（施設）を選択する " をご覧ください（▷54 ページ）。

現在地（自車位置）を補正する

地図上の自車位置と実際の自車位置がずれていたり、自車の向きが正常に表示されないときは、補正することができます。

ℹ しばらく（約 10km）走行を続けていても現在地が自動修正できなかったり、表示誤差が大きいときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → " 現在地補正 " を選択します。

現在地補正画面が表示されます。

▶ 地図スクロール（▷51 ページ）で現在地の位置を補正します。

▶ コントロールスティックを押します。

▶ コントロールダイヤルをまわして自車の向きを補正します。

▶ コントロールスティックを押します。

現在地が補正されます。

ℹ 1km 以上の縮尺表示を選択しているときはメッセージが表示され、自動的に 500m の縮尺で表示されます。

ETC

ETC 車載器を本機に接続することにより、本機から ETC の設定を行なったり ETC カードの使用履歴を表示することができます。

ETC 車載器の接続ケーブルは販売店オプションです。詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ETC を利用するためには、事前に ETC 車載器のセットアップと ETC カードの準備が必要です。詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ETC 車載器が接続され、ETC カードが挿入されているときは、地図画面の左上に ETC 表示①が表示されます。

① ETC 表示

ETC の設定

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → "ETC 設定 " を選択します。

ETC 設定リストが表示されます。

▶ 各設定を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

" 警告表示 "

ETC の使用に関する情報をディスプレイに表示します。

" 警告音声案内 "

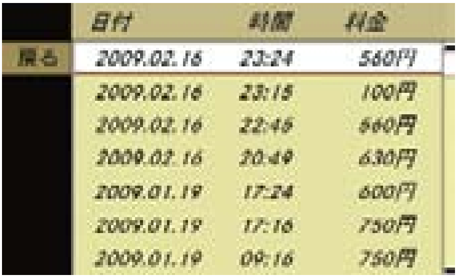
ETC の使用に関する情報を音声で案内します。

ETC 履歴

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "ETC 履歴 " を選択します。

ETC 履歴画面が表示されます。



各履歴を選択すると、料金所の名称が表示されます。

ℹ ETC カードが挿入されていない場合は "ETC 履歴 " は選択できません。

ℹ ETC 履歴が表示されているときに ETC カードを取り出すと、現在地画面が表示されます。

地図・情報について

本機の「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」(財団法人日本デジタル道路地図協会作成)と「交通規制データベース」(財団法人日本交通管理技術協会作成)をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は 2006 年 12 月までに、国道・都道府県道は 2006 年 11 月現在までに)を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

[地図版権について]

- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しています。(測量法第 30 条に基づく成果使用承認　平 17 総使、第 598-158 号)
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、(財)日本交通管理技術協会　(TMT)が作成したものを使用しています。(承認番号　07-5)
- 本品に使用している交通規制データは 2006 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

©2007 MBA, Inc.

©2007 ZENRIN CO.,LTD.

©2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

©2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

©2006 .TMT

© ジオ技術研究所

ご使用になる前に…………………… 126
携帯電話の Bluetooth® 接続…… 127
電話………………………………… 133
電話帳データとアドレス帳データ 145
電話帳……………………………… 146
アドレス帳………………………… 154
文字の入力方法…………………… 166
データの検索方法………………… 169
FM 多重放送 ……………………… 171

ℹ FM 多重放送は、販売店オプションの HDD ナビゲーションシステムを装着することにより使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、運転者は走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。また、走行中に携帯電話の接続をしないでください。道路交通法違反になります。

走行中は電話をかけないでください。

また、運転中に電話がかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。

どうしても電話を受けなければならないときは、ハンズフリー機能で「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

機能の制限

- 通話可能圏外にいるときは、携帯電話は使用できません。
- 走行中にドアウインドウやパノラミックラメラールーフ * が開いていると、ハンズフリー機能を使用した通話が妨げられることがあります。
- 安全のため、走行中は電話番号を入力することはできません。
- 走行中は、マルチファンクションステアリングのスイッチによる電話帳、履歴の操作および音声認識機能 * の使用のみ行なうことができます。
- 携帯電話の機種によって、操作方法や通話音量が異なる場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、電波状況が正しく表示されないことがあります。
- 携帯電話の省電力モードがオンになっていると、Bluetooth® を使用して接続できないことがあります。
- 数多くの携帯電話が市販されているため、携帯電話の機種によっては機能が制限される場合があります。詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ℹ 日本仕様では選択できないメニューが画面に表示されることがあります。

利用できない機能は以下のように知ることができます。

- メニューの選択項目が灰色で表示されます。
- 操作したときに、「走行中は利用できません」というメッセージが表示されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

携帯電話の Bluetooth® 接続

Bluetooth® により、Bluetooth® 対応携帯電話を本機に接続してハンズフリー通話を行なうことができます。

ⓘ Bluetooth® 対応携帯電話を接続するためには、本機と Bluetooth® 対応携帯電話の両方で、Bluetooth® をオンにする必要があります。

また、Bluetooth® 対応携帯電話は本機から検索可能な状態になっている必要があります。それによって、本機は Bluetooth® 対応携帯電話を検索して表示できます。

設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ⓘ 各 Bluetooth® 機器には Bluetooth® 機器名があります。

機器名はわかりやすい名前にすることをお勧めします。そうすることにより、自分の携帯電話を明確に識別することができます。

Bluetooth® 機器名の設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を認証する

携帯電話を新たに本機に接続して使用するときは、携帯電話を認証する必要があります。

本機に携帯電話を認証するには、以下の2通りの方法があります。

- 本機から携帯電話を検索して認証する
- 携帯電話から本機を検索して認証する

ⓘ システムの設定からも携帯電話を認証できます（▷36、38 ページ）。

本機から携帯電話を検索して認証する

▶ Bluetooth® 接続する携帯電話の電源を入れます。

▶ 携帯電話の Bluetooth® 機能をオンにします（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

携帯電話を検索する

▶ 電話基本画面を開きます（▷135 ページ）。

▶ " 電話 " を選択します。

▶ "Bluetooth 携帯電話 " → "Bluetooth 検索 " を選択します。

ℹ マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示してあるときは、"Bluetooth セツゾクマチ " と表示されます。

受信範囲内にある Bluetooth® 対応携帯電話の検索を行ないます。

しばらくすると、Bluetooth® 対応携帯電話が表示されます。

ℹ 検索にかかる時間は、Bluetooth® 対応携帯電話の台数と種類によって異なります。

ℹ 検索には数分かかることがあります。携帯電話を検索できない場合は、" サポートしているプロファイルを持った携帯電話がありません " というメッセージが表示されます。

携帯電話が検索された場合は、次のように表示されます。

アイコン	
•	本機に接続している Bluetooth® 対応機器を示しています。
✔ (黒色)	すでに認証され、検索された Bluetooth® 対応機器を示しています。
✔ (灰色)	すでに認証されているが、検索されなかった Bluetooth® 対応機器を示しています。
なし	検索されたが、認証されていない Bluetooth® 対応機器を示しています。

ℹ 最大 10 台までの Bluetooth® 対応携帯電話を検索できます。

ℹ 最大 15 台までの Bluetooth® 対応携帯電話を認証できます。

機器リストにすでに 15 台の携帯電話が認証されているときに、新しい機器を認証したい場合は、いずれかの機器の認証を解除してください (▷131 ページ)。

検索を再度行なう

▶ "Bluetooth 検索 " を選択します。

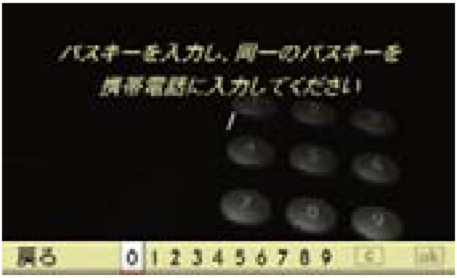
パスキーを入力する

▶ 認証したい Bluetooth® 対応携帯電話をリストから選択します。

または

▶ 認証したい Bluetooth® 対応携帯電話をリストから選択し、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証 " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。



ℹ 携帯電話の機種によっては、パスキーを入力する前に暗証番号の入力が必要になることがあります。

ℹ パスキーは任意に選択できる 1 ～ 16 桁の数字です。

本機と認証する機器の両方に同じ数字を入力してください。

携帯電話の取扱説明書もご覧ください。

▶ 文字入力キーまたはコントロールダイヤルやコントロールスティックで数字を入力します。

入力した数字を訂正する

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。またはディスプレイの c を選択します。

入力を取り消す

▶ " 戻る " を選択します。

入力を確定する

▶ コントロールダイヤルやコントロールスティックで ok を選択します。

▶ 携帯電話に同じパスキーを入力します（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

▶ 携帯電話に認証の確認メッセージが表示されたときは、携帯電話で認証操作を行ないます。

機器が認証されます。

認証された携帯電話を使って本機のハンズフリー機能から通話を行なうことができます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、認証された後に携帯電話の設定が必要になることがあります。

携帯電話から本機を検索して認証する（外部認証）

携帯電話のセキュリティ設定などにより、本機がお使いの携帯電話を検索できない場合があります。

その場合は、携帯電話から本機を検索して、登録することができます。

本機の Bluetooth® 機器名は "MB Bluetooth" です。

▶ " 電話 " → "Bluetooth 携帯電話 " → " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 外部認証 " を選択します。

▶ 携帯電話から Bluetooth® 検索を開始します。

詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶ 携帯電話画面の "MB Bluetooth" を選択します。

ディスプレイに携帯電話の認証を求めるメッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。

▶ パスキーは、本機に入力してから携帯電話に入力します。

機器が認証されます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、パスキーを入力する前に暗証番号の入力が必要になることがあります。

ℹ 認証ができないときは、携帯電話の機器リストから "MB Bluetooth" を削除して、再度認証操作を行なうと、認証できることがあります。

携帯電話の詳細情報を表示する

以下の情報を表示できます。

- Bluetooth® 機器名
- Bluetooth® 識別記号
- 利用の可否
- 認証済みの可否

▶ " 電話 " → "Bluetooth 携帯電話 " を選択します。

▶ リストから携帯電話を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

機器の詳細画面が表示されます。

詳細画面を閉じる

▶ コントロールダイヤルをまわします。

または

▶ コントロールスティックを押すか、いずれかの方向に倒します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンまたはリターンボタンを押します。

ℹ アプリケーションエリアの " ｼｽﾃﾑ " から、" システム " → "Bluetooth 設定 " → "Bluetooth デバイスリスト " を選択して詳細情報を表示したい携帯電話を選択してから、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択しても、詳細情報を表示できます。

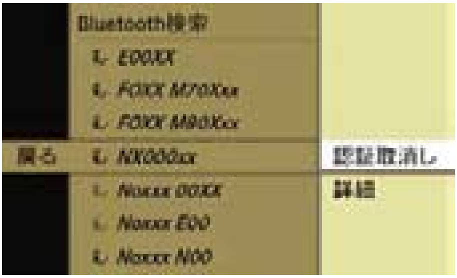
携帯電話の認証を解除する

▶ " 電話 " → "Bluetooth 携帯電話 " を選択します。

▶ 認証を解除したい携帯電話を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証取消し " を選択します。

機器の認証解除に対する確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

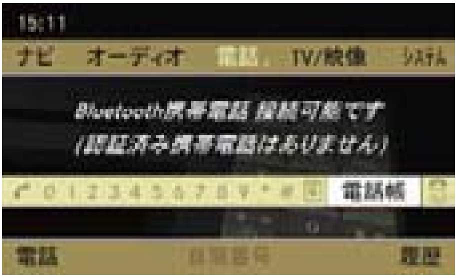
機器の認証が解除されます。

" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

ℹ 携帯電話の認証を解除すると、Bluetooth® デバイスリスト（▷41 ページ）から機器名が削除されます。

ℹ アプリケーションエリアの " ｼｽﾃﾑ " から、" システム " → "Bluetooth 設定 " → "Bluetooth デバイスリスト " を選択して認証を解除したい携帯電話を選択してから、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証取消し " を選択しても、認証を解除できます。

ℹ 本機の Bluetooth® 機能がオンにしてあり、認証してある携帯電話がないときは、以下のようなメッセージが表示されます。



ℹ 本機の Bluetooth® 機能がオフになっているときは、以下のメッセージが表示されます。

また、マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示してあるときは、"Bluetooth オフ " と表示されます。

使用する携帯電話を切り替える

複数の携帯電話を認証している場合は、別の携帯電話を選択すると、その携帯電話に自動的に接続を切り替えることができます。

一度に使用できる携帯電話は 1 台だけです。

▶ " 電話 " → "Bluetooth 携帯電話 " を選択します。

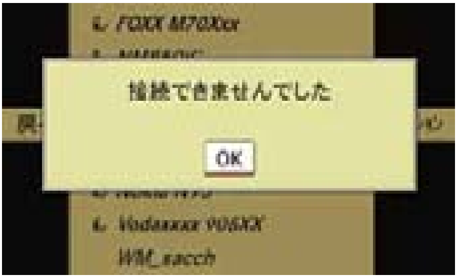
▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、切り替える携帯電話を選択します。

選択した携帯電話の検索を開始します。検索中にコントロールスティックを押すと、検索が中止されます。

▶ 携帯電話の画面に認証の確認メッセージが表示された場合は、携帯電話で認証操作を行ないます。

検索が終了すると電話基本画面になります。

ℹ 選択した携帯電話が検索できなかったときは、" 接続できませんでした " と表示されます。コントロールスティックを押すと、元の画面に戻ります。



電話

ご使用になる前に

- 以下の場合は、通話することができません。

  ◇通話可能圏外にいるとき

  ◇通話が制限されているとき（例：回線が混んでいるとき）

  ◇携帯電話が故障しているとき

  ◇携帯電話のバッテリー残量がないとき

  ◇携帯電話の電源が入っていないとき

  ◇携帯電話がその他の理由で使用できないとき
- 携帯電話をドライブモードに設定している場合は、着信を受けることができません。
- 着信を受けると、携帯電話で設定した着信音が鳴ります。

  ただし、機種や設定によっては携帯電話の設定とは異なる着信音が鳴ることがあります。
- 携帯電話がマナー（バイブ）モードまたは着信音消音モードに設定されている場合、異なる着信音が鳴ることや、着信音が鳴らないことがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリー機能を使用することができません。

  ◇携帯電話が接続されていないとき

  ◇電話帳の転送をしているとき

  ◇本機の電源がオフのとき
- 着信音は以下のいずれかの場所から鳴ります。

  ◇車のスピーカー

  ◇携帯電話

  ◇車のスピーカーと携帯電話

ⓘ 着信音が鳴る場所は、携帯電話の機種によって異なります。

携帯電話の着信音が鳴らないときは、異なる着信音が鳴ることがあります。

ⓘ 発信と同時に着信を受けた場合、ディスプレイの表示と携帯電話の作動状態が異なることがあります。

- 次のような場合は、通話相手にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。

  ◇悪路を走行しているとき

  ◇走行速度が高いとき

  ◇ドアウインドウやパノラミックラメラールーフ * などが開いているとき

  ◇エアコンディショナーの送風口が車内マイクに向いているとき

  ◇エアコンディショナーの送風音が大きいとき

* オプションや仕様により、異なる装備です。

- 本機に携帯電話を接続した状態で携帯電話本体から発信した場合、以下の点がハンズフリーと異なります。
  - ◇本機の発信履歴には発信履歴が登録されません。また、携帯電話の機種によっては、ディスプレイに " 発信中…非通知 " と表示されたり、何も表示されない場合があります。
  - ◇通話中の携帯電話を本機に接続した場合、通話中の電話番号は本機の発信履歴または着信履歴には登録されません。
- 接続する携帯電話の機種によっては、携帯電話本体から発信したときに、自動的に本機を通した通話に切り替わったり、携帯電話を操作して本機を通した通話に切り替えられる場合があります。

  詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 車内マイクは、運転者が使用することを前提に設計されており、他の座席から発声したときは、通話相手に声が聞き取りにくい場合があります。
- 携帯電話の機種によってはハンズフリー機能のオート / リモートダイヤルロックをサポートしていない場合があります。このときは、ダイヤルロックを解除してください。

電話を開く

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの 電話選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

電話以外の画面が開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 電話 " を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 電話 " を選択します。

電話基本画面

①	電話接続マーク
②	電波状況表示 一部の Bluetooth® 対応携帯電話では.ıllと表示されます。
③	通信状況インジケーター 待機状態や着信中のときは☎が、通話中や発信中のときは✆が表示されます。
④	通話を終える
⑤	着信履歴・発信履歴表示、システムオフ時履歴削除設定、マイクオン / オフ（通話時）
⑥	電話帳の表示
⑦	入力文字削除
⑧	自局番号表示 / 非表示切替
⑨	電話番号入力エリア（"0" が選択された状態）
⑩	電話メニュー
⑪	電話を発信する / 発信履歴を表示する
⑫	Bluetooth® 接続している機器名

ℹ 電波状況が悪いときや通話可能圏外にいるときなどは、①②③の代わりに " 圏外 " と表示されます。

電話の発信

電話番号を入力して発信する

▶ 電話基本画面を開きます。

▶ コントロールパネルの文字入力キーまたはコントロールダイヤルやコントロールスティックで電話番号を入力します。

▶ コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [✆] スイッチを押します。

または

▶ ディスプレイの✆を選択します。

入力した電話番号を削除する

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

または

▶ ディスプレイの [C] を選択します。

電話番号が 1 文字削除されます。

入力した電話番号をすべて削除する

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押して保持します。

または

▶ ディスプレイの [C] を選択して保持します。

または

▶ コントロールパネルの通話終了ボタンを押します。

または

▶ ディスプレイの☎HLDを選択します。

発信・着信履歴から発信する（本機での操作）

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " 着信履歴 " または " 発信履歴 " を選択します。

着信･発信した履歴が表示されます。

▶ 発信したい履歴を選択して、コントロールスティックを押すか、コントロールパネルの通話開始ボタンを押します。

または

▶ 電話番号を入力していないときに、電話基本画面で を選択するか、コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

発信履歴が表示されます。

▶ 発信したい履歴を選択して、コントロールスティックを押すか、コントロールパネルの通話開始ボタンを押します。

ⓘ 走行中は、最後に発信した電話番号に発信します。

発信履歴から発信する（ステアリングスイッチでの操作）

▶ ステアリングの または スイッチで、マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示します。

▶ マルチファンクションディスプレイに " マチウケ " が表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの スイッチを押します。

▶ ステアリングの スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴が表示されます。

▶ ステアリングの または スイッチで、発信したい電話番号を選択します。

▶ ステアリングの スイッチを押します。

電話帳またはアドレス帳から発信する（本機での操作）

▶ 電話帳画面またはアドレス帳画面に登録したデータを表示させます（▷146､155 ページ）。

▶ 発信先を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

または

▶ コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

電話帳から発信する（ステアリングスイッチでの操作）

▶ ステアリングの または スイッチを押して、マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示させせます。

▶ マルチファンクションディスプレイに " マチウケ " が表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの スイッチを押します。

▶ ステアリングの または スイッチを押して、発信先を選択します。

▶ スイッチを押します。

ℹ データに複数の電話番号が登録されているときは、ステアリングの スイッチを押すと、登録されている複数の電話番号が表示されます。ステアリングの または スイッチで、発信したい電話番号を選択して、ステアリングの スイッチを押すと電話が発信されます。

電話の着信

着信があるとディスプレイに以下の画面が表示されます。

ℹ 電話以外の画面を表示していても、着信があると以下の画面が表示されます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、通話前に着信が切断したときも、上記の画面が表示されたままになることがあります。

このときは、" 通話 " または " 応答保留 " を選択すると元の画面に戻ります。

着信を受ける

▶ " 通話 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの通話開始ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの スイッチを押します。

ℹ 受話音量 / 発声音量を調整することができます（▷142 ページ）。

応答を保留する

▶ " 応答保留 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの 通話終了ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの スイッチを押します。

数秒後、ディスプレイに下記の画面が表示されます。

ℹ 応答を保留しているときは、発信元の相手には、携帯電話会社の音声メッセージが流れます。

ℹ 携帯電話会社により、応答保留の操作を行なうと着信が切断されることがあります。

ℹ マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示してあるときは、応答を保留しているときに、マルチファンクションディスプレイに " ホリュウチュウ…" と表示されます。

着信を拒否する

▶ " 着信拒否 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの 通話終了ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの ☎ スイッチを押します。

通話を終える

▶ ☎ を選択します。

または

▶ コントロールパネルの 通話終了ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの ☎ スイッチを押します。

ℹ 通話を終えると、その前に使用していた機能の画面が再度表示されます。

割込み通話があったとき

通話しているときに着信があった場合は、ディスプレイに下記の画面が表示され、確認音が鳴ります。

ℹ 携帯電話の設定や契約内容によっては利用できません。

割込み通話を受ける

▶ " 通話 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [電話] スイッチを押します。

着信があった相手との通話が開始され、通話していた相手との通話は保留されます。

ℹ マルチファンクションディスプレイに電話画面を表示しているときに割込み通話を受けたときは、マルチファンクションディスプレイに " ワリコミツウワ " と表示されます。

通話する相手を変更する

▶ 📞を選択します。

または

▶ コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [電話] スイッチを押します。

ℹ 割込み通話を受けているときに以下の操作を行なうと、携帯電話会社や携帯電話の機種または設定によっては、通話中の相手や保留中の相手、またはその両者との接続が切断されることがあります。

- ☎ を選択する
- コントロールパネルの通話終了ボタンを押す
- ステアリングの [☎] スイッチを押す

車内マイクをオフにする

通話先の相手が車内の音声を聞くことができなくなります。

車内マイクがオフのときは、メインエリアに ⊗ が表示されます。

車内マイクをオフにする

▶ 通話中に、サブメニューエリアの " マイク OFF" を選択します。

または

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

ディスプレイに " マイクが OFF です " と表示されます。

車内マイクをオンにする

▶ 車内マイクがオフのときに、サブメニューエリアの " マイク ON" を選択します。

または

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

ディスプレイに " マイクが ON です " と表示されます。

着信・発信履歴

着信履歴または発信履歴を表示することができます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、通話せずに切断した発信・着信履歴が表示されない場合があります。

ℹ 本機に別の携帯電話を接続したときも、履歴はそのまま保持されます。

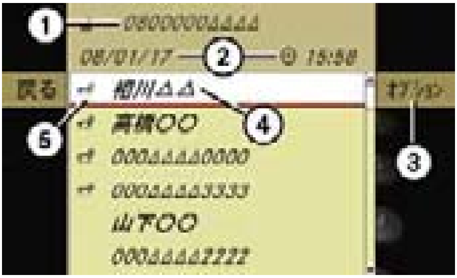
ディスプレイに着信 / 発信履歴を表示する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " 着信履歴 " または " 発信履歴 " を選択します。

履歴画面が表示されます。

履歴画面



① 電話番号
② 着信 / 発信した日時
③ オプションメニューを開く
④ 名前（電話帳に登録されているとき）/ 電話番号（電話帳に登録されていないとき）
⑤ 通話開始前に発信元が通話を切断したときに表示

着信 / 発信日時と電話番号を表示する

▶ 履歴画面で、表示したい履歴を選択します。

着信 / 発信した日時②と電話番号①が表示されます。

ℹ 着信履歴または発信履歴から電話を発信することができます（▷136 ページ）。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴を表示する

▶ ステアリングの [⊟] または [⊟] スイッチで電話画面を表示します。

▶ ステアリングの [☎] スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴が表示されます。

▶ ステアリングの [△] または [▽] スイッチで、すべての発信履歴を確認できます。

ℹ 発信履歴から電話を発信することができます（▷136 ページ）。

履歴の詳細を表示する

▶ 履歴画面で詳細を表示したい履歴を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

詳細表示画面が表示されます。

▶ コントロールスティックを押すか、いずれかの方向に倒すと、元の画面に戻ります。

履歴をアドレス帳に登録する

新規にアドレス帳に登録する

▶ 履歴画面で、新規登録したい履歴を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

▶ " 新規 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 携帯電話 "、"FAX" のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

▶ " 姓 " と " 名 " を入力します。

文字の入力方法については（▷166 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力を終えたら、[ok] を選択します。

選択した履歴がアドレス帳に登録されます。

既存のアドレス帳のデータに追加登録する

▶ 履歴画面で、追加登録したい履歴を選択します（▷140 ページ）。

▶ " オプション " → " 保存 " を選択します。

▶ " 追加 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 携帯電話 "、"FAX" のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

アドレス帳の検索メニューが表示されます。

▶ 追加先のアドレス帳データを検索します。

データの検索方法については（▷169 ページ）をご覧ください。

▶ 検索が終了したら、コントロールスティックを押します。

アドレス帳に登録されている電話番号が 5 件未満の場合は、そのまま登録されます。

登録されると、メッセージが表示されます。

電話番号が 5 件登録されている場合は、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

▶ 上書きする番号を選択します。

選択した番号が上書きされ、登録されます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

本機の電源をオフにしたときの履歴削除の設定

本機の電源をオフにしたときに、着信·発信履歴を自動的に削除するように設定できます。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " システム OFF 時履歴削除 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

受話音量 / 発声音量を調整する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " → " 音量設定 " を選択します。

① 音量インジケーター

着信音量を調整する

▶ " 着信音量 " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

音量インジケーター①が上下に移動します。

車内のスピーカーから出る着信音量が調整されます。

受話音量を調整する

▶ " 受話音量 " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

音量インジケーター①が上下に移動します。

車内のスピーカーから出る受話音量が調整されます。

ℹ 着信中や通話中は、コントロールパネルの音量調整ダイヤルやステアリングの [+][−] スイッチで、車内のスピーカーから出る着信音量や受話音量を調整できます。

発話音量を調整する

▶ " 発話音量 " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

音量インジケーター①が上下に移動します。

通話相手への発話音量が調整されます。

ℹ 音量は携帯電話を接続しているときに調整できます。

調整量は、接続している携帯電話によって異なります。

自局番号を表示する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 自局番号 " を選択します。

接続している携帯電話の電話番号①が表示されます。

① 接続している携帯電話の電話番号

ℹ 携帯電話の機種により、" 自局番号 " が灰色で表示され、選択できない場合があります。

国際電話

ご契約の携帯電話会社に応じた国際プリフィックス番号を設定すると、自動的に国際電話を発信することができます。

この機能は、本機の電話帳またはアドレス帳の電話番号に " ＋ " が含まれているときに使用できます。

ℹ 国際プリフィックス番号は携帯電話会社によって異なります。

国際プリフィックス番号の設定

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 国際電話 " を選択します。

▶ 文字入力キーまたはコントロールダイヤルやコントロールスティックで国際プリフィックス番号を入力します。

本機で利用可能な携帯電話会社の国際プリフィックス番号は以下の通りです。

NTT ドコモ、ソフトバンク モバイル、ディズニー・モバイル、イー・モバイル：010

au：005345

▶ ok を選択します。

" 保存されました " というメッセージが表示されます。

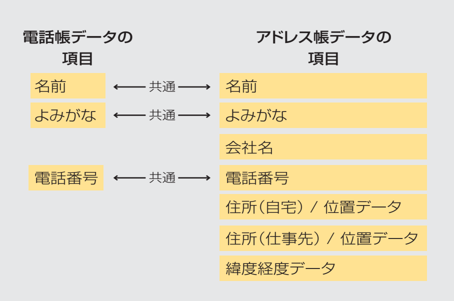
ℹ " 戻る " を選択したときに国際プリフィックス番号がすでに設定されている場合は、" 変更内容を保存しますか？ " という確認メッセージが表示されます。

変更するときは、" はい "、変更しないときは " いいえ " を選択します。

電話帳データとアドレス帳データ

電話帳データとアドレス帳データについて

アドレス帳データの各項目から、電話発信に必要な「名前」と「よみがな」、「電話番号」のみを取り出したものが電話帳データです。



販売店オプションの HDD ナビゲーションシステムを装着していないときは、アドレス帳データの項目は、「名前」と「よみがな」、「電話番号」のみになります。

電話帳データやアドレス帳データの作成について

電話帳データおよびアドレス帳データは、以下のように作成できます。

本機への直接入力

本機にデータを直接入力します（▷148、155 ページ）。

入力したデータは保存データになります。

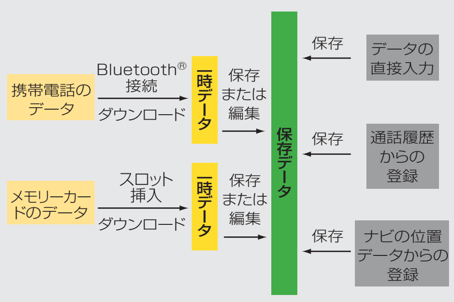
本機へのダウンロード

ダウンロードしたデータは一時データになります。

ダウンロードには以下の方法があります。

- Bluetooth® 接続した携帯電話からのダウンロード
  （▷152 ページ）
- SD カードからのダウンロード
  （▷152 ページ）

一時データと保存データについて



電話帳データやアドレス帳データには、「一時データ」と「保存データ」の 2 種類があります。

一時データについて

携帯電話や SD カードからダウンロードされたデータは一時データになります。

一時データは以下のことにより保存データになります。

- 保存データへの移行を行なう
  （▷153 ページ）
- 一時データを編集する（電話番号や住所の追加、電話種別の変更など）

ℹ 一時データであれば、ダウンロード元（Bluetooth® 接続携帯電話、SD カード）のデータごとに、データを削除できます。

ℹ SD カードからダウンロードしたデータについては、" 追加 " を選択して新たに SD カードからデータをダウンロードすると、既存の一時データに新たな一時データが追加されます。

" 上書き " を選択してダウンロードすると、既存の一時データが上書きされます。

保存データについて

以下のデータは保存データになります。

- 直接入力したデータ（▷148、155 ページ）
- 通話履歴から登録したデータ（▷141 ページ）
- ナビの位置データから登録したデータ *（▷159 ページ）

電話帳

電話帳画面

▶ 電話基本画面で " 電話帳 " を選択します。

電話帳画面が表示されます。

① 選択されている電話帳データのよみがな
② オプションメニューを開く
③ 入力文字候補エリア
④ 電話帳データの属性を示すアイコン

ℹ 電話帳にデータが 8 件以上登録されているときは、文字入力パレットが表示されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

電話帳データの属性を示すアイコン

④には、電話帳データの属性が以下のアイコンで示されます。

アイコン	属性
BT	Bluetooth® 接続携帯電話からダウンロードした一時データであることを示しています。
	SD カードからダウンロードした一時データであることを示しています。
	保存データであることを示しています。

電話帳から電話を発信する

▶ 発信先を選択して、コントロールスティックを押します。

電話帳にデータが 8 件以上登録されているときは、検索を行ないます。検索方法については（▷169 ページ）をご覧ください。

電話帳を閉じる

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押し続けます。

電話帳データの詳細を表示する

▶ 詳細を表示したいデータを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

詳細表示画面を閉じる

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックをいずれかの方向に倒します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンかリターンボタンを押します。

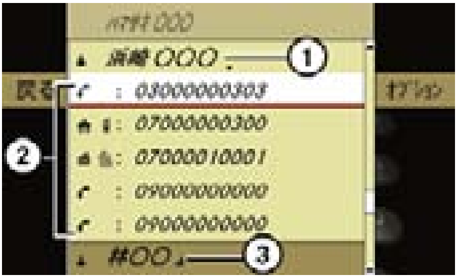
複数の電話番号が登録されているとき

複数の電話番号が登録されているデータには、" ◢ " マークが表示されます。

すべての電話番号を表示させる

▶ " ◢ " マークの付いているデータを選択します。

登録されているすべての電話番号が表示されます。



① 開いたデータの名前
② 電話番号のカテゴリーを示すアイコン
③ 複数の電話番号が登録されているデータ（閉じた状態）

電話番号のカテゴリーを示すアイコン

②には、電話番号のカテゴリーが以下のアイコンで示されます。

アイコン	電話番号のカテゴリー
	一般の用途の電話番号
	プライベート用の電話番号
	会社用の電話番号
	携帯電話の電話番号
	FAX 番号

マルチファンクションディスプレイへの電話帳表示

マルチファンクションディスプレイに電話帳を表示できます。

▶ ステアリングの [⧉] または [⧉] スイッチで電話画面を表示します。

▶ マルチファンクションディスプレイに " マチウケ " が表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの [☎] スイッチを押します。

▶ ステアリングの [△] または [▽] スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに電話帳が表示されます。

ⓘ ステアリングの [△] または [▽] スイッチを押して保持すると、はじめの 7 件目までは 1 件づつ表示されます。さらに押し続けると、8 件目からは五十音順またはアルファベット順の先頭のデータが表示されます。

データを選択する

▶ ステアリングの [△] または [▽] スイッチを押します。

電話を発信する

▶ ステアリングの [☎] スイッチを押します。

電話が発信されます。

ⓘ データに複数の電話番号が登録されているときは、ステアリングの [☎] スイッチを押すと、登録されている複数の電話番号が表示されます。ステアリングの [△] または [▽] スイッチで、発信したい電話番号を選択して、ステアリングの [☎] スイッチを押すと電話が発信されます。

電話帳のデータを新規作成する

▶ 電話帳画面で " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 新規 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

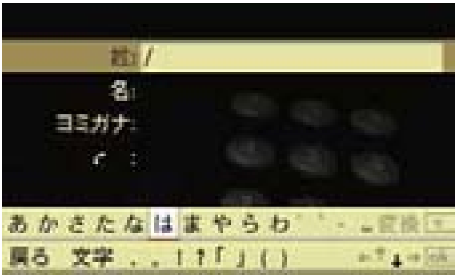
▶ " 一般 "、" 携帯電話 "、"FAX" のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

姓、名、よみがな、電話番号の入力画面が表示されます。



▶ 文字の入力方法については（▷166 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択します。

作成したデータが保存されます。

既存のデータに電話番号を追加登録する

▶ 電話帳画面で電話番号を追加したいデータを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 電話番号追加 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

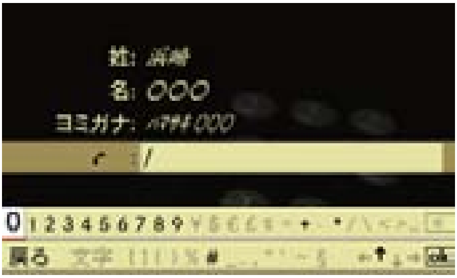
▶ " 一般 "、" 携帯電話 "、"FAX" のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

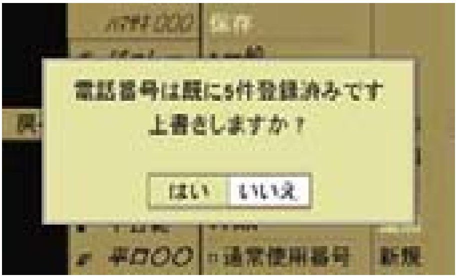
コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

電話番号の入力画面が表示されます。



追加したいデータに電話番号が 5 件登録されているとき



- 上書きする場合は " はい " を選択します。

  既存の電話番号リストが表示されます。
- 上書きする電話番号を選択します。

電話番号を入力する

- コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、数字を選択します。

または

- 文字入力キーを押します。

入力した数字を削除する

- C を選択します。

または

- コントロールパネルのクリアボタンを押します。

  入力文字が 1 文字削除されます。

ℹ C を選択して保持するか、コントロールパネルの クリアボタンを押して保持すると、すべての文字が消去されます。

入力を確定する

- ok を選択します。

  入力が確定し、電話帳画面が表示されます。

または

- " 戻る " を選択するか、コントロールパネルのリターンボタンを押します。

  下記の画面が表示されます。

- " はい " を選択します。

  入力が確定し、電話帳画面が表示されます。

電話帳データを削除する

個別に削除する

- 削除したいデータを選択します。
- " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

  データ削除の確認メッセージが表示されます。
- " はい " を選択します。

  データが削除されます。

  " いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

ℹ アドレス帳に登録名と電話番号のみが登録されているときは、電話帳データを削除すると、アドレス帳データも削除されます。

属性ごとにデータを一括して削除する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の削除 " を選択します。

▶ 削除するデータの属性を選択します。

" COMAND 上で作成した連絡先 "

新規入力したデータと、ダウンロード後に一時データから保存データに移行したデータが削除されます。

" 携帯電話から "

日本仕様では選択できません。

" メモリーカードから "

メモリーカードからダウンロードした一時データが削除されます。

" Bluetooth 接続機器から "

Bluetooth® 接続の携帯電話からダウンロードした一時データが削除されます。

" 全削除 "

すべてのデータが削除されます。

データ削除の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

選択したデータが削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードする

▶ 携帯電話が本機に Bluetooth® で接続されていることを確認します。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → " BT Bluetooth デバイスから " を選択します。

下記の画面が表示されます。

▶ 携帯電話から、電話番号と名前の送信を行ないます。

ℹ 操作方法は携帯電話の機種によって異なります。

詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 接続した携帯電話から、電話番号と名前が本機にダウンロードされます。

ℹ 携帯電話の機種により、Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードできないことがあります。

メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードする

ℹ メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードするときは、メモリーカード内にフォルダなどを作らずに、直接 vCard ファイルを保存してください。vCard ファイルとは、".vcf" の拡張子を持つファイルです。

▶ 本機に SD カードをセットします (▷189 ページ)。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → " メモリーカードから " を選択します。

▶ " 追加 " または " 上書き " を選択します。

メモリーカードの vCard ファイルが本機にダウンロードされます。

ℹ " 追加 " を選択すると、メモリーカードからダウンロードした既存の一時データに新たな一時データが追加されます。

ℹ " 上書き " を選択すると、以前にメモリーカードからダウンロードした一時データは消去されます。

メモリーカードからダウンロードした一時データがないときは、" 上書き " は灰色で表示され、選択できません。

一時データを保存データに移行する

▶ 電話帳画面で、保存したい一時データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

" 保存されました " というメッセージが表示され、アイコンが 👤 になります。

アドレス帳

アドレス帳には、以下のデータを登録できます。

HDD ナビゲーションシステム非装備車

電話番号と名前が登録できます。

HDD ナビゲーションシステム装備車

電話番号や名前、住所などが登録できます。

また、電話番号や、郵便番号、緯度経度データなどの位置データを登録すると、ナビの目的地などに設定することができます。

よみがなが登録されているデータは、音声認識機能により、電話発信をすることができます。

アドレス帳のデータは、本機への直接入力、または以下の方法でのダウンロードにより登録できます。

- Bluetooth® 接続された携帯電話
- メモリーカード

ⓘ 電話帳で直接入力したデータは、自動的にアドレス帳に登録されます。

ⓘ アドレス帳および電話帳のデータは、最大で 1000 件まで登録できます。

ⓘ アドレス帳に登録したデータは、携帯電話の接続を解除したり、本機からメモリーカードを取り出しても、消去されません。必要に応じてデータを削除してください。

ⓘ 携帯電話の機種によっては、電話番号と名前をダウンロードできないことがあります。

ⓘ 携帯電話の機種とデータ量によって、電話番号と名前のダウンロードに時間がかかることがあります。

ⓘ Bluetooth® 対応携帯電話から電話番号と名前をダウンロードしたときは、音声認識機能と検索機能が使用できないことがあります。

ⓘ 操作方法は携帯電話の機種によって異なります。

詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

アドレス帳を開く

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの電話選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

アドレス帳以外の画面が開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " アドレス帳 " を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

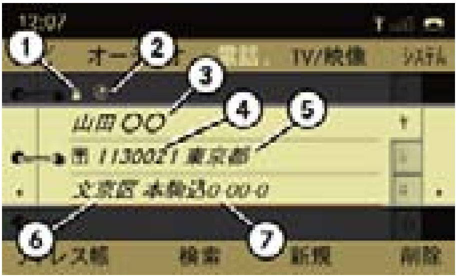
▶ " アドレス帳 " を選択します。

アドレス帳基本画面

HDD ナビゲーションシステム非装備車

①	データの属性マーク
②	名前
③	電話番号
④	電話番号のカテゴリー

HDD ナビゲーションシステム装備車



①	データの属性マーク
②	位置データマーク
③	名前
④	郵便番号
⑤	都道府県
⑥	市区町村
⑦	番地

アドレス帳のデータを選択する

▶ メインエリアが選択されているときに、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒します。

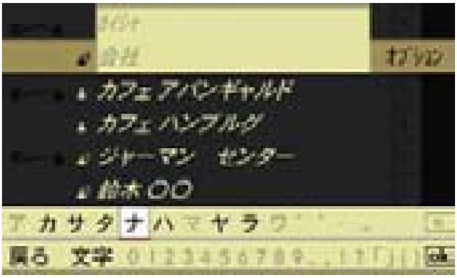
アドレス帳のデータを検索する

▶ " 検索 " を選択します。

検索画面が表示されます。

▶ データを検索します。

データの検索方法については（▷169 ページ）をご覧ください。



アドレス帳のデータを新規作成する

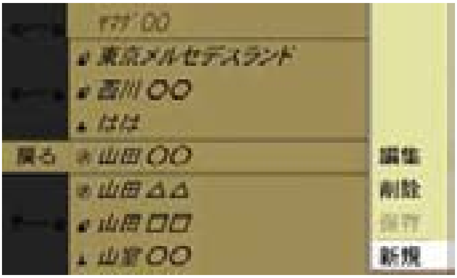
▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 新規 " を選択します。

または

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 検索 " を選択します。

▶ 文字入力エリアが消去されて全画面表示になるまで、コントロールスティックを繰り返し上下に倒します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 新規 " を選択します。



入力画面が表示されます。

文字の入力方法については（▷167 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択します。

データが保存されます。

または

▶ " 戻る " を選択するか、リターンボタンを押します。

" 登録データを保存しますか？ " という確認メッセージが表示されます。

" はい " を選択すると作成したデータが保存されます。

" いいえ " を選択するとデータは保存されず、アドレス帳基本画面が表示されます。

アドレス帳データの詳細を表示する

▶ アドレス帳基本画面で、詳細を表示したいデータを選択します。

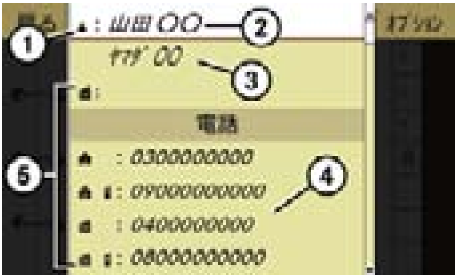
▶ コントロールスティックを押します。

または

▶ 詳細を表示したいデータを検索します（▷169 ページ）。

▶ コントロールスティックを押します。

データの詳細画面が表示されます。



① データの属性を示すアイコン
② 名前
③ よみがな
④ 電話番号
⑤ 電話番号のカテゴリーを示すアイコン

電話番号のカテゴリーを示すアイコン

⑤には電話番号のカテゴリーが以下のアイコンで示されます。

アイコン	電話番号の種類
	一般の用途の電話番号
	プライベート用の電話番号
	会社用の電話番号
	携帯電話の電話番号
	FAX 番号

データの詳細画面をスクロールしたとき
（HDD ナビゲーションシステム装備車）
① 位置データマーク
（アドレス帳データに位置データが含まれているときに表示されます）
② 郵便番号
③ 都道府県
④ 市区町村
⑤ 番地、ビル名およびフロア
⑥ 位置データの住所
⑦ 国
⑧ オプションメニューを開く

データの項目を選択する

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒します。

データの詳細を表示する

▶ 詳細を表示したいデータを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

詳細表示画面を閉じる

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを押す、またはコントロールスティックをいずれかの方向に倒します。

アドレス帳データを編集する

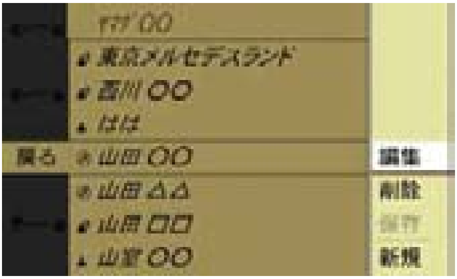
▶ アドレス帳データの詳細画面で、編集したい項目を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 編集 " を選択します。

文字入力画面が表示されます。

または

▶ アドレス帳の検索画面で編集したいデータを選択して " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 編集 " を選択します。



文字入力画面が表示されます。

入力項目の切り替え

▶ 文字入力画面で " ↑ " または " ↓ " を選択して、入力する項目にカーソルを移動します。

または

▶ 文字入力画面でコントロールスティックを上に倒します。

入力項目の選択画面が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して入力項目を選択し、コントロールスティックを押します。

文字入力画面が表示されます。

文字の入力方法については（▷167 ページ）をご覧ください。

電話番号のカテゴリーを変更する

▶ データの詳細画面でカテゴリーを変更したい電話番号を選択します(▷156 ページ)。

▶ " 分類変更 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 携帯電話 "、"FAX" のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

ℹ " 通常使用番号 " に設定した電話番号は、詳細画面の電話リストの最上段に赤文字で表示されます。

アドレス帳から電話を発信する

▶ 携帯電話が接続されていることを確認します。

▶ 発信したい電話番号が含まれるデータの詳細画面を表示します。

▶ 発信したい電話番号を選択して、コントロールスティックを押します。

または

▶ コントロールパネルの 通話開始ボタンを押します。

または

▶ データの詳細画面で発信したい電話番号を選択して、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 発信 " を選択します。

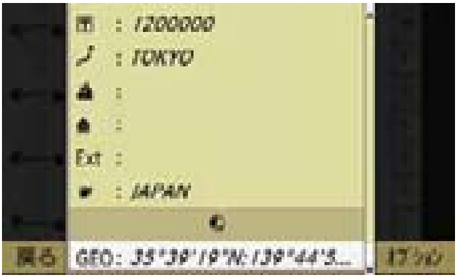
画面表示が電話基本画面に切り替わり、電話が発信されます。

位置データを登録する（HDD ナビゲーションシステム装備車）

ナビで表示している地点の位置データをアドレス帳に登録できます。

ℹ 位置データが登録されると、アドレス帳基本画面とデータの詳細画面の住所欄に ⊘ マークが表示されます。

ℹ 緯度経度欄を選択してコントロールスティックを押すと、緯度 / 経度を直接入力して位置データを登録することができます。



▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 保存 " を選択します。

▶ " アドレス帳保存 " を選択します。

アドレス帳データを新規に作成して位置データを登録する

▶ " 新規 " を選択します。

▶ " 自宅 " または " 会社 " を選択します。

文字入力画面が表示されます。

▶ アドレス帳に保存するデータの名前を入力します。

文字の入力方法については（▷167 ページ）をご覧ください。

ⓘ 文字入力画面が表示されたときは、「姓」の欄に表示地点の住所が表示されています。

ⓘ ここで入力したよみがなで、音声認識機能の電話発信を行ないます。

▶ ok を選択します。

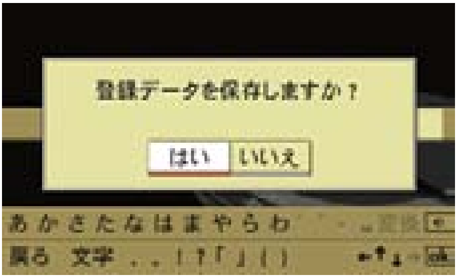
入力した内容でアドレス帳に新規登録されます。

または

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押すか、" 戻る " を選択します。

▶ " はい " を選択します。

入力した内容でアドレス帳に新規登録されます。



既存のアドレス帳に位置データを登録する

▶ " 追加 " を選択します。

▶ " 自宅 " または " 会社 " を選択します。

アドレス帳の検索画面が表示されます。

▶ 位置データを追加したいデータを検索します。

検索方法については（▷169 ページ）をご覧ください。

▶ 登録するデータを選択します。

ⓘ すでに位置データが登録されているときは " 住所データを上書きしますか？ " と表示されます。

ⓘ 位置データを上書きすると、すでに登録されている郵便番号や住所は消去され、アドレス帳の "Ext" 欄に位置データの住所（町名表示まで）が表示されます。

位置データを削除する

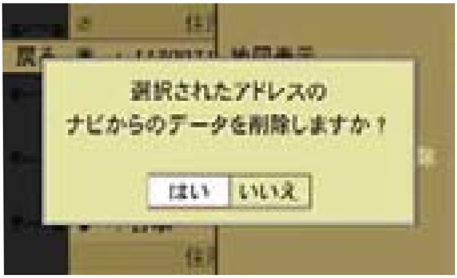
▶ 位置データを削除したいデータの詳細画面を表示します。

▶ ⊘マークが表示されている住所欄を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " ナビからのデータ削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。



位置データが削除され、マークが消えます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

アドレス帳からナビの目的地を設定する（HDD ナビゲーションシステム装備車）

アドレス帳に以下の項目が登録されているときは、アドレス帳からナビの目的地などを設定できます。

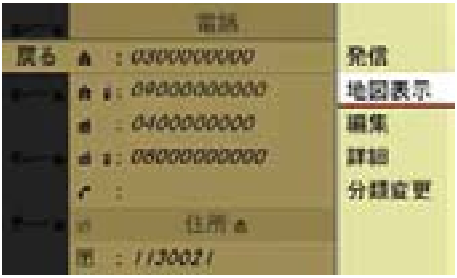
- 電話番号
- 郵便番号
- 住所
- 緯度経度データ

ℹ 以下のときは、目的地を設定することはできません。

- 電話番号や住所などが正しく入力されていないとき
- 住所が入力されていても、郵便番号が入力されていないとき
- 携帯電話や IP 電話の番号などが入力されているとき

アドレス帳から目的地を設定する

▶ 目的地に設定したいデータの詳細画面の電話番号欄、郵便番号または位置データが登録されている住所欄、緯度経度欄を選択して、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 地図表示 " を選択します。



または

▶ 目的地に設定したいデータの詳細画面の郵便番号または位置データが登録されている住所欄、緯度経度欄を選択して、コントロールスティックを押します。

スクロール地図が表示されます。

▶ 目的地などを設定します。

詳しくはナビのページをご覧ください。

アドレス帳データを削除する

個別に削除する

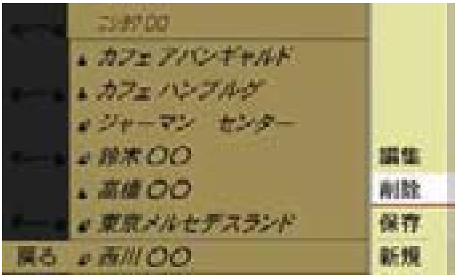
▶ メインエリアに削除したいデータを表示させせます。

▶ サブメニューエリアで " 削除 " を選択します。

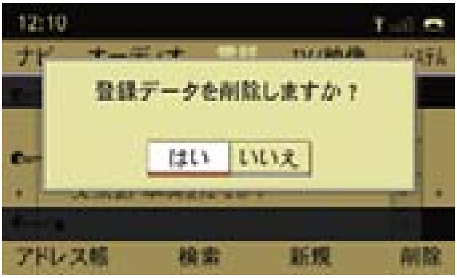
または

▶ 削除したいデータを検索します (▷169 ページ)。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。



データ削除の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

データが削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

属性ごとに一括して削除する

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の削除 " を選択します。

▶ 削除するデータの種類を選択します。

" COMAND 上で作成した連絡先 "

新規入力したアドレス帳データと、ダウンロード後に一時データから保存データに移行したデータが削除されます。

" 携帯電話から "

日本仕様では選択できません。

" メモリーカードから "

メモリーカードからダウンロードした一時データが削除されます。

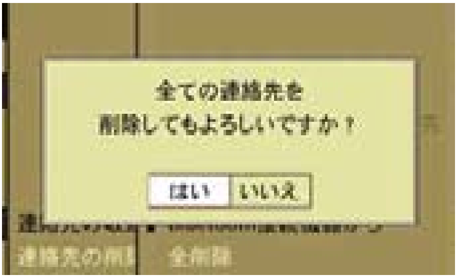
" Bluetooth 接続機器から "

Bluetooth® 接続の携帯電話からダウンロードした一時データが削除されます。

" 全削除 "

すべてのデータが削除されます。

データ削除の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

選択したデータが削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードする

▶ 携帯電話が本機に Bluetooth® で接続されていることを確認します。

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " を選択します。

▶ " Bluetooth デバイスから " を選択します。

受信待機画面が表示されます。

▶ 携帯電話から、電話番号と名前の送信を行ないます。

ℹ 操作方法は携帯電話の機種によって異なります。

詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 接続した携帯電話から、電話番号と名前が本機にダウンロードされます。

ℹ 携帯電話の機種により、Bluetooth® 接続した携帯電話から電話番号と名前をダウンロードできないことがあります。

メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードする

ℹ メモリーカードから vCard ファイルをダウンロードするときは、メモリーカード内にフォルダなどを作らずに、直接 vCard ファイルを保存してください。vCard ファイルとは ".vcf" の拡張子を持つファイルです。

▶ 本機に SD カードをセットします (▷189 ページ)。

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → " メモリーカードから " を選択します。

▶ "追加"または"上書き"を選択します。

メモリーカードの vCard ファイルが本機にダウンロードされます。

ⓘ " 追加 " を選択すると、メモリーカードからダウンロードした既存の一時データに新たな一時データが追加されます。

ⓘ " 上書き " を選択すると、以前にメモリーカードからダウンロードした一時データは消去されます。

メモリーカードからダウンロードした一時データがないときは、" 上書き " は灰色で表示され、選択できません。

一時データを保存データに移行する

▶ アドレス帳の検索画面で、保存したい一時データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

" 保存されました " というメッセージが表示され、アイコンが " 👤 " になります。

文字の入力方法

コントロールダイヤルとコントロールスティック、または文字入力キーを使用して文字を入力します。

コントロールダイヤルとコントロールスティックでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を以下から選択します。

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（大文字） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット（小文字） 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ヱなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下左右に倒して、入力する文字を選択します。

または

▶ "←" "↑" "↓" "→" を選択してカーソルを移動し、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、入力する文字を選択します。

カーソルを移動する

カーソルを移動して、文字を入力する位置を指定します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、"←" または "→" を選択します。

文字を削除する

▶ C を選択します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

カーソル左側の文字が削除されます。

ⓘ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

文字入力キーでの入力

文字の種類の選択

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "#" を押します。

文字入力キーの "#" を押すごとに文字の種類が切り替わり、文字の種類がディスプレイに表示されます。

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

ⓘ " 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントロールダイヤルおよびコントロールスティックで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されている文字入力キーを押します。

アルファベットの入力

▶ 入力したい数字が下方に表示されている文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示された文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他の文字入力キーを押したときも、入力文字は確定します。

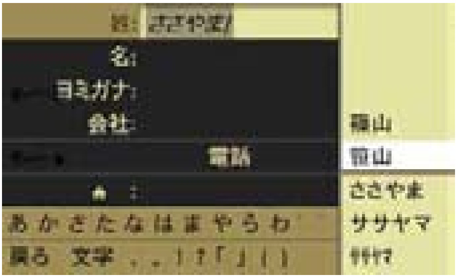
文字の変換

▶ 入力したい単語の読みがなをひらがなで入力します。

▶ " 変換 " を選択します。

候補となる単語が表示されます。

ℹ ok を選択すると、漢字に変換されずにひらがなが入力されます。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、変換する単語を選択します。

データの検索方法

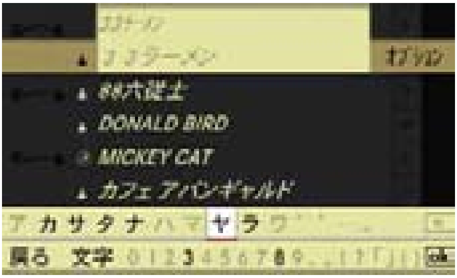
電話帳やアドレス帳などで、8 件以上のデータが登録されている場合は、検索ができます。

▶ 電話基本画面で " 電話帳 " を選択します。

または

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 検索 " を選択します。

8 件以上のデータが登録されている場合は、文字入力エリアと検索リストが表示されます。



ℹ 検索リストは、「数字」→「アルファベット」→「カタカナ」の順番になっています。

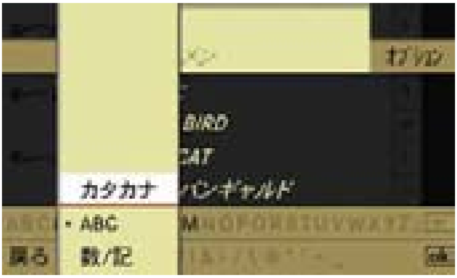
検索する文字の種類を選択する

▶ " 文字 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "#" を押します。

▶ 検索したいデータの最初の文字の種類を選択します。



データを検索する

▶ 検索したいデータの最初の文字を選択します。

よみがなで検索するとき

▶ よみがなを検索するときは、検索したい文字の行を選択します。

▶ 検索したいデータの最初の文字を選択します。

ℹ 対象となるデータがない文字は灰色で表示され、選択できません。

選択した文字のデータが最初に来るように、検索リストが表示されます。

▶ 必要であれば、検索操作を繰り返して、対象となるデータを絞ります。

ℹ 検索した文字に該当するデータが 1 件のみの場合は、文字入力エリアが消え、検索リストが全画面に表示されます。

ℹ C を選択するか、コントロールパネルのクリアボタンを押すと、ひとつ前の文字で検索された検索リストに戻ります。

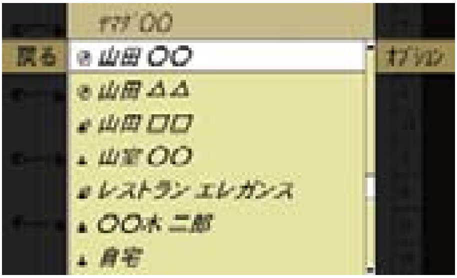
リストでデータを選択する

▶ 文字入力エリアが消去するまで、コントロールスティックを繰り返し上に倒します。

または

▶ ok を選択します。

検索リストが全画面表示になります。



▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、データを選択します。

再度、検索操作を行なう

▶ " 戻る " を選択します。

ℹ アルファベット、またはよみがながあるデータは、アドレス帳基本画面で文字入力キーの操作により検索することができます。

FM 多重放送 *

受信中のラジオ放送とは独立して、FM 多重放送を受信して、文字情報を表示できます。

情報は FM 放送局から送信されます。

FM 放送局は、全国の主要都市をカバーするサービスエリアで放送を行なっています。

ℹ 走行中は文字情報画面の一部の機能は使用できません。

ℹ 番組内容やメニューなどは、各放送局の自主製作によるものなどであり、受信した内容については、責任を負いかねますのでご了承ください。

! 受信情報は、個人として楽しむなどに限られ、著作権上、作成権利者である放送局の許可なしでは使用できません。

FM 多重放送の番組メニューや情報画面は、それぞれの放送局独自の構成により表示されますので、放送局の方針などにより、表示方法が予告なく変更されることがあります。

そのため、表示される画面を特定することができませんので、以降に続く操作説明については表示例に基づく基本操作部分のみとなります。

提供される情報

FM 多重放送には以下の種類があります。

番組情報

FM ラジオ放送中の番組と連動しており、放送中の曲名や、演奏者名、リクエスト先などの情報を表示します。放送によっては、道路 / 交通情報が広範囲にわたって提供されます。

ℹ 文字情報はラジオの受信中に送られてきますが、送られてくる情報の受信時期が FM ラジオ番組の放送時期とずれることがあります。

そのため、同時にすべての情報画面を表示できないことがあります。

独立情報

放送中のラジオ番組とは連動せず、常に送信されているニュース番組や天気予報、交通情報などを表示します。

緊急情報

放送局側で緊急情報番組を送信したときのみ情報を表示します。

ℹ ナビの VICS の項目もご覧ください (▷106 ページ)。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

FM 多重放送を開く

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの 電話選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

FM 多重放送以外の画面が開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "FM 多重放送 " を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "FM 多重放送 " を選択します。

現在選択している FM 放送局が文字情報を提供していない場合、" 受信できません。" というメッセージが表示されます。

放送局をサーチして選局する

▶ "⏮" または " ⏭ " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを数秒間押し続けます。

" お待ちください ..." というメッセージが表示されます。

高い周波数または低い周波数に対してサーチが行なわれ、次に受信できる放送局で停止します。

FM 多重放送を受信すると、その放送局のトップメニューが表示されます。

① 現在受信している FM 多重放送局
② 文字情報
③ トップメニューの表示
④ 上の階層の表示
⑤ 前ページの表示
⑥ 次ページの表示
⑦ タイトル番号の選択
⑧ FM 多重放送設定

ℹ 受信できる放送局がないときは、" 受信できません。" というメッセージが表示されます。

放送局が選局されても、FM 多重放送が受信できないときは、次の放送局の選局に戻ります。

▶ サブメニューエリアで見たいタイトル番号を選択します。

コンテンツ内容が長いときは、⑥を選択すると、続きの内容を見ることができます。

ℹ タイトルは複数の階層になっていることがあります。そのときは、下の階層で再度見たいコンテンツのタイトル番号を選択します。

▶ トップメニューに戻るときは、サブメニューエリアで " ﾄｯﾌﾟﾒﾆｭｰ " を選択します。

自動スクロールを設定する

ニュースや天気予報など、複数のページにわたる情報は、自動スクロールを設定することで、自動的に文字情報のページがスクロールされます。

▶ "FM 多重放送 " → " 自動スクロール " を選択します。

コントロールスティックを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

また、メインエリアに " 自動スクロール " と表示されます。

ℹ この機能は走行中は使用できません。

ℹ 自動スクロール設定中に、手動でページをスクロールしたときは、自動スクロールは停止します。

はじめに……………………………… 176
ラジオ………………………………… 176
音楽再生
（ディスク / メモリーカード） … 183
音楽再生（ミュージックレジスター）
……………………………………… 199
音楽再生（メディアインターフェース）
……………………………………… 209
外部入力……………………………… 218
文字の入力方法……………………… 220

ⓘ ミュージックレジスター機能は販売店オプションの HDD ナビゲーションシステムを装着することにより使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

はじめに

オーディオの構成

本機では、下記の音楽ソースに対応しています。

- FM ラジオ
- AM ラジオ
- ディスク（音楽 CD / DVD オーディオ / MP3）
- メモリーカード
- ミュージックレジスター *
- メディアインターフェース *
- 外部入力

ⓘ メディアインターフェース装備車は、車載のケーブルをグローブボックス内の端子に接続することにより、メディアインターフェースおよび外部入力を使用することができます。

ⓘ メディアインターフェース非装備車は、グローブボックス内に外部入力用の接続端子を装備しています。

ラジオ

ラジオ電波受信についての注意

! ラジオの受信は、車両の移動によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のラジオで受信する条件とは大きく異なります。

したがって、以下のようなことをご理解のうえでラジオをご使用ください。

- ラジオ電波の特性により地球上空の電離層の反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両位置などにより、特に走行中の車両では受信状況が常に変化しています。

  そのため、家庭でのラジオ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。

  また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）の影響によって受信状態が変わることがあります。
- 直線的に進む FM（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。

  FM 放送では受信状態が悪くなると、ノイズが増えたり、ステレオ放送や FM 多重放送 * が正しく受信できなくなります。
- 違法な車載 CB 無線電波や点火プラグの露出した 2 輪車など、周囲からの電波障害による影響は回避できません。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

放送局名表示

受信周波数に対応する放送局名表示は、自車位置を GPS により測定して該当する放送地域を判断し、その地域での周波数に対応する放送局名を表示しています。

そのため該当地域外での受信時は、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

アンテナについて

- 車両のアンテナは、周囲の電波遮蔽物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
- 受信アンテナが、リアウインドウあるいはドアウインドウに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
- 携帯電話などをリアウインドウあるいはドアウインドウの近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。

FM ラジオ / AM ラジオを開く

! 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの オーディオ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前に開いていた音楽ソースになります。

FM ラジオまたは AM ラジオ以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ "FM" または "AM" を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " FM" または "AM" を選択します。

① 現在選択されている音楽ソース

ラジオ基本画面

AM ラジオ
① 受信周波数
② 受信放送局名
③ プリセット番号
④ "AM1"
AM1 と AM2 の切り替え、周波数を入力しての手動選局
⑤ " 交通情報 "（AM ラジオのみ）
⑥ " プリセット "
オートプリセット、手動プリセット、プリセット選局
⑦ " サウンド "
サウンドの調整

FM1 と FM2、AM1 と AM2 を切り替える

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで "FM1" / "FM2" または "AM1" / "AM2" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ 切り替えたい項目を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

ℹ 例えば、FM1 には自宅周辺のよく聞く放送局をプリセットさせて、FM2 には他地域を走行するときにその地域の放送局をプリセットさせるといった使い方ができます。

放送局の選局

以下の方法で選局できます。

- 手動選局
- 自動選局
- プリセット選局
- 周波数を入力しての手動選局

ℹ 受信電波が弱い放送局では、ノイズが入りやすくなります。

また、ステレオ放送や FM 多重放送 * が受信できず、モノラルで受信することがあります。

ℹ ⏮ または ⏭ ボタンを使用しての手動選局と自動選局は、" ナビ "* や " 電話 "、" システム " を開いているときも行なえます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

手動選局

▶ ラジオ基本画面でメインエリアを選択して、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左または右に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

FM ラジオでは 0.1MHz 単位で、AM ラジオでは 9kHz 単位で受信周波数が変わります。

自動選局

▶ ラジオ基本画面でメインエリアを選択して、コントロールスティックを左または右に倒して保持します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

ℹ 自動選局中にコントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックをいずれかの方向に倒す、⏮ または ⏭ ボタンを押すと、自動選局は停止します。

ℹ 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。

プリセット選局

ℹ プリセット選局は、放送局があらかじめプリセットされているとき（▷181 ページ）に行なうことができます。

コントロールスティックでの操作

▶ " プリセット " を選択します。

または

▶ ラジオ基本画面でメインエリアを選択して、コントロールスティックを押します。

現在受信している放送局の左側には " • " が表示されています。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して放送局を選択します。

文字入力キーでの操作

▶ コントロールパネルで、受信したいプリセット番号の文字入力キーを押します。

ⓘ プリセットされている番号のみを選択できます。

ⓘ "ナビ"* や "電話"、"設定" のときも文字入力キーでの操作は行なえます。ただし文字入力および番号入力画面、リセット画面のときは操作できません。

マルチファンクションディスプレイでの操作

自動選局

▶ ステアリングの ⧉ または ⧉ スイッチを押して、オーディオ画面を表示させせます。

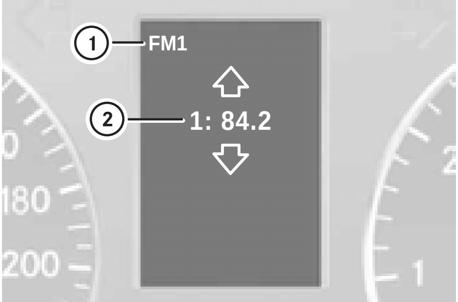
① 受信バンド
② 周波数

▶ ステアリングの ⇧ または ⇩ スイッチを約 2 秒以上押して保持します。

受信周波数が移動して、次に受信できる放送局（周波数）で停止します。

プリセット選局

▶ ステアリングの ⧉ または ⧉ スイッチを押して、オーディオ画面を表示させせます。



① 受信バンド
② プリセット番号 / 周波数

▶ ステアリングの ⇧ または ⇩ スイッチを押します。

次または前のプリセット番号の放送局に移動します。

周波数を入力しての手動選局

▶ コントロールパネルの文字入力キーの ✱·○ を押します。

または

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで "FM1" / "FM2" または "AM1" / "AM2" を選択します。

▶ "周波数入力" を選択します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

周波数入力画面が表示されます。

周波数入力画面

▶ コントロールパネルの文字入力キーで周波数を入力します。
入力中に文字を消去するときは、コントロールパネルの文字入力キーの [*··] を押します。

ℹ FM ラジオの受信可能周波数は 76.0 ～ 90.0 MHz です。

AM ラジオの受信可能周波数は 522 ～ 1629kHz です。

受信可能周波数以外の数字は入力できません。

受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、ステレオ放送がモノラルで受信されたり、FM 多重放送 * が受信できないことがあります。

プリセット

FM1 / FM2、AM1 / AM2 にはそれぞれ 10 局まで放送局をプリセットできます。

オートプリセット

受信電波の状態に応じて、放送局が自動的にプリセットされます。

オートプリセットを行なうと、それまでのプリセットは消去されます。

▶ メインエリアを選択してコントロールスティックを押します。

または

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

プリセットメニューが表示されます。

▶ " オートプリセット " を選択します。

ディスプレイに " オートプリセット実行中 ..." と表示されます。

受信できる放送局が自動的にプリセットされ、プリセットリストが表示されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ℹ 電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。

また、同じ場所でオートプリセットを繰り返しても、異なる放送局が記憶されることがあります。

プリセットを中止する

▶ オートプリセット実行中にコントロールスティックを押します。

手動プリセット

文字入力キーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ コントロールパネルのいずれかの文字入力キーを、" ピッ " と音が鳴るまで押して保持します。

押した文字入力キーの番号に放送局がプリセットされます。

コントロールスティックでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ ラジオ基本画面でメインエリアを選択してコントロールスティックを押します。

または

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

プリセットメニューが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、プリセットしたい番号を選択します。

▶ " ピッ " と音がするまでコントロールスティックを押して保持します。

交通情報（AM ラジオ）

交通情報を聞く

▶ AM ラジオ基本画面のサブメニューエリアで " 交通情報 " を選択します。

ℹ 1620kHz または 1629kHz の周波数で交通情報を聞くことができます。受信感度に応じて 1620kHz と 1629kHz を自動選択します。

ℹ「交通情報」は、道路管理者や所轄の警察が放送地域を限定して送信していますので、受信範囲外での受信はできません。

ℹ 交通情報の放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AM ラジオに戻る

▶ AM ラジオ基本画面のサブメニューエリアで"AM に戻る"を選択します。

サウンドの調整

FM ラジオや AM ラジオでは、サウンドを調整できます（▷27 ページ）。

音楽再生（ディスク / メモリーカード）

安全に利用するために

⚠ けがのおそれがあります

本機はクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。

- コントロールパネルのカバーを取り外さないでください。
- 本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- コントロールパネルのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 事故のおそれがあります

メディアの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

著作権に関する注意

再生用に作成したオーディオデータは、適用される国際法や国内法によって著作権が保護されています。

! 個人で楽しむ以外は、オーディオデータを著作権者に無断で複製し、有償無償を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。また、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で著作権で保護されているものを複製することは禁じられています。

再生できるメディアについて

本機では以下のメディアを再生できます

- CD-R および CD-RW
- DVD+R および DVD+RW
- DVD-R および DVD-RW
- SD カード（▷189 ページ）

再生可能なオーディオフォーマット

本機では、以下のフォーマットのオーディオデータを再生できます。

- MP3（MPEG1 audio layer3) データ
- WMA (Windows Media Audio) データ（▷185 ページ）

ℹ メディアに MP3 データと WMA データが記録されている場合、最初のファイルが再生されるまで少し時間がかかることがあります。

ℹ 再生可能なオーディオフォーマットは取扱説明書作成時点のものです。上記以外のオーディオフォーマットも再生できる場合があります。

MP3 データについて

再生可能なサンプリングレート / ビットレート

本機では、以下のサンプリングレート / ビットレートの MP3 データを再生できます。

- 固定および可変ビットレート（8 kbps ～ 320 kbps）
- サンプリングレート：8 kHz ～ 48 kHz
- 拡張子：.mp3

ℹ 必ず 128 kbps 以上のビットレートおよび 44.1 kHz 以上のサンプリングレートの MP3 ファイルを使用してください。

ビットレートおよびサンプリングレートがそれより低いと、十分な音質が得られません。

ℹ 本機は ID3 タグをサポートしていません。

MP3 データのファイル構造

MP3 を記録した記憶メディアを作成するときは、フォルダ内に MP3 ファイルを格納することができます。

フォルダ内には別のフォルダを格納することができます。

記憶メディアには合計で 999 個のフォルダを作成することができます。

1 つの記憶メディアには合計で 4000 個までファイルを格納することができます。

ℹ 本機が認識できる階層は 8 階層までです。

ファイル名およびフォルダ名について

MP3 データのファイルとフォルダには名称を付けることができます。

ファイルおよびフォルダに名称を付けることにより、MP3 データを再生したときに、ファイル名やフォルダ名を表示することができます。

ℹ MP3 ファイルがルートディレクトリに保存されている場合、ルートディレクトリもフォルダとして認識され、ルートディレクトリ名がフォルダ名として表示されます。

ファイル名を付けるときは以下の点に注意してください。

- ファイル名には 1 文字以上の文字を入力してください。
- ファイル名には "mp3" という拡張子を付けてください。
- ファイル名と拡張子の間にはピリオドを付けてください。

適切なファイル名の例：Track1.mp3

以下の場合、MP3 ファイルは認識されません。

- ファイル名と拡張子の間にピリオドがない
- 拡張子が入力されていない

WMA データについて

本機では、以下の WMA データを再生できます。

- 固定および可変ビットレート（8 kbps ～ 384 kbps）
- サンプリングレート：8 kHz ～ 48 kHz
- 拡張子：.wma

音楽再生（ディスク）に関する注意

再生できるディスクについて

本機では、最高 1.3 mm の厚さまでのディスクを使用できます。

それより厚みのあるディスク（片面にDVD、もう片面にオーディオデータが記録されているディスクなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、本機を損傷するおそれがあります。

シングル CD（8cmCD）はアダプターの装着 / 非装着に関わらず使用できません。12cmCD のみ使用してください。

! 円形以外の形状のディスクを使用しないでください。本機を損傷するおそれがあります。

! ディスク面にシールなどの異物を貼付しないでください。シールなどが剥がれて、本機を損傷するおそれがあります。また、ディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーなどの問題が生じるおそれがあります。

i 700 MB 以上の記録容量を持つ CD にデータを書き込んだ場合、正常に再生されないことがあります。

再生できるデータについて

非常に数多くのディスクや DVD オーサリングソフト、ライティングソフトが市販されていますが、本機で再生できるディスクは限られています。

また、コピーされたディスクやお客様ご自身で書き込んだディスクは正常に再生されないことがあります。

再生可能なファイルシステム

再生できるファイルシステムは以下の通りです。

- ISO9660/Joliet（CD/DVD）
- UDF Ver.1.02（CD）

i コピープロテクトされているディスクは CD オーディオフォーマットの規格に準拠していないため、本機で再生できない場合があります。

i 高音質なサラウンドフォーマットで記録された音楽 CD を再生することができます。

マルチセッション CD について

マルチセッション CD では、最初に記録されているデータの種類によって、再生できるデータが決まります。

例えば、最初のセッションに音楽 CD 形式のデータが記録されていて 2 番目のセッションにオーディオデータ（MP3 や WMA フォーマットのオーディオデータ）が記録されている場合、CD は通常の音楽 CD として再生され、オーディオデータを再生することはできません。

また、最初のセッションにオーディオデータが記録されていて 2 番目のセッションに音楽 CD 形式のデータが記録されている場合、オーディオデータのみを再生することができ、音楽 CD としては再生されません。

お客様ご自身が作成したディスクの再生については保証していません。

ディスクの取り扱いに関する注意

- ディスクを手に持つときは、必ず周囲の縁部分を持ってください。
- 読み取りエラーの発生を防ぐため、ディスクは慎重に取り扱ってください。
- ディスクを傷付けないようにしてください。また、指紋やホコリを付けたままにしないでください。
- ディスクの汚れを落とすときは、市販のクリーニングクロスを使用してください。

  その際は、中心部から外側に向けてまっすぐ拭くようにして、絶対に円を描くように拭かないようにしてください。
- ディスク面に文字を書き込むときは、専用のペンを使用してください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。

ディスクの挿入 / 取り出し

⚠ **事故のおそれがあります**

ディスクの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

ℹ ディスクを挿入するときは、印刷されている面を上に向けてください。

どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けてディスクを挿入してください。

コピープロテクトされているディスクは再生できないことがあります。

悪路や踏切などを走行しているときは、振動のため音飛びすることがあります。

ディスクを挿入する

① ディスクスロット
② ディスク排出ボタン

▶ ディスクスロット①にディスクを挿入します。

ディスクスロット①にディスクが引き込まれ、ディスクの再生が開始されます。

ℹ オーディオを選択しているときは、" 読込み中 ..." と表示されます。

音楽 CD の読み込み中に Gracenote Media Database* にアクセスした場合、以下の画面が表示されます。

❗ 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

ディスクを取り出す

▶ ディスク排出ボタン②を押します。

" ディスク取出し中 ..." と表示され、ディスクが排出されます。

" ディスクを抜いてください " と表示されます。

▶ ディスクスロット①から約 15 秒以内にディスクを取り出します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ⓘ ディスクスロット①からディスクを約 15 秒以内に取り出さないと、ディスクは再度ディスクスロット①に引き込まれます。

再生できる SD カードについて

本機では、FAT12、FAT16 および FAT32 形式の SD カード、SDHC カードを再生できます。

ⓘ SD カードの種類やフォーマットによっては、記録したオーディオデータを再生できないことがあります

SD カードの挿入 / 取り出し

! 駐車するときは、車の中に SD カードを置いたままにしないでください。

ⓘ カードアダプタを使用して、miniSD カード、microSD カードを使用することができます。

ⓘ 車内の温度により SD カードが使用できないことがあります。

ⓘ SD カードスロットに SD カードがセットされていないときに " オーディオ " → " メモリーカード " を選択すると、" メモリーカードがありません " と表示されます。

SD カードを挿入する

① SD カードスロット

▶ SD カードスロット①に SD カードを差し込みます。

! 差し込むときの方向は、使用する SD カードに従って正しくセットしてください。

SD カードを無理に挿入しないでください。SD カードや SD カードスロットを損傷するおそれがあります。

SD カードが正しくセットされ、再生可能なファイルが見つかると、自動的に再生が開始されます。

再生可能なファイルが見つからなかった場合、" 再生できるファイルがありません " と表示されます。

ⓘ ミュージックレジスター * に録音しているときは、SD カードを挿入しても自動的に再生は開始されません。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

! 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

SD カードを取り出す

▶ 挿入されている SD カードを押します。

SD カードがポップアップします。

▶ SD カードを取り出します。

CD / DVD オーディオ、メモリーカードを開く

ディスクや SD カードを挿入しての再生

▶ ディスク（▷187 ページ）または、SD カード（▷189 ページ）を挿入します。

再生可能な音楽ファイルから自動的に再生を開始します。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルのオーディオ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回ディスクまたはメモリーカードを開いていたときは、ディスクまたはメモリーカードが開きます。

ディスクまたはメモリーカード以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " ディスク " または " メモリーカード " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

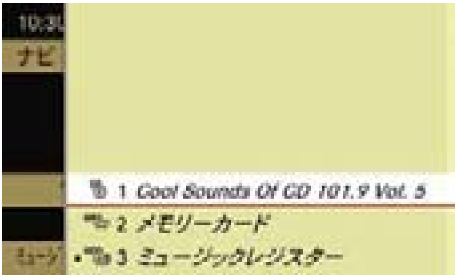
① 現在選択されている項目

▶ " ディスク " または " メモリーカード " を選択します。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のサブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。



ディスクを開く

挿入されているディスクの種類により、以下のアイコンが表示されます。

" CD " : 音楽 CD

" MP3 " : MP3 CD / DVD

" DVD-A ": DVD オーディオ

" DVD-V ": DVD ビデオ（▷235 ページ）

ℹ CD または DVD にタイトル名があるときは、タイトル名が表示されます。タイトル名がないときは " ディスク " が表示されます。

▶ "1" を選択します。

または

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "1" を押します。

ℹ 音楽再生をしているときは、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも、コントロールパネルの文字入力キーの "1" を押すことでディスクを開くことができます。

SD カードを開く

▶ "2　メモリーカード " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "2" を押します。

ℹ 音楽再生をしているときは、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも、コントロールパネルの文字入力キーの "2" を押すことでメモリーカードを開くことができます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

基本画面

音楽 CD 再生時

① ディスクの種類 CD
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示（ディスクにテキストデータが記録されているか、Gracenote の情報があるとき）
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ トラック位置表示
⑦ サウンドメニュー
⑧ メディア選択メニュー
⑨ アルバム名（ディスクにテキストデータが記録されているか、Gracenote の情報があるとき）
⑩ トラックリスト
⑪ スロット位置表示
⑫ 録音メニュー *（ミュージックレジスター * に音楽 CD データを録音）
⑬ CD メニュー

DVD オーディオ再生時

① ディスクの種類 DVD-A
② トラック表示
③ 経過時間表示
④ 経過時間のグラフ表示
⑤ トラック位置表示
⑥ サウンドメニュー
⑦ メディア選択メニュー
⑧ ディスク名（記録されている場合のみ）
⑨ トラックリスト
⑩ 停止
⑪ 一時停止 / 再生
⑫ スロット位置表示
⑬ DVD オーディオメニュー

* オプションや仕様により、異なる装備です。

MP3 再生時

① メディアの種類 MP3 または MP3
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ トラック位置表示
⑦ サウンドメニュー
⑧ メディア選択メニュー
⑨ 現在選択しているフォルダ名表示
⑩ フォルダリスト
⑪ スロット位置表示
⑫ MP3 メニュー

ⓘ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" はメモリーカードを、"3" はミュージックレジスター * を示しています。

早送り / 早戻しする

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを左右に倒して保持します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

ⓘ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

選曲

選曲する

ⓘ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

前の曲を選曲する

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のメインエリアで、コントロールダイヤルを反時計回りにまわすか、コントロールスティックを左に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

ⓘ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

次の曲を選曲する

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のメインエリアで、コントロールダイヤルを時計回りにまわすか、コントロールスティックを右に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

トラックリストから選曲する（音楽 CD / DVD オーディオ再生時）

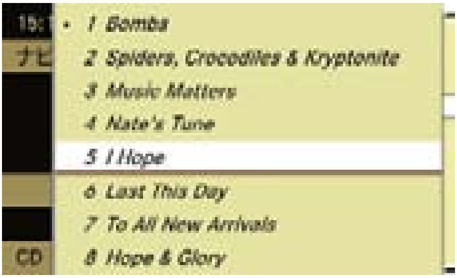
▶ 音楽再生（ディスク / PC カード）基本画面のサブメニューエリアで " ﾄﾗｯｸﾘｽﾄ " を選択します。

または

▶ メインエリアでコントロールスティックを押します。

トラックリストが表示されます。

現在再生しているトラックの左側には " • " が表示されています。



▶ コントロールパネルの文字入力キーで、選曲したいトラック番号を入力します。

または

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して選曲します。

トラックリストから選曲する（MP3 再生時）

▶ 音楽再生（ディスク / PC カード）基本画面のサブメニューエリアで " フォルダ " を選択します。

または

▶ 音楽再生（ディスク / PC カード）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

トラックリストが表示されます。

現在再生しているトラックの左側には " • " が表示されています。

ℹ 複数のフォルダがあるときや、複数階層のフォルダがあるときは、フォルダを選択できます（▷197 ページ）。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して選曲します。

トラック番号を入力して選曲する

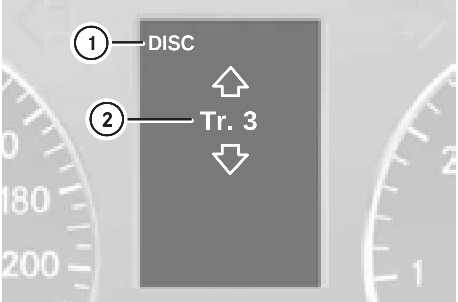
▶ コントロールパネルの文字入力キーの を押します。

▶ コントロールパネルの文字入力キーで、選曲したいトラック番号を入力します。

マルチファンクションディスプレイで選曲する

▶ ステアリングの または スイッチを押して、オーディオ画面を表示させせます。

▶ ステアリングの または スイッチを押して、トラックを選択します。



① ディスクを再生している状態
② トラック番号

再生の停止

再生を一時停止する

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

ステータスエリアに " " が表示されます。

再生を再開する

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

" " が消去されます。

ℹ 早送り / 早戻し操作や選曲操作を行なったときも再生は再開されます。

DVD オーディオのとき

再生を一時停止する

▶ サブメニューエリアで " ▮▮ " を選択します。

" ▮▮ " が " ▶ " に変わります。

次に " ▶ " を選択すると、一時停止した場所から再生されます。

再生を停止する

▶ 音楽再生（ディスク）基本画面のサブメニューエリアで "■ " を選択します。

再生が停止し、"❚❚ " が "▶ " に変わります。

次に "▶ " を選択すると、停止した場所から再生されます。

または

再度 "■ " を選択し、次に "▶ " を選択すると、ディスクの最初から再生されます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のサブメニューエリアで、"CD"、"DVD オーディオ " または "MP3" を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、再生モードを選択します。

現在選択されている再生モードの左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター①が表示されます。

① ランダム再生インジケーター

" ランダム（フォルダ）"（MP3 のみ）

現在選択しているフォルダに記録されているトラックが順不同で再生されます。

フォルダ内ランダム再生インジケーター②が表示されます。

② フォルダ内ランダム再生インジケーター

ℹ 新しい音楽ソースをセットした場合は、" ノーマル " が自動的に選択されます。

本機の電源をオフにしても、選択した再生モードは記憶されます。

フォルダの選択（MP3）

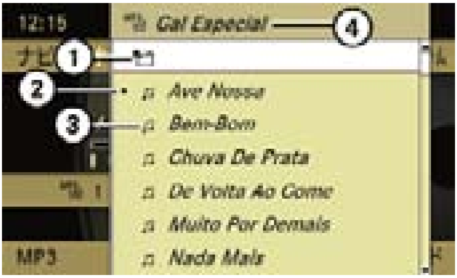
▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のサブメニューエリアで " フォルダ " を選択します。

または

▶ 音楽再生（ディスク / メモリーカード）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

フォルダ / トラックリストが表示されます。

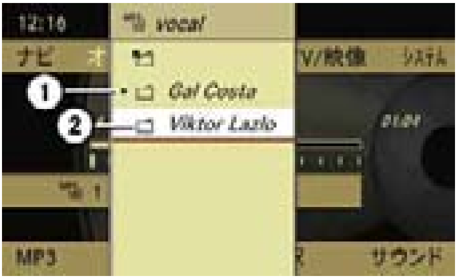
上の階層へ移動する



① 上の階層への移動アイコン
② 現在再生しているトラック
③ トラックアイコン
④ 現在選択されているフォルダ名

▶ 上の階層への移動アイコン①を選択します。

上の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。



① 現在再生しているフォルダ
② フォルダアイコン

フォルダを選択する（下の階層への移動）

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、フォルダを選択します。

下の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

グループの選択（DVD オーディオ）

DVD オーディオは、最大 9 つのグループに分けられています。グループの有無や種類は DVD によって異なります。

グループには、例えば異なる音質（ステレオおよびマルチチャンネル）のトラックまたはボーナストラックが収録されています。

各グループにはトラックを最大 99 個まで収録することができます。

DVD オーディオに収録されているグループが 1 つだけの場合、" グループ " メニュー項目は選択できません。

グループを選択する

▶ DVD オーディオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ｵｰﾃﾞｨｵ " → " グループ " を選択します。

現在選択されているグループの左側には " • " が表示されています。

▶ グループを選択します。

Gracenote Media Database*

一部の音楽 CD には CD テキストデータが収録されています。本機は、そのテキストデータに含まれている情報を利用して、アーティスト名、アルバム名およびトラック名を表示します。

音楽 CD にテキストデータが収録されていない場合は、音楽 CD を読み込んでいるときに Gracenote Media Database にアクセスして、データを取得します。

Gracenote Media Database に該当するデータが記録されているときは、アーティスト名、アルバム名およびトラック名が表示されます。

ディスクの挿入 / 取り出しなどのときは、オーディオ画面右下にロゴが表示されます。

gracenote

ℹ Gracenote Media Database は販売店オプションの HDD ナビゲーションシステムを装着することにより使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ℹ この機能は音楽 CD を選択しているときに利用できます。

Gracenote ™音楽認識テクノロジーおよび Gracenote Media Database を更新する

新しい音楽 CD が発売されるにともない、Gracenote Media Database のデータは古くなります。

Gracenote ™音楽認識テクノロジーの機能は、Gracenote Media Database を更新することによって最大限発揮されます。

Gracenote Media Database の新しいバージョンの情報については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

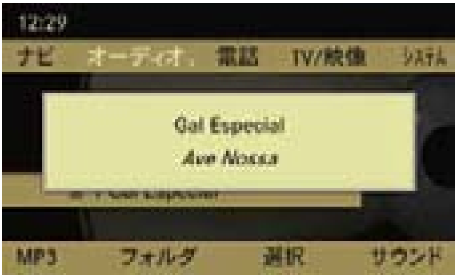
ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場では Gracenote Media Database と地図データを同時に更新します。

再生中の曲情報を表示する

▶ コントロールパネルの文字入力キーの ♯ を押します。

CD にテキストデータがあるか、Gracenote Media Database に情報があるときは、再生中の曲情報が表示されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。



CD にテキストデータがあるか、Gracenote Media Database に情報があるときの表示

CD にテキストデータがないか、Gracenote Media Database に情報がないときの表示

▶ コントロールパネルのリターンボタンまたはクリアボタンを押すと表示は消えます。

ℹ 約 7 秒間経過すると、表示は自動的に消えます。

サウンドの調整

ディスク / メモリーカードではサウンドを調整できます（▷27 ページ）。

音楽再生（ミュージックレジスター）*

音楽 CD のデータを、MP3 ファイルとしてミュージックレジスターに録音できます。

ミュージックレジスターの容量は 4GB です。

❗ 本機が故障すると、ミュージックレジスターに保存された音楽データが失われることがあります。

失われたデータについては一切責任を負いかねます。

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3 含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは、著作権法や国際協定で固く禁じられています。また、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で著作権で保護されているものを複製することは禁じられています。

ミュージックレジスターを開く

❗ 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルのオーディオ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回ミュージックレジスターを開いていたときは、ミュージックレジスターが開きます。

ミュージックレジスター以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " ミュージックレジスター " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 音楽ファイルがありません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ " ミュージックレジスター " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 音楽ファイルがありません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " HDD 3 ミュージックレジスター " を選択します。

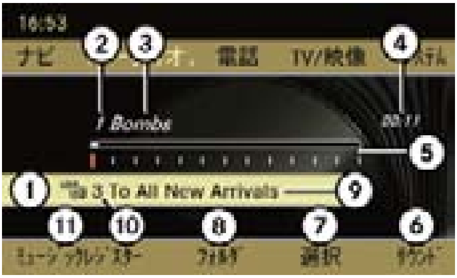
または

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "3" を押します。

ℹ 音楽再生をしているときは、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも、コントロールパネルの文字入力キーの " 3 " を押すことで、ミュージックレジスターを開くことができます。

ℹ 音楽データがないときは " 音楽ファイルがありません " と表示されます。

ミュージックレジスター基本画面



① メディアの種類 - ミュージックレジスター HDD
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示およびトラック位置表示
⑥ サウンドメニュー
⑦ メディア選択メニュー
⑧ フォルダリスト
⑨ 現在選択しているアルバム名表示
⑩ スロット位置表示
⑪ ミュージックレジスターメニュー

ℹ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" は SD カードを、"3" はミュージックレジスターを示しています。

早送り / 早戻しする

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを左右に倒して保持します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

ℹ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

選曲

選曲する

ℹ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

前の曲を選曲する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のメインエリアで、コントロールダイヤルを反時計回りにまわすか、コントロールスティックを左に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ⓘ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

次の曲を選曲する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のメインエリアで、コントロールダイヤルを時計回りにまわすか、コントロールスティックを右に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

トラックリストから選曲する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " ﾌｫﾙﾀﾞ " を選択します。

または

▶ 音楽再生(ミュージックレジスター) メインエリアで、コントロールスティックを押します。

トラックリストが表示されます。

現在再生しているトラックの左側には " • " が表示されています。

ⓘ 複数のフォルダがあるときや、複数階層のフォルダがあるときは、フォルダを選択できます(▷204 ページ)。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して選曲します。

トラック番号を入力して選曲する

▶ コントロールパネルの文字入力キーの [*･◦] を押します。

▶ コントロールパネルの文字入力キーで、選曲したいトラック番号を入力します。

マルチファンクションディスプレイで選曲する

▶ ステアリングの [⊟] または [⊟] スイッチを押して、オーディオ画面を表示させせます。

▶ ステアリングの [⌃] または [⌄] スイッチを押して、トラックを選択します。

再生の停止

再生を一時停止する

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

ステータスエリアに " [🔇] " が表示されます。

再生を再開する

▶ コントロールパネルのミュートボタンを押します。

" [🔇] " が消去されます。

ⓘ 早送り / 早戻し操作や選曲操作を行なったときも、再生は再開されます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで、" ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター①が表示されます

① ランダム再生インジケーター

" ランダム（アルバム）"

現在選択しているアルバムに記録されているトラックが順不同で再生されます。

アルバム内ランダム再生インジケーター②が表示されます。

② アルバム内ランダム再生インジケーター

ⓘ 本機の電源をオフにしても、選択した再生モードは記憶されます。

フォルダの選択

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " フォルダ " を選択します。

または

▶ 音楽再生(ミュージックレジスター)基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

フォルダ / トラックリストが表示されます。

上の階層へ移動する

▶ 上の階層への移動アイコン を選択します。

上の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

フォルダを選択する（下の階層への移動）

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、フォルダを選択します。

下の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

音楽 CD のデータをミュージックレジスターに録音する

ℹ データ量によって、録音にしばらく時間がかかる場合があります。

ℹ メモリが不足している場合は、メッセージが表示されます。

ℹ 録音中に音楽 CD は再生されません。

ℹ 録音している間も、一部のアプリケーションは使用することができます。

すべてのトラックを録音する

▶ 音楽 CD 基本画面のサブメニューエリアで " 録音 " を選択します。

▶ " 開始 " を選択します。

新しいフォルダが作成され、録音が開始されます。

ℹ 音楽 CD にテキストデータがあるか、Gracenote Media Database に情報があるときは、音楽 CD のアルバム名がフォルダ名になります。

音楽 CD にテキストデータがなく、また、Gracenote Media Database にも情報がないときは、フォルダ名は番号になります。

 " 録音選択 " を選択すると、録音するトラックを選択できます。

 " 録音先 " を選択すると、トラックを録音するフォルダやアルバムを選択できます（▷206 ページ）。

録音中の画面表示

① すべてのトラックを選択しているときに表示されます。

録音するトラックを選択しているときは、" 選択されたトラック " と表示されます。

② 録音されている曲順 / 全録音曲数

③ 音楽 CD のアルバム名

④ 録音先のフォルダ名 / アルバム名

⑤ 録音中の曲の録音進行インジケーター

 マルチファンクションディスプレイにオーディオ画面を表示しているときは、"HDD ﾛｸｵﾝﾁｭｳ ..." と表示されます。

録音を中止する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " 停止 " を選択します。

" 録音が中止されました " と表示されます。

録音が完了したトラックはミュージックレジスターに保存されます。

音楽 CD の再生が開始します。

録音するトラックを選択する

▶ サブメニューエリアで " 録音選択 " を選択します。

トラックリストが表示されます。

▶ 録音しないトラックを選択して、チェックマークを非表示にします。

ℹ "全てのトラック" を選択して左側の "○" 内の "・" を消去すると、全てのトラックのチェックマークが非表示になります。再度、"全てのトラック" を選択して左側の "○" 内の "・" を表示させると、全てのトラックのチェックマークが表示されます。

▶ "設定完了" を選択します。

または

▶ コントロールスティックを左右に倒します。

▶ "開始" を選択します。

トラックがすでに録音されているとき

録音しようとするトラックが、すでにミュージックレジスターに録音されているときは、トラックは灰色で表示され、選択できません。また、トラックの左側に "HDD" が表示されます。

録音するフォルダやアルバムを選択する

録音するフォルダやアルバムを選択できます。

▶ サブメニューエリアで "録音先" を選択します。

▶ 希望のフォルダやアルバムを選択します。

ℹ 同じアーティストのトラックがすでにミュージックレジスターに録音されているときは、"*新しいフォルダ*" が選択できます。

すべての音楽データを削除する

ミュージックレジスターのすべての音楽データを削除することができます。

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ " 全音楽ファイル削除 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択してコントロールスティックを押します。

メッセージが表示されすべての音楽データが削除されます。

メモリ容量を表示する

▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ " 容量 " を選択します。

以下の情報を含むウインドウが数秒間表示されます。

- 全容量（4.0GB）
- 空き容量
- 使用している容量
- 記録フォルダ数
- 記録ファイル数

フォルダやアルバム、トラックの名前を編集する / 削除する

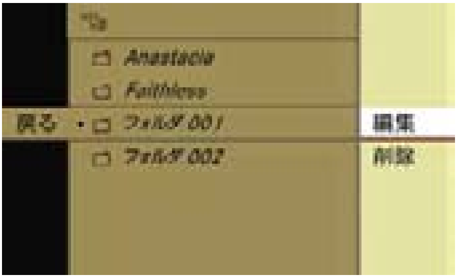
▶ 音楽再生（ミュージックレジスター）基本画面のサブメニューエリアで " ﾌｫﾙﾀﾞ " を選択します。

! 走行中は名前の編集はできません。このときは、選択項目が灰色で表示されます。

▶ 編集または削除するフォルダまたはアルバム、トラックを選択します。

名前を編集する

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 編集 " を選択します。



入力エリアが表示されます。

▶ 名前を編集します。

文字の入力方法については（▷220 ページ）をご覧ください。

▶ ok を選択します。

編集内容が保存されます。

削除する

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

▶ " はい " を選択して、コントロールスティックを押します。

メッセージが表示され、フォルダまたはアルバム、トラックが削除されます。

サウンドの調整

ミュージックレジスターではサウンドを調整できます（▷27 ページ）。

音楽再生（メディアインターフェース）*

ご使用の前に

車載のメディアインターフェース用ケーブルをグローブボックス内の接続端子に接続し、iPod® や、USB フラッシュメモリ、MP3 プレーヤーなどの USB 機器をケーブルに接続することにより、音楽ファイルを再生することができます。

! 外部機器を車内に残したままにしないでください。車内の温度変化などにより故障の原因になります。

i 接続ケーブルは純正品のみを使用し、安全な場所に収納してください。

i iPod® は米国 Apple Inc. の登録商標です。

i メディアインターフェースに接続できる外部機器について、詳しくはお買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

i メディアインターフェースでは、USB サブクラス 6 をサポートしています。USB 機器の仕様については、各製造元におたずねください。

i 接続した外部機器を、本機での操作と同時に、Bluetooth® などで遠隔操作しないでください。

i 接続した外部機器の充電残量が少ないときは、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。

i 以下のときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。

- サポートしていない外部機器を接続したとき
- 接続した外部機器が多くの電力を必要とするとき
- メディアインターフェースが故障しているとき

再生可能なオーディオデータ（USB 機器接続時）

USB 機器接続時は、下記フォーマットのオーディオデータを再生できます。

- MP3（CBR/VBR（320kbit/s まで））
- WMA（CBR/VBR（320kbit/s まで））

USB 機器に関する注意

- USB 機器にオーディオデータ以外のデータが記録されているときは、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。
- 8 階層までのディレクトリと、各階層 1000 曲までのオーディオデータをサポートしています。
- USB 拡張ケーブルなどを使用しないでください。正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 記録されているフォルダ内にプレイリストがあるときは、別のカテゴリとしてプレイリストが表示されます。

i DRM で保護されたオーディオデータは再生できません。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

メディアインターフェースを開く

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルのオーディオ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回メディアインターフェースを開いていたときは、メディアインターフェースが開きます。

メディアインターフェース以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " メディアインターフェース " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 再生できるデータがありません " と表示されます。

ℹ 機器が接続されていないときは " デバイスが接続されていません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ " メディアインターフェース " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 再生できるデータがありません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ サブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

機器が接続されていない状態

▶ " メディアインターフェース " を選択します。

ℹ メディアインターフェースを示す番号は、ミュージックレジスター非装備車は "3"、ミュージックレジスター装備車は "4" になります。

ℹ 機器が接続されているときは、" メディアインターフェース " の代わりに各機器名が表示されます。

メディアインターフェース基本画面

① 記憶メディアの種類
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間
⑤ 経過時間のグラフ表示およびトラック位置表示
⑥ サウンドメニュー
⑦ 現在選択しているフォルダ名表示（記録されている場合のみ）
⑧ メディア選択メニュー
⑨ フォルダ / カテゴリ選択メニュー
⑩ アーティスト名表示（記録されている場合のみ）
⑪ 再生モード選択メニュー

早送り / 早戻しする

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを左右にスライドして保持します。

または

▶ コントロールパネルの [⏮] または [⏭] ボタンを押して保持します。

ℹ コントロールパネルの [⏮] または [⏭] ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

選曲

選曲する

ℹ コントロールパネルの [⏮] または [⏭] ボタンでの操作は、" ナビ "* や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " を開いているときも行なうことができます。

前の曲を選曲する

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールダイヤルを反時計回りにまわすか、コントロールスティックを左にスライドします。

または

▶ コントロールパネルの [⏮] ボタンを押します。

ℹ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

次の曲を選曲する

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを時計回りにまわすか、右にスライドします。

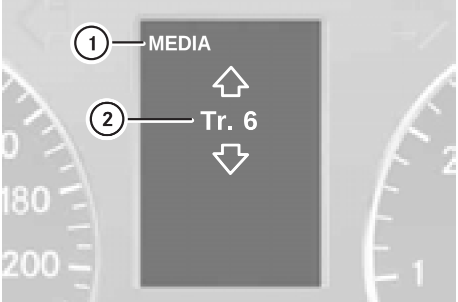
または

▶ コントロールパネルの [⏭] ボタンを押します。

マルチファンクションディスプレイで選曲する

▶ ステアリングの [⧉] または [⧉] スイッチを押して、オーディオ画面を表示させます。

▶ ステアリングの [⇧] または [⇩] スイッチを押して、トラックを選択します。



① 選択している音楽ソース
② トラック番号

* オプションや仕様により、異なる装備です。

再生の停止

再生を一時停止する

▶ コントロールパネルの 🔇 ボタンを押します。

ステータスエリアに "🔇" が表示されます。

再生を再開する

▶ コントロールパネルの 🔇 ボタンを押します。

"🔇" が消去されます。

ℹ 早送り / 早戻し操作や選曲操作を行なったときも再生は再開されます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで、"ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ" を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下にスライドして、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

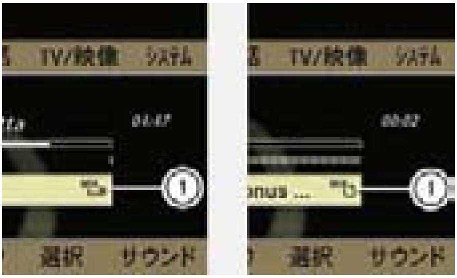
" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター①が表示されます。



（左）USB 機器接続時
（右）iPod® 接続時
① ランダム再生インジケーター

" ランダム（フォルダ / カテゴリ）"

現在選択しているフォルダ / カテゴリーに記録されているトラックが順不同で再生されます。

フォルダ内ランダム再生インジケーター②またはカテゴリー内ランダム再生インジケーター③が表示されます。

② フォルダ内ランダム再生インジケーター（USB 機器接続時）
③ カテゴリー内ランダム再生インジケーター（iPod® 接続時）

ℹ USB 機器を接続しているときは " ランダム（フォルダ）" が、iPod® を接続しているときは " ランダム（カテゴリ）" が表示されます。

ℹ 現在選択しているフォルダに音楽ファイルがないときは、" 再生できるデータがありません " と表示されます。

曲情報表示（USB 機器接続時）

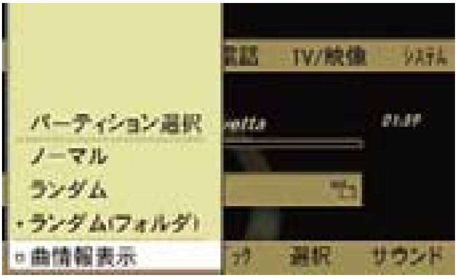
オーディオデータに、トラック名、アルバム名、アーティスト名などの ID3 タグデータや WMA データが記録されているときは、それらを表示することができます。

曲情報を表示する

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで、" ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下にスライドして、再生モードを選択します。

▶ " 曲情報表示 " を選択してコントロールスティックを押します。



コントロールスティックを押すたびに、左側のチェックボックスのチェックマークが表示されます。

曲情報を表示するときは、チェックマークを表示させます。

ℹ 曲情報表示を解除しているときは、トラック名はファイル名で、アルバム名およびアーティスト名はフォルダ名で表示されます。

パーティションの選択（USB 機器接続時）

USB 機器のメモリー部分に複数のパーティションが設定されているときは、再生する音楽データが含まれるパーティションを選択できます。

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで、"ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ" を選択します。

▶ " パーティション選択 " を選択します。

▶ パーティションを選択します。

フォルダの選択（USB 機器接続時）

フォルダを移動することにより、再生するトラックを選択することができます。

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで "ﾐｭｰｼﾞｯｸ" を選択します。

または

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

上の階層のフォルダ名 / USB 機器名や同じ階層のフォルダ・トラックリスト、再生中のトラックが含まれているフォルダのフォルダ・トラックリストが表示されます。

① 上の階層のフォルダ名 / USB 機器名
② 上の階層への移動アイコン
③ 現在選択しているフォルダ内の別のフォルダ
④ 再生中のトラック

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールダイヤルを上下にスライドして、フォルダを選択します。

選択したフォルダのフォルダ・トラックリストが表示されます。

トラックを選択したときは、再生が開始されます。

ℹ フォルダを選択して、コントロールスティックを約 2 秒以上押して保持すると、フォルダ内の曲が再生モードにしたがって再生されます。

上の階層へ移動する

▶ 上の階層への移動アイコンを選択します。

上の階層のフォルダに含まれるフォルダ・トラックリストが表示されます。

フォルダ・トラック検索

フォルダ・トラックリストに表示してあるフォルダやトラックを、頭文字のアルファベットで検索できます。

ℹ 漢字やひらがなで登録されている項目は検索できません。

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで " ミュージック " を選択します。

または

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

▶ 検索したいアルファベットが下方に表示されているテンキーを押します。

検索できる文字が、ディスプレイの下部に表示されます。

▶ 同じテンキーを再度押して、検索するアルファベットを選択します。

入力したアルファベットに該当する最初のフォルダ・トラックが選択されます。

カテゴリーによるトラックの選択（iPod® 接続時）

さまざまなカテゴリーから、再生するトラックを選択することができます。

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のサブメニューエリアで " ミュージック " を選択します。

または

▶ 音楽再生（メディアインターフェース）基本画面のメインエリアで、コントロールスティックを押します。

カテゴリーリストが表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下にスライドして、カテゴリーを選択します。

現在の曲のリスト

現在選択しているカテゴリーのトラックリストが表示されます。

プレイリスト

接続している iPod® のプレイリストが表示されます。

アーティスト

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

アルバムを選択すると、そのアルバムのトラックリストが表示されます。

アルバム

選択したアルバムのトラックリストが表示されます。

曲

記録されているすべてのトラックのリストが表示されます。

ジャンル

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

アーティストを選択すると、そのアーティストのアルバムリストが表示されます。

アルバムを選択すると、そのアルバムのトラックリストが表示されます。

作曲者

選択した作曲者のアルバムリストが表示されます。

アルバムを選択すると、そのアルバムのトラックリストが表示されます。

ⓘ プレイリストやアルバムを選択してコントロールスティックを押したまま保持すると、プレイリストやアルバムに含まれるトラックの再生が開始します。

ⓘ " すべて " を選択すると、選択しているカテゴリーに含まれるすべてのトラックが表示されます。

ⓘ " ↖▭ " を選択すると、1 つ前に選択していたカテゴリーに戻ります。

アルファベット検索

各カテゴリ内の選択したいアーティストや曲などを、頭文字のアルファベットで検索できます。

ⓘ 漢字やひらがなで登録されている項目は検索できません。

▶ カテゴリリストから、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下にスライドして、検索をしたいカテゴリを選択します。

▶ 検索したいアルファベットが下方に表示されているテンキーを押します。

検索できるアルファベットが、ディスプレイの下部に表示されます。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

入力したアルファベットに該当する最初の項目が選択されます。

ⓘ 接続している iPod® のソフトウェア（iTunes）のバージョンにより、検索結果が異なる場合があります。

ⓘ " すべて " を選択すると、選択しているカテゴリーに含まれるすべてのトラックが表示されます。

ⓘ " ↖▭ " を選択すると、1 つ前に選択していたカテゴリーに戻ります。

サウンドの調整

メディアインターフェースではサウンドを調整できます（▷27 ページ）。

外部入力

音楽プレーヤーなどの外部機器を接続して、音声を本機で出力できます。

詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

> ⚠ **事故のおそれがあります**
>
> 外部入力の音量は一定でないため、システムメッセージ（例：交通およびナビの案内）の音量が大きくなることがあります。

! 入力感度が異なるため、マイクロホンなどを接続すると、本機やスピーカーなどを損傷するおそれがあります。

! 接続コードは抵抗付きでないものを使用してください。

! 接続する外部機器は、安全のためグローブボックス内に保管してください。シートの上などに置いていると、停車時などに落下するおそれがあります。また、急ブレーキ時などに投げ出されて、乗員がけがをするおそれがあります。

! 走行中にグローブボックスのカバーが開いていると、急ブレーキ時などにけがをするおそれがあります。走行中はカバーを閉じてください。

ⓘ メディアインターフェース装備車は、車載の外部入力用ケーブルをグローブボックス内の端子に接続することにより、外部入力を使用できます。

ⓘ メディアインターフェース非装備車は、グローブボックス内に外部入力用の接続端子を装備しています。

ⓘ 外部機器の音量は、接続した機器により著しく異なります。外部入力で接続した機器の再生音量が小さくなったり大きくなったりする場合があります。また、通常の最大音量が得られない場合もあります。

ⓘ 外部機器の音量を設定するときは、適度な音量から少しずつ音量を上げて、歪みのない音質で再生できることを確認してください。

外部機器の接続

メディアインターフェース装備車

▶ グローブボックス内のメディアインターフェース端子に外部入力用ケーブルを接続します。

▶ 外部入力用ケーブルに外部機器をに接続します。

メディアインターフェース非装備車

▶ グローブボックス内の外部入力端子に外部機器を接続します。

外部入力を開く

! 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルのオーディオ選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回外部入力を開いていたときは、外部入力が開きます。

外部入力以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " 外部入力 " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " 外部入力 " を選択します。

① 現在選択されている音楽ソース

▶ 外部機器を再生します。

入力レベルの補正

外部機器の入力レベルが低いときに、入力レベルを上げることができます。

入力レベルを上げる

▶ 外部入力基本画面のサブメニュエリアで " 音量 " を選択します。

▶ " 音量補正 " を選択します。

サウンドの調整

外部入力ではサウンドを調整できます（▷27 ページ）。

文字の入力方法

コントロールダイヤルやコントロールスティック、または文字入力キーを使用して文字を入力できます。

コントロールダイヤル / コントロールスティックでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を選択します。

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（単語の最初の一文字だけが大文字になります） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ゝなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下左右に倒して、入力する文字を選択します。

または

▶ " ← " " ↑ " " ↓ " " → " を選択してカーソルを移動し、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントロールスティックを左右に倒して、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒して、入力する文字を選択します。

カーソルを移動する

カーソルを移動して、文字を入力する位置を指定します。

▶ コントロールスティックを左右に倒して、" ← " または " → " を選択します。

文字を削除する

▶ C を選択します。

または

▶ コントロールパネルのクリアボタンを押します。

カーソル左側の文字が削除されます。

ⓘ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

文字入力キーでの入力

文字の種類の選択

▶ コントロールパネルの文字入力キーの "#" を押します。

文字入力キーの "#" を押すごとに文字の種類が切り替わり、文字の種類がディスプレイに表示されます。

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

ⓘ " 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントロールダイヤルおよびコントロールスティックで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されている文字入力キーを押します。

アルファベットの入力

▶ 入力したい数字が下方に表示されている文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示された文字入力キーを押します。

▶ 同じ文字入力キーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ⓘ 入力文字を選択した後、他の文字入力キーを押したときも、入力文字は確定します。

文字の変換

▶ 入力したい単語の読みがなをひらがなで入力します。

▶ " 変換 " を選択します。

候補となる単語が表示されます。

ⓘ ok を選択すると、漢字に変換されずにひらがなになります。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、入力する単語を選択します。

テレビ……………………………………224
DVD ビデオ ………………………………235

テレビは、販売店オプションの地上デジタル放送用テレビチューナーを装着することで使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

テレビ *

安全に利用するために

けがのおそれがあります

本機はクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に漏れるおそれがあります。

- コントロールパネルのカバーを取り外さないでください。
- 本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- コントロールパネルのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

走行中の映像表示について

約 8km/h 以上の速度で走行しているときは、自動的に映像が表示されなくなり、音声のみが再生されます。

また、" 安全のため 走行中は表示できません " とディスプレイに表示されます。

走行速度が約 5km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

地上デジタル放送について

本機のテレビは、フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送にのみ対応しています。

本機のテレビは、ワンセグメント（ワンセグ）地上デジタル放送およびアナログ放送には対応していません。

地上デジタル放送とは？

地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。

2003 年 12 月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されています。

地上デジタル放送の特徴

- デジタルハイビジョンの高画質と CD 並みの高音質
- 標準画質による多チャンネル放送
- 多様なデータ放送、双方向機能を活かした番組への参加
- 移動体受信でも乱れのない鮮明な映像が視聴可能
- EPG による番組情報の確認
- ワンセグ放送による移動体向けサービス

* オプションや仕様により、異なる装備です。

ⓘ 本機のテレビは、ハイビジョン出力には対応していません。

ⓘ 本機のテレビは、双方向サービスには対応していません。

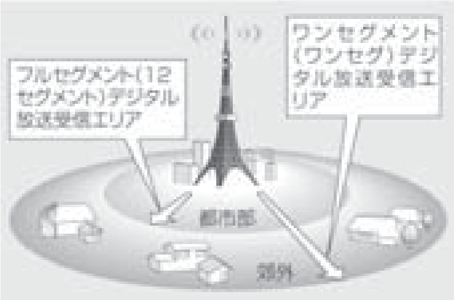
ⓘ ワンセグ放送のサービス開始時期は、各放送局により異なります。

ⓘ 本機のテレビは、EPG による番組情報には対応していません。

フルセグメント（12 セグメント）地上デジタル放送の受信エリアについて

地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。

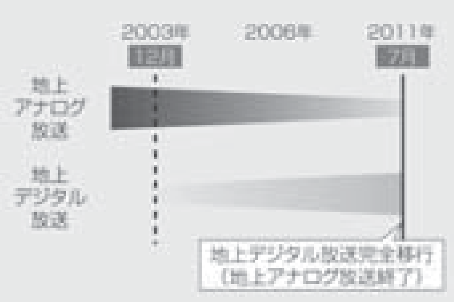
フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送は、都市部でのみ受信が可能です。



地上デジタル放送化のスケジュール

地上デジタル放送は 2003 年 12 月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006 年 12 月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。

2011 年 7 月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。



B-CAS カードについて

デジタル放送の著作権保護などの観点から、デジタル放送を視聴する際には、受信機器に B-CAS カードを挿入することが必要です。

本機にはすでに、B-CAS カードが挿入されています。

B-CAS カードの所有権は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属し、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」に基づいて運用されています。

詳しくは販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

ⓘ 本機でテレビを視聴される前には必ず、右ページの「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」をお読みの上、同意書への署名が必要となります。詳しくは販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

B-CAS カード使用上の注意

- B-CAS カードを抜き取らないでください。B-CAS カードの抜き取りが必要な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。
- 本機に付属している B-CAS カードは、地上デジタル放送専用です。地上・BS・110 度 CS デジタル放送の共用受信機器には使用しないでください。
- B-CAS カードを盗難・紛失したときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
- B-CAS カードに関する問い合わせの際は、B-CAS カードの ID 番号が必要になります。B-CAS カードの ID 番号を記載したシールが、地デジチューナー筐体と本機表示画面に貼付してあります。
- 万一、B-CAS カードを交換した場合は新しい B-CAS カード ID 番号となります。

※ 上記の内容は取扱説明書作成時点のもので、予告なく変更されることがあります。

B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用カード）

お客様がお買い求めのデジタル放送受信機器（以下「受信機器」という）には、地上デジタルテレビジョン放送を受信するためのＩＣカード(ビーキャス(Ｂ-ＣＡＳ)カード)（以下「カード」という）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）が、この約款の契約（以下「本契約」という）に基づいてお客様に貸与するものです。お客様は、受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

当社は、Ｂ-ＣＡＳ方式の限定受信システム（ＣＡＳ）やカードを統一的に運用・管理するためにＢＳデジタル放送の放送事業者等により設立された会社です。詳しくは当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。当社へのご連絡やお問い合わせはカスタマーセンター（電話 0570-000-250）までお願いします。

第１条（カードの使用目的）

このカードには受信機器を制御する集積回路（ＩＣ）が内蔵されており、地上デジタルテレビジョン放送の番組の著作権保護等に利用されています。このカードは、地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

お買い求めの受信機器に内蔵されているカードの所有権は、当社に帰属します。

２．お客様は、本契約に基づき、受信機器に内蔵されているカードを使用することができます。

第３条（カードの故障交換等）

カードに起因すると推測される受信障害が発生した場合は、受信機器のメーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」という）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。（詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください）

２.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条（ユーザー登録）

前条のカード交換依頼の連絡等のためにユーザー登録を希望するお客様は、当社のホームページから必要事項を入力していただく方法、または当社に連絡してユーザー登録用紙を取り寄せていただく方法により、登録をしてください。ユーザー登録は任意です。

２．当社は、お客様からのユーザー登録情報を別に定めるガイドライン（当社ホームページより参照）に従って厳格に取扱います。

第６条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄等によりカードが使用されなくなった場合、もしくは受信機器の譲渡等によりカード使用者が変更になった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第７条（禁止事項）

お客様は、このカードを、お買い求めの受信機器から取り外さないで下さい。

２．このカードを使用して、ＢＳデジタル放送や110度ＣＳデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

３．カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

４．カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第８条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページに掲載します。

テレビを開く

! 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

ℹ 本機のテレビは、フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送にのみ対応しているため、受信エリア外ではテレビを視聴できません。

また、受信エリア内であっても電波状況によっては、地上デジタル放送を受信できず、テレビの音声や映像が消えることがあります。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの TV / 映像選択ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

TV / 映像で前に開いていた映像ソースになります。

DVD ビデオが開いたとき

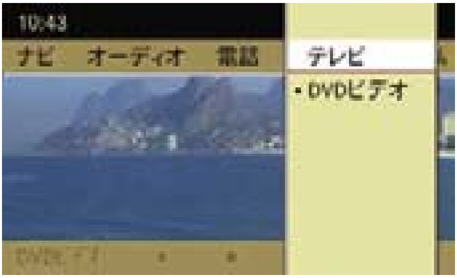
▶ 再度、アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ " テレビ " を選択します。

DVD ビデオから開く

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ " テレビ " を選択します。



情報メニューの表示

情報メニューには、プリセット番号やチャンネル番号、放送局名が表示されます。

情報メニューを表示する

▶ 全画面表示のときにコントロールスティックを上下に倒します。

ℹ テレビを開くと、情報メニューが自動的に表示されます。

情報メニュー
① プリセット番号
② チャンネル番号
③ 放送局名

情報メニューを消去する

▶ コントロールスティックを上下に倒します。

ℹ 約 8 秒経過すると、情報メニューは自動的に消去されます。

約 5km/h 以上の速度で走行し、映像が表示されていないときは、情報メニューが常に表示されます。

テレビが受信できていない場合は、情報メニューは表示されません。この場合は " " と " " が表示され、消音されます。

基本画面と全画面表示の切り替え

全画面表示から基本画面にする

▶ 全画面表示のときに、コントロールスティックを押します。

基本画面になります。

基本画面

基本画面から全画面表示にする

▶ 基本画面のときに、コントロールパネルのリターンボタンを押します。

全画面表示になります。

または

▶ 基本画面のときに、コントロールスティックを上に倒します。

" 全画面表示 " が表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

全画面表示になります。

テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "テレビ 1" または "テレビ 2" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ 切り替えたい項目を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

ⓘ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺のよく視聴する放送局を記憶させて、テレビ 2 には他地域を走行するときにその地域の放送局を記憶させるといった使い方ができます。

放送局の選局

以下の方法で選局できます。

- 手動選局

ⓘ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの手動選局は、" ナビ "* や " 電話 "、" 設定 " のときも行なえます。

- プリセット選局
- チャンネルを入力しての手動選局

手動選局

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを左右に倒します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

前または次のチャンネルが選局されます。

プリセット選局

ⓘ プリセット選局は、放送局があらかじめプリセットされているとき（▷232 ページ）に行なえます。

コントロールダイヤルおよびコントロールスティックでの操作

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

現在選択されている放送局の左側には " • " が表示されています。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して放送局を選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

コントロールパネルの文字入力キーでの操作

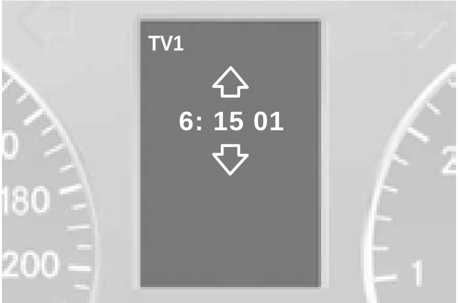
▶ 受信したいプリセット番号の文字入力キーを押します。

ⓘ プリセットされている番号のみを選択できます。

"ナビ"* や "電話"、"設定" のときも文字入力キーでの操作は行なえます。ただし文字入力および番号入力画面のときは操作できません。

マルチファンクションディスプレイでの操作

▶ ステアリングの ▭ または ▭ スイッチを押して、マルチファンクションディスプレイにオーディオ画面を表示させます。



オーディオ画面

▶ ステアリングの ⇧ または ⇩ スイッチを押します。

放送局がプリセットされているときは、次または前のプリセット番号の放送局に移動します。

放送局がプリセットされていないときは、次または前の受信できるチャンネルで停止します。

または

▶ ステアリングの ⇧ または ⇩ スイッチを押して保持します。

次または前の受信できるチャンネルで停止します。

チャンネルを入力しての手動選局

▶ コントロールパネルの文字入力キーの *·◦ を押します。

または

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "テレビ 1" または "テレビ 2" を選択します。

▶ "チャンネル入力" を選択します。

▶ コントロールパネルの文字入力キーでチャンネルと番組番号を入力します。

チャンネルを入力しての手動選局画面

テレビ / DVD ビデオ

* オプションや仕様により、異なる装備です。

チャンネルと番組番号を、それぞれ 2 桁入力すると、入力したチャンネルを受信します。

ℹ 1 ～ 9 の桁を選択するときは、最初に "0" を入力してから、番号を入力します。

"0" を入力しなかったときは、コントロールスティックを押すと受信画面に移ります。

ℹ 入力したチャンネルに該当する放送局がないときは、確認メッセージが表示されます。コントロールスティックを押すとチャンネル入力画面に戻ります。

放送局のプリセット

テレビ 1 とテレビ 2 にそれぞれ 12 局まで放送局をプリセットできます。

オートプリセット

受信電波の状態に応じて、放送局が自動的にプリセットされます。

オートプリセットを行なうと、それまでのプリセットは消去されます。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

▶ " オートプリセット " を選択します。

ディスプレイに " オートプリセット実行中 ..." とメッセージが表示されます。

プリセットが終了すると、プリセットリストが表示されます。

プリセットを中止する

▶ オートプリセット実行中にコントロールスティックを押します。

手動プリセット

コントロールダイヤルおよびコントロールスティックでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

▶ コントロールダイヤルをまわすか、コントロールスティックを上下に倒して、プリセットしたい番号を選択します。

▶ " ピッ " と音が鳴るまでコントロールスティックを押して保持します。

コントロールパネルの文字入力キーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ " ピッ " と音が鳴るまでプリセットしたい番号の文字入力キーを押して保持します。

画質・画面の調整

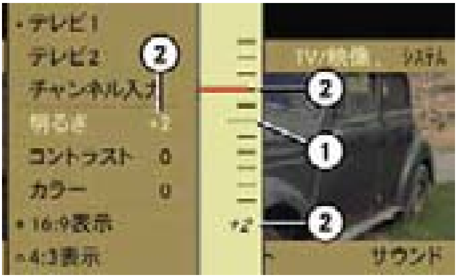
画質の調整

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "テレビ 1" または "テレビ 2" を選択します。

▶ "明るさ"、"コントラスト"、"カラー" のいずれかを選択します。

調整スケールが表示されます。

▶ +5 ～－ 5 の範囲で希望する設定を選択します。



① これまでの設定値
② 現在の設定値

画面比率の設定

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "テレビ 1" または "テレビ 2" を選択します。

▶ 画面比率を選択します。

現在選択されている画面比率の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"16：9 表示 "

横縦比率が 16：9 で表示されます。

"4：3 表示 "

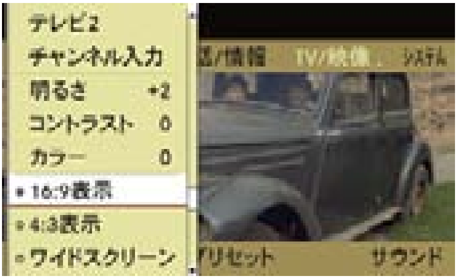
横縦比率が 4：3 で表示されます。

" ワイドスクリーン "

ワイドスクリーンで表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

画面比率が設定されます。



サウンドの調整

テレビでは、サウンドを調整できます (▷27 ページ)。

DVD ビデオ

安全に利用するために

けがのおそれがあります

本機はクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に漏れるおそれがあります。

- コントロールパネルのカバーを取り外さないでください。
- 本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- コントロールパネルのカバーが損傷しているときは、メルセデス･ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

事故のおそれがあります

DVD ディスクの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

走行中の映像表示について

約 8km/h 以上の速度で走行しているときは、自動的に映像が表示されなくなり、音声のみが再生されます。

また、" 安全のため 走行中は表示できません " とディスプレイに表示されます。

走行速度が約 5km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

DVD ディスクに関する注意

コピーされたディスクは、正常に再生されないことがあります。

非常に数多くのディスクや DVD オーサリングソフト、ライティングソフトが市販されていますが、本機で再生できるディスクは限られています。

お客様ご自身で書き込んだディスクの再生については保証致しかねます。

! ディスク面にシールなどの異物を貼付しないでください。

シールなどが剥がれて、本機を損傷するおそれがあります。

シールなどを貼付するとディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーなどの問題が生じるおそれがあります。

! 必ず以下のマークのあるディスクを使用してください。

厚さ 1.3 mm 以下のディスクを使用できます。

それより厚みのあるディスク（片面に DVD データ、もう片面にオーディオデータが記録されているディスクなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、本機を損傷するおそれがあります。

シングル DVD（8cm DVD）はアダプターの装着 / 非装着にかかわらず使用できません。12cm DVD のみを使用してください。

ディスクの取り扱いに関する注意

- ディスクを持つときは、必ず周囲の縁部分を持つようにしてください。
- 読み取りエラーの発生を防ぐため、ディスクは慎重に取り扱ってください。
- ディスクに傷を付けないようにしてください。また、指紋やホコリを付けたままにしないでください。
- ディスクの汚れを落とすときは、専用のクリーニングクロスを使ってください。

  その際は、中心部から外側に向けてまっすぐ拭くようにして、絶対に円を描くように拭かないでください。
- ディスク面に文字を書き込むときは、専用のペンを使用してください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。

DVD ビデオの再生規格

市販されている DVD ビデオの中には規格に準拠していないものがあります。

そのような DVD は、正常に再生されないおそれがあります。

本機は以下の基準を満たす DVD ビデオを再生できます。

- リージョンコード 2 または 0（限定なし）

i DVD ビデオが別のリージョンコードに設定されている場合、対応するメッセージが表示されます。

- PAL または NTSC 規格

i DVD ビデオの再生規格は、DVD ビデオのディスク本体またはケースに記載されている情報で確認してください。

i 本機は出荷時にリージョンコード 2 に設定されています。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではリージョンコードを最高 5 回まで変更することができます。

リージョンコードを変更することによって、PAL または NTSC 規格の DVD ビデオであれば、他のリージョンコードの DVD ビデオを再生できます。

機能の制限

DVD ビデオによっては、一部の機能が、特定の状況で、または常に利用できないことがあります。

機能が利用できないときは、ディスプレイに " ⃠ " が表示されます。

DVD ディスクの挿入 / 取り出し

ℹ DVD ディスクを挿入するときは、印刷されている面を上に向けてください。

どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けてディスクを挿入してください。

コピープロテクトされているディスクは再生できないことがあります。

悪路や踏切などを走行しているときは、振動のため音や映像が飛ぶことがあります。音や映像飛びが続く場合は、再生を中止してください。

ディスクを挿入する

① ディスクスロット
② ディスク排出ボタン

▶ ディスクスロット①にディスクを挿入します。

ディスクスロット①にディスクが引き込まれます。

ディスクの再生が開始されます。

ディスクを取り出す

▶ ディスク排出ボタン②を押します。

" ディスク取出し中 ..." と表示され、ディスクが排出されます。

次に " ディスクを抜いてください " と表示されます。

▶ 約 15 秒以内にディスクスロット①からディスクを取り出します。

ℹ 約 15 秒以内にディスクスロット①からディスクを取り出さないと、ディスクは再度ディスクスロット①に引き込まれます。

DVD ビデオを開く

! 記録した音量ボリュームが小さいメディアなどを音量を上げて再生しているときに、他のアプリケーションやメディアに切り替えると大音量になる場合があります。アプリケーションやメディアを切り替えるときは、あらかじめ音量を下げてください。

他のアプリケーションから開く

▶ コントロールパネルの TV / 映像選択ボタン を押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

TV / 映像で前に開いていた映像ソースになります。

テレビが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ "DVD ビデオ " を選択します。

テレビから開く

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ "DVD ビデオ " を選択します。

DVD 基本画面

音楽再生（メモリーカード、ミュージックレジスター）から開く

▶ 音楽再生（メモリーカードまたはミュージックレジスター *）の基本画面のサブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " DVD-V 1 " を選択します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

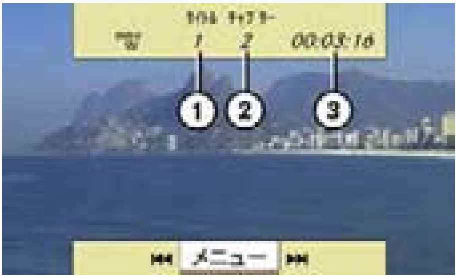
情報メニューの表示

情報メニューには、タイトル番号やチャプター番号、経過時間が表示されます。

情報メニューを表示する

▶ 全画面表示のときにコントロールスティックを上下に倒します。

ℹ DVD ビデオを開くと、情報メニューが自動的に表示されます。



情報メニュー
① タイトル番号
② チャプター番号
③ 経過時間

情報メニューを消去する

▶ コントロールスティックを上下に倒します。

または

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。

ℹ 約 8 秒経過すると、情報メニューは自動的に消去されます。

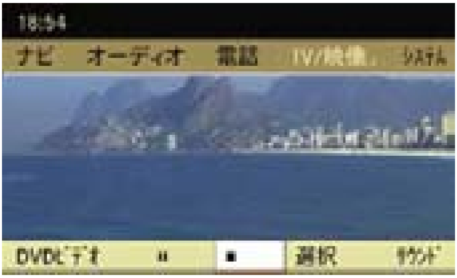
約 8km/h 以上の速度で走行し、映像が表示されていないときは、情報メニューが常に表示されます。

基本画面と全画面表示の切り替え

全画面表示から基本画面にする

▶ 全画面表示のときに、コントロールスティックを押します。

基本画面になります。



基本画面

基本画面から全画面表示にする

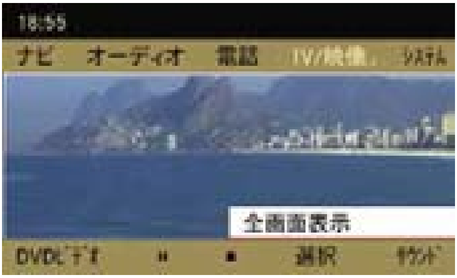
▶ 基本画面のときに、コントロールパネルのリターンボタンを押します。

全画面表示になります。

または

▶ 基本画面のときに、コントロールスティックを上に倒します。

" 全画面表示 " が表示されます。



▶ コントロールスティックを押します。

全画面表示になります。

早送り / 早戻し

ⓘ コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、ナビ * や電話など、DVD ビデオ以外のアプリケーションを開いているときも行なえます。

早送りする

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントロールスティックを右に倒して保持します。

または

▶ コントロールパネルの ⏭ ボタンを押して保持します。

早戻しする

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントロールスティックを左に倒して保持します。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ ボタンを押して保持します。

次のチャプターを再生する

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントロールスティックを右に倒すか、コントロールダイヤルを時計回りに 1 クリック分まわします。

または

▶ コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

前のチャプターを再生する

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントロールスティックを左に倒すか、コントロールダイヤルを反時計回りに 1 クリック分まわします。

または

▶ コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

チャプター番号を入力して再生する

▶ コントロールパネルの文字入力キーの [*・◦] を押します。

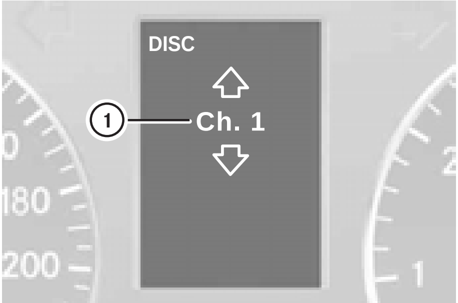
▶ コントロールパネルの文字入力キーで、再生したいチャプター番号を入力します。

マルチファンクションディスプレイでの操作

チャプターを選択する

▶ ステアリングの [▭] または [▭] スイッチを押して、マルチファンクションディスプレイにオーディオ画面を表示させます。

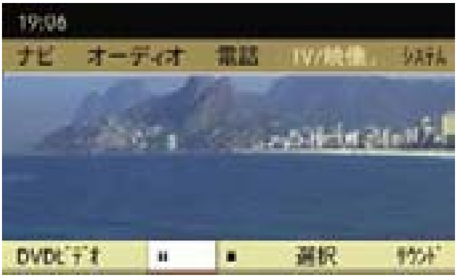
▶ [⇧] または [⇩] スイッチを押して、チャプターを選択します。



① チャプター番号

* オプションや仕様により、異なる装備です。

再生の停止



再生を一時停止する

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "❚❚" を選択します。

"❚❚" が "▶" に変わります。

次に "▶" を選択すると、一時停止した場所から再生されます。

再生を停止する

▶ DVD 基本画面のサブメニューエリアで "■" を選択します。

映像が消え、"❚❚" が "▶" に変わります。

次に "▶" を選択すると、停止した場所から再生されます。

または

再度 "■" を選択し、次に "▶" を選択すると、ディスクの先頭から再生されます。

画質・画面の調整

画質の調整

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ " 明るさ "、" コントラスト "、" カラー " のいずれかを選択します。

調整スケールが表示されます。

▶ +5 ～－ 5 の範囲で希望する設定を選択します。

① これまでの設定値
② 現在の設定値

画面比率の設定

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ" を選択します。

▶ 画面比率を選択します。

現在選択されている画面比率の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"16 : 9 表示 "

横縦比率が 16 : 9 で表示されます。

"4 : 3 表示 "

横縦比率が 4 : 3 で表示されます。

" ワイドスクリーン "

ワイドスクリーンで表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

画面比率が設定されます。

DVD メニュー

ℹ DVD メニューは、DVD に設定、保存されているメニューで、特定の動作や設定を行なうことができます。

DVD メニューの表示内容や操作方法は DVD により異なります。

詳細については DVD の取扱説明書をご覧ください。

DVD メニューを表示させる

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ" を選択します。

▶ "DVD 設定 " → "DVD メニュー " を選択します。

DVD メニューが表示されます。

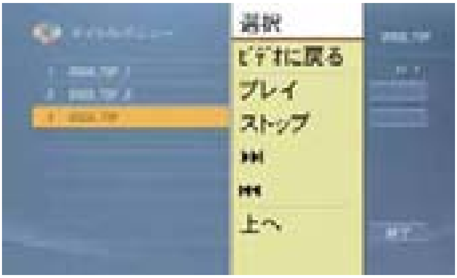
DVD メニュー

DVD メニューから項目を選択する

▶ メニューやトラックを選択します。

▶ コントロールスティックを押します。

ℹ 選択できない項目は灰色で表示されます。



再生する

▶ " 選択 " または " プレイ " を選択します。

DVD メニューで選択した項目が再生されます。

DVD によっては、さらにサブメニューが表示されます。

ℹ DVD によっては、" 選択 " や " プレイ " が選択できないことがあります。

その場合は、ディスプレイに " ⃠ " が表示されます。

再生を停止する

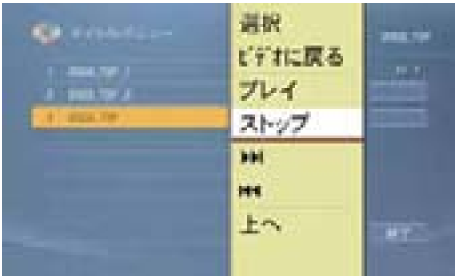
▶ " ストップ " を選択します。

次のチャプターを再生する

▶ " ⏭ " を選択します。

前のチャプターを再生する

▶ " ⏮ " を選択します。



ℹ DVD によっては、" ⏭ " と " ⏮ " は選択できないことがあります。

その場合は、ディスプレイに " ⃠ " が表示されます。

1 つ上の階層の DVD メニューに戻る

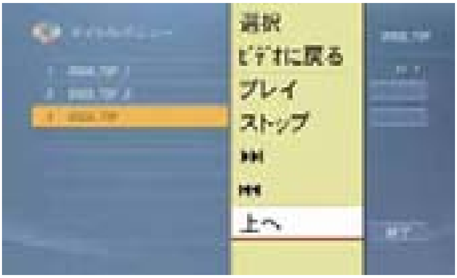
▶ " 上へ " を選択します。

または

▶ DVD メニューから " 戻る " に対応する項目を選択します。

または

▶ コントロールパネルのリターンボタンを押します。



ℹ DVD によっては、" 上へ " を選択できないことがあります。

その場合は、ディスプレイに "⃠" が表示されます。

再生を再開する

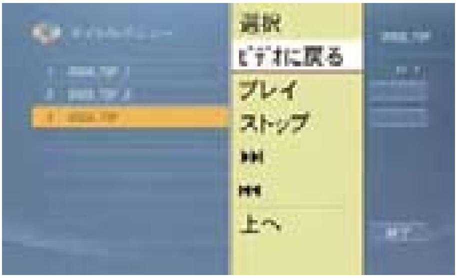
▶ " ビデオに戻る " を選択します。

または

▶ DVD メニューから " 再生する " に対応する項目を選択します。

または

▶ 映像が再生されるまで、コントロールパネルのリターンボタンを繰り返し押します。



ℹ DVD によっては、" ビデオに戻る " を選択できなかったり、選択したときに一時停止になることがあります。

選択できない場合は、ディスプレイに " ⃠ " が表示されます。

メニュー言語、音声言語、字幕言語を設定する

メニュー言語、音声言語、字幕言語を設定できます。

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

設定内容は DVD により異なります。

DVD によっては DVD メニューから設定できることもあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ " を選択します。

▶ "DVD 設定 " を選択します。

▶ " メニュー言語 " または " 音声言語 " または " 字幕言語 " を選択します。

現在選択されている言語の左側には " • " が表示されています。

▶ 希望の言語を選択して、コントロールスティックを押します。

サブタイトルとカメラアングル

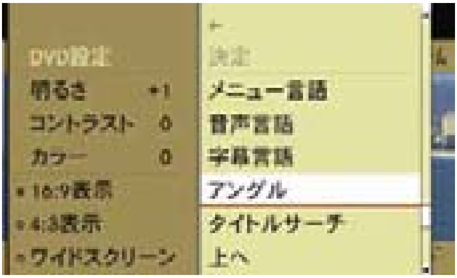
ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

サブタイトルとカメラアングルの内容は、DVD により異なります。

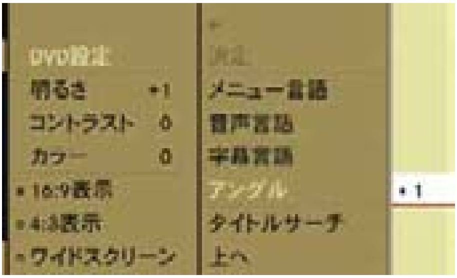
DVD によっては、DVD メニューから設定できることもあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ "DVD 設定" → " アングル " を選択します。



現在選択している設定の左側には " • " が表示されています。



▶ 希望の設定を選択して、コントロールスティックを押します。

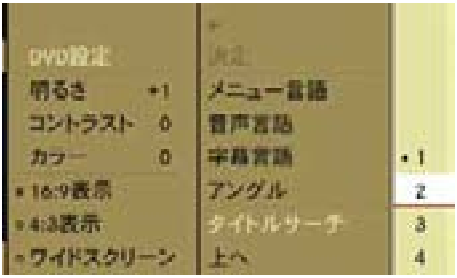
タイトルを選択する

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ "DVD 設定" → " タイトルサーチ " を選択します。

▶ 再生するタイトルの番号を選択します。



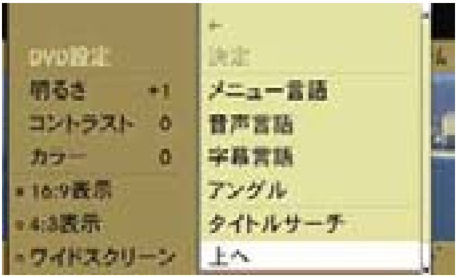
選択したタイトルが再生されます。

決められた場面に移動する

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ" を選択します。

▶ "DVD 設定" → " 上へ " を選択します。



DVD で決められた場面に移動します。

インタラクティブコンテンツ

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ（例：ビデオゲーム）が収録されていることがあります。

ビデオゲームでは、例えばアクションを選択または開始することによってイベントの順序を変更できます。

アクションなどの種類と数は DVD により異なります。

アクションを選択する

▶ コントロールスティックを上下または左右に倒します。

アクションを開始する

▶ コントロールスティックを押します。

メニューが表示され、最初の項目が反転表示されます。

▶ コントロールスティックを押します。

サウンドの調整

DVD ビデオでは、サウンドを調整できます（▷27 ページ）。

安全に使用するために……………… 248
基本機能……………………………… 248
音声コマンド………………………… 252

音声認識機能は、販売店オプションの HDD ナビゲーションシステムを装着することにより使用できます。

詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

安全に使用するために

⚠ **事故のおそれがあります**

音声認識の使用中は、注意力が散漫になり、事故の原因になります。

必ず周囲の状況に十分注意して音声認識を使用してください。

音声認識は、停車した状態で操作に十分慣れてから使用してください。

⚠ **事故のおそれがあります**

運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。

なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり、事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

⚠ **事故のおそれがあります**

緊急時など、緊張しているときは声質が変わり、音声が正しく認識されないことがあります。

緊急時は音声認識を使用しないでください。

基本機能

ご使用になる前に

音声認識を使用して以下のアプリケーションを操作することができます。

- FM、AM ラジオ / 交通情報
- 音楽 CD / DVD オーディオ / メモリーカード / ミュージックレジスター
- テレビ * / DVD ビデオ
- 電話
- ナビ

音声コマンドの種類

音声コマンドには、以下の２つの種類があります。

- 本機の各アプリケーションを呼び出す音声コマンド

  いつでも呼び出すことができる音声コマンドです。例えば「エフエム」を発声すると、FM ラジオに切り替わります。

- 選択しているアプリケーションで使用する音声コマンド

  選択しているアプリケーションでのみ利用できる音声コマンドです。例えば、ナビを選択しているときに「チュウシャジョウヒョウジ」を発声すると、駐車場が表示されます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

選択しているアプリケーションで使用する音声コマンドは、現在表示している画面や現在聞いている音楽ソースに対して適用されます。

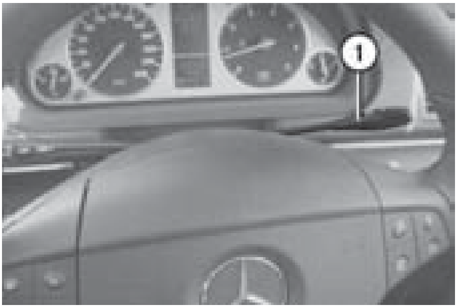
例えば、ナビ画面が表示されているときに FM ラジオを聞いている場合、音声認識を使って両方の操作を行なうことができます。

音声認識を使って別の機能を操作したい場合は、対応する音声コマンドを使ってその画面を呼び出してください。

ⓘ 音声コマンド（▷252 ページ～）には、すべての音声コマンドが記載されていない場合があります。ご了承ください。

ⓘ 記載されている音声コマンド（▷252 ページ～）は、予告なく変更される場合があります。

音声認識を使用する



B クラス
① 音声認識レバー

▶ 本機の電源をオンにします。

▶ ステアリングの音声認識レバー①を引きます。

オーディオなどが消音し､｢ピッ｣と鳴ったあと、音声認識がオンになります。

ヘルプ表示（▷251 ページ）を設定しているときは、ディスプレイに利用できる主な音声コマンドが表示されます。

▶ 音声コマンド（▷252 ページ～）を発声します。

音声コマンドが認識されなかったときは、「認識できませんでした。もう一度お話ください」と返答されたあと、「ピッ」と鳴って音声認識が再度オンになります。もう一度、音声コマンドを発声してください。

ⓘ 3 回連続で認識されなかったときは、音声認識は中止されます。

以下のときは、音声認識は使用できません。

- ハンズフリー通話をしているとき
- 「Mercedes-Benz」または「安全のためのご注意」の画面が表示されているとき
- 本機の電源がオフのとき
- ETC の音声案内が行なわれているとき

ⓘ 音声認識がオンになると、エアコンディショナーの送風量が自動的に下がります。

発声の注意

音声コマンドを発声するときは、以下のことに注意してください。

- 単語と単語の間には少し間隔を入れて、音声コマンドを発声してください。
- 存在していない、または誤った音声コマンドを発声したり、周囲の騒音の状態、声の質や大きさ（大きすぎる、小さすぎる）は認識されない要因となります。
- 周囲の雑音や同乗者の会話、発声者の声質や話し方などにより、認識できない場合があります。
- 音声は通常の運転姿勢で正しく認識されますので、顔をマイクに近付けたり、無理に大きな声で発声する必要はありません。
- 「ピッ」と鳴った後に、一息おいて発声すると認識されやすくなることがあります。
- 「ピッ」と鳴った後は、音声コマンドのみをはっきりと話し、" えーっと " などと言わないようにしてください。

音声認識を中止する

▶ 音声認識を開始して、「テイセイ」「モドル」「チガウ」のいずれかを発声します。

ℹ 音声コマンドで住所や電話番号などの詳細な入力をしていたときは、もう一度最初から入力できる状態になります。詳細な入力を行なっていなかったときは、音声認識が中止されます。

または

▶ コントロールパネルのいずれかのボタンを押します。

または

▶ 音声認識レバー①を前方に押します。

「音声認識を終了します」と音声案内が行なわれます。

ℹ 音声認識中に電話が着信したり、ETC の音声案内が行なわれたときは、音声認識が中止されます。

音声案内の音量を調節する

▶ 音声認識を開始します。

▶ 音声コマンドを発声します。

▶ 音声案内中に、ステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

または

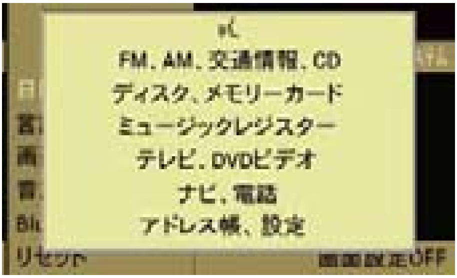
▶ 音声案内中に、コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。

音声認識設定

ヘルプ表示

音声認識を開始したときに、現在利用できる主な音声コマンドがディスプレイに表示されます。

詳しくは（▷33 ページ）をご覧ください。



表示例

ℹ 安全のため、走行中は一部の音声コマンドは表示されません。

音声認識学習

はじめて音声認識で操作するときや、音声認識率が低いと感じたときは、音声認識学習を行なうことで発声者の音声が認識されやすくなります。

詳しくは（▷33 ページ）をご覧ください。

ℹ 音声認識学習中は、電話や同乗者の会話などが入らないように注意してください。

音声コマンド

アプリケーションを切り替える音声コマンド

すべてのアプリケーションで利用できる音声コマンドです。他のアプリケーションから切り替えるときに使用します。

ℹ すでに表示されているアプリケーションに切り替えようとしたときは、「○○を表示中です」と返答されます。

機能	音声コマンド	返答
FM ラジオに切り替える	「エフエム」	「FM にします」
AM ラジオに切り替える	「エーエム」	「AM にします」
交通情報に切り替える	「コウツウジョウホウ」 「トラフィックインフォ」 「トラフィックインフォメーション」	「交通情報にします」
音楽ディスクに切り替える	「ディスク」	「ディスクにします」
		音楽ディスクにエラーがあるとき 「ディスクが読めません」
		音楽ディスクが挿入されていないとき 「ディスクが入っていません」
		ミュージックレジスターに録音中のとき 「この操作はできません」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」

機能	音声コマンド	返答
メモリーカードに切り替える	「メモリーカード」	「メモリーカードにします」
		メモリーカードが挿入されていないとき 「メモリーカードが入っていません」
		メモリーカードに音楽ファイルが入っていないとき 「メモリーカードが読めません」
		メモリーカードを読み込んでいるとき 「メモリーカードを読み込み中です」
		ミュージックレジスターに録音中のとき 「この操作はできません」
		メモリーカード以外の画面（ナビ画面など）を表示しているとき 「メモリーカード画面にします」
音楽 CD に切り替える	「シーディー」	「CD にします」
		音楽 CD が挿入されていないとき 「CD が入っていません」
		音楽 CD にエラーがあるとき 「ディスクが読めません」
		音楽 CD を読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		CD 以外の画面（ナビ画面など）を表示しているとき 「CD 画面にします」

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ミュージックレジスターに切り替える</td><td rowspan="5">「ミュージックレジスター」
「ハードディスク」</td><td>「ミュージックレジスターにします」</td></tr>
<tr><td>ミュージックレジスターに音楽ファイルが録音されていないとき
「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」</td></tr>
<tr><td>ミュージックレジスターを読み込んでいるとき
「ハードディスクを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>ミュージックレジスターに録音中のとき
「この操作はできません」</td></tr>
<tr><td>ミュージックレジスター以外の画面（ナビ画面など）を表示しているとき
「ミュージックレジスター画面にします」</td></tr>
<tr><td>テレビに切り替える</td><td>「テレビ」
「ティーブイ」</td><td>「テレビにします」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">DVD ビデオに切り替える</td><td rowspan="4">「ディーブイディービデオ」</td><td>「DVD ビデオにします」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクが挿入されていないとき
「DVD が入っていません」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクにエラーがあるとき
「ディスクが読めません」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき
「ディスクを読み込み中です」</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
DVD オーディオに切り替える	「ディーブイディーオーディオ」	「DVD オーディオにします」
		DVD オーディオディスクが挿入されていないとき 「DVD が入っていません」
		DVD オーディオディスクにエラーがあるとき 「ディスクが読めません」
		DVD オーディオディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		DVD オーディオ以外の画面（ナビ画面など）を表示しているとき 「DVD オーディオ画面にします」
電話画面に切り替える	「デンワ」 「テル」 「テルモード」 「ハンズフリー」 「テレフォン」	「電話画面にします」
ナビの現在地画面に切り替える	「ナビ」 「ゲンザイチ」 「ナビゲーション」	「現在地にします」
		ナビゲーションシステム起動直後のとき 「現在地を表示できません」

機能	音声コマンド	返答
FM 多重画面に切り替える	「エフエムタジュウ」 「エフエムマルチ」 「エフエムモジタジュウ」 「モジタジュウ」 「ミエルラジオ」	「FM 多重画面にします」 **FM 多重画面に切り替えできないとき** 「FM 多重画面にできません」
アドレス帳画面に切り替える	「アドレスチョウ」 「アドレスブック」	「アドレス帳画面にします」
オーディオ外部入力に切り替える	「オーディオガイブニュウリョク」 「オンセイガイブニュウリョク」 「オーディオエーユーエックス」 「ガイブニュウリョク」 「エーユーエックス」	「オーディオ外部入力にします」 **オーディオ外部入力以外の画面（ナビ画面など）を表示しているとき** 「オーディオ外部入力画面にします」
設定画面に切り替える	「セッテイ」 「システム」	「設定画面にします」
オーディオ画面に切り替える	「オーディオ」	「オーディオ画面にします」
テレビ映像画面に切り替える（HDD ナビゲーションシステム装備車）	「テレビエイゾウ」 「ティーブイエイゾウ」 「ビデオ」	「テレビ / 映像画面にします」
映像画面に切り替える（HDD ナビゲーションシステム非装備車）	「エイゾウ」 「ビデオ」	「映像画面にします」

各アプリケーション内で使用する音声コマンド

AM、FM ラジオ

機能	音声コマンド	返答
FM ラジオから AM ラジオに切り替える	「エーエム」	「AM にします」
AM ラジオのときに、AM1 または AM2 に切り替える	「エーエム」	「バンドを切り替えます」
AM ラジオから FM ラジオに切り替える	「エフエム」	「FM にします」
FM ラジオのときに、FM1 または FM2 に切り替える	「エフエム」	「バンドを切り替えます」
放送局のオートプリセットを開始する	「オートプリセット」	「オートプリセットを開始します」 ℹ オートプリセットが終わると、「オートプリセットが終了しました」と返答されます。
		交通情報を受信しているとき 「オートプリセットできません」
		周波数のサーチまたはプリセットを実行しているときや、ラジオモード以外のとき 「オートプリセットできません」
選択しているバンドでプリセット選局をする	「プリセットニ」 ℹ 0 ～ 9 のプリセット番号を選択できます。	「プリセット 2 にします」
		発声した番号に放送局がプリセットされていないとき 「プリセット 2 は登録されていません」
		0 ～ 9 以外の番号（10 ～ 99）を発声したとき 「プリセット 10 は存在しません 0 から 9 までの数字をお話しください」

機能	音声コマンド	返答
高い周波数の放送局をサーチする	「シークアップ」	「シークアップを開始します」
		放送局を受信できないときや、ラジオモード以外のとき 「シークアップできません」
低い周波数の放送局をサーチする	「シークダウン」	「シークダウンを開始します」
		放送局を受信できないときや、ラジオモード以外のとき 「シークダウンできません」

音楽 CD / DVD オーディオ / ミュージックレジスター * / メモリーカード

機能	音声コマンド	返答
次の曲を再生する	「トラックアップ」 「ツギノトラック」 「ファイルアップ」 「ツギノファイル」	「次のトラックにします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ハードディスクを読み込んでいるとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクを読み込み中です」
		メモリーカードを読み込んでいるとき（メモリーカード） 「メモリーカードを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		メモリーカードがセットされていないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが入っていません」
		再生を停止しているとき（DVD オーディオ） 「再生停止中です」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		メモリーカードが読み込み不可能なフォーマットのとき、または音楽ファイルがないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが読めません」
		音楽ファイルがないとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」
		その他のエラーのとき 「次のトラックにできません」

* オプションや仕様により、異なる装備です。

機能	音声コマンド	返答
前の曲を再生する	「トラックダウン」 「マエノトラック」 「ファイルダウン」 「マエノファイル」	「前のトラックにします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ハードディスクを読み込んでいるとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクを読み込み中です」
		メモリーカードを読み込んでいるとき（メモリーカード） 「メモリーカードを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		メモリーカードがセットされていないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが入っていません」
		再生を停止しているとき（DVD オーディオ） 「再生停止中です」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		メモリーカードが読み込み不可能なフォーマットのとき、または音楽ファイルがないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが読めません」
		音楽ファイルがないとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」
		その他のエラーのとき 「前のトラックにできません」

機能	音声コマンド	返答
トラック番号を選択して再生する	「トラックニ」 「ファイルニ」 i 各ディスクの利用可能なトラック番号を選択することができます。 i トラック／ファイル番号の発声例 99 の場合：「キュージュウキュー」	「トラック 2 にします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ハードディスクを読み込んでいるとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクを読み込み中です」
		メモリーカードを読み込んでいるとき（メモリーカード） 「メモリーカードを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		メモリーカードディスクがセットされていないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが入っていません」
		再生を停止しているとき（DVD オーディオ） 「再生停止中です」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		読み込み不可能な音楽フォーマットのとき、または音楽ファイルがないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが読めません」
		音楽ファイルがないとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」
		その他のエラーのとき 「トラック 2 にできません」

機能	音声コマンド	返答
前のグループを選択して、再生する ⓘ DVD オーディオの再生中に利用できます。	「グループダウン」 「マエノグループ」 ⓘ 圧縮オーディオ（MP3/WMA）/ミュージックレジスターの再生中は、「アルバムダウン」「マエノアルバム」または「フォルダダウン」「マエノフォルダ」として動作します。	「前のグループにします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		再生を停止しているとき 「再生停止中です」
前のアルバムを選択して、再生する ⓘ ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「アルバムダウン」 「マエノアルバム」 ⓘ DVD オーディオ/圧縮オーディオ（MP3/WMA）の再生中は、「グループダウン」「マエノグループ」または「フォルダダウン」「マエノフォルダ」として動作します。	「前のアルバムにします」
		アルバムが 1 つしかないとき 「前のアルバムにできません」
		ハードディスクを読み込んでいるとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクを読み込み中です」
		音楽ファイルがないとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="8">前のフォルダを選択して、再生する
ℹ 圧縮オーディオ（ＭＰ３／WMA）の再生中に利用できます。</td><td rowspan="8">「フォルダダウン」
「マエノフォルダ」
ℹ DVD オーディオ／ミュージックレジスターの再生中は、「グループダウン」「マエノグループ」または「アルバムダウン」「マエノアルバム」として動作します。</td><td>「前のフォルダにします」</td></tr>
<tr><td>フォルダが 1 つしかないとき
「前のフォルダにできません」</td></tr>
<tr><td>音楽ディスクを読み込んでいるとき
「ディスクを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>メモリーカードを読み込んでいるとき（メモリーカード）
「メモリーカードを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>音楽ディスクがセットされていないとき
「ディスクが入っていません」</td></tr>
<tr><td>メモリーカードセットされていないとき（メモリーカード）
「メモリーカードが入っていません」</td></tr>
<tr><td>音楽ディスクエラーのとき
「ディスクが読めません」</td></tr>
<tr><td>メモリーカードが読み込み不可能な音楽フォーマットのとき、または音楽ファイルがないとき（メモリーカード）
「メモリーカードが読みません」</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
次のグループを選択して、再生する ℹ DVD オーディオの再生中に利用できます。	「グループアップ」 「ツギノグループ」 ℹ 圧縮オーディオ（MP3/WMA）/ミュージックレジスターの再生中は、「アルバムアップ」「ツギノアルバム」または「フォルダアップ」「ツギノフォルダ」として動作します。	「次のグループにします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		再生を停止しているとき） 「再生停止中です」
次のアルバムを選択して、再生する ℹ ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「アルバムアップ」 「ツギノアルバム」 ℹ DVD オーディオ/圧縮オーディオ（MP3/WMA）の再生中は、「グループアップ」「ツギノグループ」または「フォルダアップ」「ツギノフォルダ」として動作します。	「次のアルバムにします」
		アルバムが 1 つしかないとき 「次のアルバムにできません」
		ハードディスクを読み込んでいるとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクを読み込み中です」
		音楽ファイルがないとき（ミュージックレジスター） 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」

機能	音声コマンド	返答
次のフォルダを選択して、再生する ℹ 圧縮オーディオ（ＭＰ３／WMA）の再生中に利用できます。	「フォルダアップ」 「ツギノフォルダ」 ℹ DVDオーディオ／ミュージックレジスターの再生中は、「グループアップ」「ツギノグループ」または「アルバムアップ」「ツギノアルバム」として動作します。	「次のフォルダにします」
		フォルダが 1 つしかないとき 「次のフォルダにできません」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		メモリーカードを読み込んでいるとき（メモリーカード） 「メモリーカードを読み込み中です」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		メモリーカードがセットされていないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが入っていません」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		読み込み不可能な音楽フォーマットのとき、または音楽ファイルがないとき（メモリーカード） 「メモリーカードが読みません」

機能	音声コマンド	返答
グループ番号を選択して再生する ℹ DVD オーディオの再生中に利用できます。	「グループ二」 ℹ 各ディスクの利用可能なトラック番号（1 ～ 9）を選択することができます。	「グループ 2 にします」
		音楽ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		音楽ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		音楽ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		音楽を停止しているとき 「再生停止中です」
		指定したグループ番号がないとき 「グループ 2 にできません」

テレビ * / DVD ビデオ

テレビの音声コマンド *

機能	音声コマンド	返答
放送局のオートプリセットを開始する	「オートプリセット」	「オートプリセットを開始します」 ℹ プリセットが終わると、「オートプリセットが終了しました」と返答されます。
		周波数のサーチまたはプリセットを実行しているときや、テレビモード以外のとき 「オートプリセットできません」
放送局のプリセット選局をする	「プリセットニ」 ℹ 1 ～ 12 のプリセット番号を選択できます。	「プリセット 2 にします」
		発声した番号に放送局がプリセットされていないとき 「プリセット 2 は登録されていません」
		1 ～ 12 以外の番号（13 ～ 99）を発声したとき 「プリセット 13 は存在しません 1 から 12 までの数字をお話しください」
高い周波数の放送局をサーチする	「シークアップ」	「シークアップを開始します」
		放送局を受信できないときや、テレビモード以外のとき 「シークアップできません」
低い周波数の放送局をサーチする	「シークダウン」	「シークダウンを開始します」
		放送局を受信できないときや、テレビモード以外のとき 「シークダウンできません」
テレビ 1 またはテレビ 2 に切り替える	「テレビ」 「ティーブイ」	「バンドを切り替えます」

* オプションや仕様により、異なる装備です。

DVD ビデオの音声コマンド

機能	音声コマンド	返答
次のチャプターの再生を開始する	「チャプターアップ」 「ツギノチャプター」 「ツギノショウ」	「次のチャプターにします」
		DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		DVD ビデオディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		再生を停止しているとき 「再生停止中です」
		DVD ビデオが再生されていないとき 「次のチャプターにできません」
前のチャプターの再生を開始する	「チャプターダウン」 「マエノチャプター」 「マエノショウ」	「前のチャプターにします」
		DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		DVD ビデオディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		再生を停止しているとき 「再生停止中です」
		DVD ビデオが再生されていないとき 「前のチャプターにできません」

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="6">チャプターを選択して再生する</td><td rowspan="6">「チャプターニ」
ⓘ 再生可能なチャプター番号（1 ～ 99）を選択することができます。</td><td>「チャプター 2 にします」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき
「ディスクを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクがセットされていないとき
「ディスクが入っていません」</td></tr>
<tr><td>ディスクエラーのとき
「ディスクが読めません」</td></tr>
<tr><td>再生を停止しているとき
「再生停止中です」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオが再生されていないとき
「チャプター 2 にできません」</td></tr>
<tr><td rowspan="6">次のタイトルを再生する</td><td rowspan="6">「タイトルアップ」
「ツギノタイトル」</td><td>「次のタイトルにします」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき
「ディスクを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオディスクがセットされていないとき
「ディスクが入っていません」</td></tr>
<tr><td>ディスクエラーのとき
「ディスクが読めません」</td></tr>
<tr><td>再生を停止しているとき
「再生停止中です」</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオが再生されていないとき
「次のタイトルにできません」</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
前のタイトルを再生する	「タイトルダウン」 「マエノタイトル」	「前のタイトルにします」
		DVD ビデオディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		DVD ビデオディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		再生を停止しているとき 「再生停止中です」
		DVD ビデオが再生されていないとき 「前のタイトルにできません」

電話

ℹ 通話中に音声認識レバーを引くと、ディスプレイに " 通話中に音声認識機能は使用できません " と表示されます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr><td rowspan="2">電話番号から電話を発信する</td><td rowspan="2">「デンワハッシン」
「ハッシン」
「ダイヤル」
「デンワヲカケル」
「デンワヲスル」
「デンワスル」</td><td>「発信先をお話ください」
▶電話番号を発声します。
ℹ 電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに音声案内が繰り返されます。
電話番号は、十、百、千などの桁は付けずに発声してください。
（例）「８６００」の場合：
正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」誤「ハッセンロッピャク」
電話番号の数字の読み方の一覧は（▷296 ページ）をご覧ください。</td><td>「ダイヤルまたは訂正とお話しください」
▶発信するときは「ハッシン」または「ダイヤル」「デンワヲカケル」「デンワヲスル」「デンワスル」「カケル」を発声します。
「xxx にダイヤルします」と返答され、発信を開始します。
▶電話番号を訂正するときは「テイセイ」または「サイニュウリョク」「ヤリナオシ」のいずれかを発声します。
電話番号を改めて発声します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">携帯電話の準備が整っていないとき
「ただいま電話をかけることができません」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr>
<td rowspan="6">アドレス帳の名前から電話を発信する

ℹ アドレス帳で登録した登録名（よみがな）によっては、誤って認識され、電話の発信ができないことがあります。</td>
<td rowspan="6">「デンワハッシン」
「ハッシン」
「ダイヤル」
「デンワヲカケル」
「デンワヲスル」
「デンワスル」</td>
<td rowspan="5">「発信先をお話ください」
▶アドレス帳に登録されている名前を発声します。</td>
<td>「xxx にダイヤルします」</td>
</tr>
<tr><td>発声した名前に複数の電話番号が登録されているとき
「xxx には複数の電話番号があります。1 件目は○○です。次またはダイヤルとお話しください」
▶読み上げた番号に発信するときは「ハッシン」または「ダイヤル」「デンワヲカケル」「デンワヲスル」「デンワスル」「カケル」を発声します。
▶次の番号を読み上げるときは「ツギ」を発声します。
▶前に読み上げた番号に戻るときは「マエ」を発声します。</td></tr>
<tr><td>発声した名前のアドレス帳に複数の電話番号が登録されているとき
「xxx は複数登録されています。xxx へは番号でおかけください」</td></tr>
<tr><td>発声した名前のアドレス帳に電話番号が登録されていないとき
「xxx の電話番号が登録されていません」</td></tr>
<tr><td>発声した名前にファックス番号だけが登録されているとき
「xxx には FAX 番号のみ登録されています」</td></tr>
<tr><td colspan="2">携帯電話の準備が整っていないとき
「ただいま電話をかけることができません」</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
リダイヤルする	「リダイヤル」	「リダイヤルします」
		発信の履歴が残っていないとき 「リダイヤル情報がありません」
		携帯電話の準備が整っていないとき 「ただいま電話をかけることができません」

ナビ *

ナビ以外の画面を表示しているときは、ナビの音声コマンドを発声しても「この画面では操作できません。ナビ画面に切り替えてください」と返答されます。

地図の表示画面を変更する

機能	音声コマンド	返答
地図向きをノースアップまたはヘディングアップに変える	「チズムキ」	「地図の向きを変更します」 →ノースアップのときはヘディングアップに、ヘディングアップのときはノースアップに変更されます。
		画面が 3D 表示のとき 「3D 表示では地図向きの変更はできません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」

* オプションや仕様により、異なる装備です。

機能	音声コマンド	返答
地図向きをノースアップに変える	「ノースアップ」 「キタキジュン」	「地図表示をノースアップにします」
		画面が 3D 表示のとき 「3D 表示では地図向きの変更はできません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」
地図向きをヘディングアップに変える	「ヘディングアップ」 「ジシャキジュン」	「地図表示をヘディングアップにします」
		画面が 3D 表示のとき 「3D 表示では地図向きの変更はできません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」
地図の縮尺を 1 段階広域な表示に変える	「コウイキ」 「シュクショウ」 「ズームアウト」	「広域にします」
		これ以上広域の縮尺で表示できないとき 「これ以上広域の縮尺では表示できません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」
地図の縮図を 1 段階詳細な表示に変える	「ショウサイ」 「カクダイ」 「ズームイン」	「詳細にします」
		これ以上詳細な縮尺で表示できないとき 「これ以上詳細の縮尺では表示できません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」

機能	音声コマンド	返答
3D 表示に切り替える	「スリーディーヒョウジ」 「スリーディー」 「サンディー」 「スリーディーマップ」	「3D 表示にします」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」
2D 表示に切り替える	「スリーディーヒョウジカイジョ」 「ツーディーヒョウジ」 「ニーディーヒョウジ」 「ツーディーマップ」 「ニーディーマップ」	「2D 表示にします」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」

自宅（直接検索）

機能	音声コマンド	返答
自宅を目的地に設定する	「ジタクニカエル」 「ジタクヘカエル」 「ジタク」 「ウチニカエル」	「自宅を目的地に設定します」 →自宅が目的地に設定され、全ルート図が表示されます。
		自宅が設定されていないとき 「自宅が設定されていません。自宅を設定してからお使いください」

地図検索

機能	音声コマンド	返答	
施設から地図を検索する	「シセツ」 「シセツヲサガス」 「シセツケンサク」 「ピーオーアイ」	「都道府県名と施設名をお話しください」 ▶ 以下のように都道府県名と施設を発声します。 例：「トウキョウト ノ トウキョウエキ」	「(例) 東京都の東京駅を表示します」 →地図が表示されます。
施設のジャンルから地図を検索する	「ジャンル」 「ジャンルデサガス」 「ジャンルケンサク」	「ジャンルをお話しください」 ▶ 以下のようにジャンルを発声します。 例：「クウコウ」 例：「ゴルフジョウ」 ℹ 認識できる施設ジャンルの一覧は (▷291 ページ) をご覧ください。	「(例) 空港を検索します。都道府県名をお話しください」 ▶ 都道府県名を発声します。 ▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。 「(例) 東京都にある空港の名称をお話しください」 ▶ 施設の名称を発声します。 →地図が表示されます。 ℹ 施設が地図データに収録されていないときは、「xx にある xxxx の情報はありません」と返答されます。

機能	音声コマンド	返答	
施設の電話番号から地図を検索する	「デンワバンゴウケンサク」 「デンワバンゴウ」	「電話番号をお話しください」 ▶10 桁（最大 15 桁）の電話番号を発声します。 ℹ 電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに音声案内が繰り返されます。 電話番号は、十、百、千などの桁情報は付けずに発声してください。 （例）「８６００」の場合： 正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」誤「ハッセンロッピャク」 電話番号の数字の読み方の一覧は（▷296 ページ）をご覧ください。	「続きの番号または検索、訂正とお話しください」 ▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」を発声します。 →該当施設の地図が表示されます。 ℹ 電話番号が地図データに収録されていないときや、施設を特定できないときは、「xxx を検索します。該当施設が見つかりませんでした。代表地点を表示します」と返答され、電話番号の代表地点が特定可能な場合は、その地点が表示されます。 ▶ 番号を訂正するときは、「テイセイ」と発声します。 ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。

機能	音声コマンド	返答	
郵便番号から地図を検索する	「ユウビンバンゴウケンサク」 「ユウビンバンゴウ」	「郵便番号をお話しください」 ▶7 桁の郵便番号を発声します。 郵便番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに、音声案内が繰り返されます。 郵便番号は、十、百、千などの桁情報は付けずに発声してください。 （例）「８６００」の場合： 正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」誤「ハッセンロッピャク」 郵便番号の数字の読み方の一覧は（▷296 ページ）をご覧ください。	「検索、または訂正とお話しください」 ▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」と発声します。 →地図が表示されます。 郵便番号が地図データに収録されていないときや、施設を特定できないときは、「xxx を検索します。入力された郵便番号が見つかりませんでした」と返答されます。 ▶ 番号を訂正するときは、「テイセイ」と発声します。 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」と発声します。「入力された郵便番号を削除します。郵便番号をお話しください」の返答の後に郵便番号を再度発声します。

ランドマークを表示する

機能	音声コマンド	返答
地図上にランドマークを表示する ℹ 地図の縮尺が500m表示以上のときは、ランドマークは表示されません。	「xxxx ヒョウジ」 "xxxx" には以下の施設名が入ります。 • レストラン • コンビニ • ガソリンスタンド • 駐車場 • 銀行 • メルセデス・ベンツ	「xxxx を表示します」
		地図の縮尺が 500m 以上になっているとき 「xxxx を表示します。ただしこの縮尺では表示されません」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」
ランドマークの表示を解除する	「ピーオーアイアイコンヒヒョウジ」 「ピーオーアイアイコンヒョウジカイジョ」	「POI アイコンの表示を解除します」
		現在地画面または地図スクロール画面が表示されていないとき 「この画面では操作できません」

目的地を設定する

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr>
<td rowspan="2">目的地を設定する</td>
<td rowspan="2">「モクテキチセッテイ」
「モクテキチヲセッテイ」</td>
<td rowspan="2">「都道府県名と施設名または住所をお話しください」
▶ 以下のように住所または都道府県名と施設名を発声します。
住所：
• 都道府県名
• 都道府県名と市区町村名
• 都道府県名と市区町村名と大字名
施設名：
• 都道府県名と施設名（例：「トウキョウトノトウキョウエキ」）
▶「xxx まで案内します」と返答され、全ルート図が表示されます。</td>
<td>「目的地設定、訂正とお話しください」
▶「モクテキチセッテイ」または「モクテキチヲセッテイ」を発声します。
→「xxx まで案内します」と返答され、全ルート図が表示されます。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。「入力された住所を削除します。都道府県名と施設名、または住所をお話しください」の返答の後に再度発声します。</td>
</tr>
<tr>
<td>「続きの住所または目的地設定、訂正とお話しください」
▶ 住所の続きを入力するときは、住所を発声します。
▶「モクテキチセッテイ」または「モクテキチヲセッテイ」を発声します。
→「xxx まで案内します」と返答され、全ルート図が表示されます。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。「入力された住所を削除します。都道府県名と施設名、または住所をお話しください」の返答の後に再度発声します。</td>
</tr>
</table>

通過点を設定する

機能	音声コマンド	返答
通過点（1 ～ 4）を設定する ℹ この音声コマンドは目的地が設定され、ルート案内を行なっているときに使用できます。 ℹ この音声コマンドは現在地画面から、地図スクロール画面で地図を移動しているときに使用できます。	例：一つ目の通過点を設定するとき 「ツウカテンイチセッテイ」 「ツウカテンイチニセッテイ」 「ケイユチイチセッテイ」 「ケイユチイチニセッテイ」	「通過点 1 に設定します」 **設定しようとする通過点の番号より前の通過点番号に設定がない、または通過点の番号を既に通り過ぎたとき** 「通過点 1 を設定できません」 **目的地が設定されているが、ルート案内が行なわれていないとき** 「ルート案内中ではありません」 **目的地が設定されていないとき** 「目的地が設定されていません。目的地を設定しなおしてからお使いください」
通過点（1 ～ 4）を追加する ℹ この音声コマンドは目的地が設定され、ルート案内を行なっているときに使用できます。 ℹ この音声コマンドは現在地画面から、地図スクロール画面で地図を移動しているときに使用できます。	例：通過点の二つ目を追加するとき 「ツウカテンニツイカ」 「ツウカテンニニツイカ」 「ケイユチニツイカ」 「ケイユチニニツイカ」	「通過点 2 に追加します」 **追加しようとする通過点の番号より前の通過点番号が存在しないとき、または追加する通過点の番号を既に通りすぎたとき** 「通過点 2 を追加できません」 **目的地が設定されているが、ルート案内が行なわれていないとき** 「ルート案内中ではありません」 **目的地が設定されていないとき** 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」

機能	音声コマンド	返答
通過点（1 ～ 4）を削除する	例：通過点の二つ目を削除するとき 「ツウカテンニサクジョ」 「ツウカテンニヲサクジョ」 「ツウカテンニヲサクジョスル」 「ケイユチニサクジョ」 「ケイユチニヲサクジョ」 「ケイユチニヲサクジョスル」	「通過点 2 を削除します」
		削除しようとする通過点の番号が存在しない 「通過点がありません」
		削除しようとする通過点の番号を既に通り過ぎたとき 「通過点は通過済みです」
		目的地が設定されているが、ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定しなおしてからお使いください」

ルートを再探索する

機能	音声コマンド	返答
推奨するルートを再探索する	「スイショウルート」 「スイショウ」	「推奨ルートで再探索します」
		すでに推奨ルートが設定されているとき 「現在のルートは推奨ルートです」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
一般道を優先したルートを再探索する	「イッパンドウユウセン」 「イッパン」 「イッパンルート」 「イッパンユウセン」	「一般道路を優先して再検索します」
		すでに一般道路優先が設定されているとき 「現在のルートは一般道路優先です」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
道幅の広い道路を優先したルートを再探索する	「ミチハバ」 「ミチハバルート」 「ミチハバユウセン」	「道幅を優先して再探索します」
		すでに道幅優先が設定されているとき 「現在のルートは道幅優先です」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
距離優先でルートを再探索する	「キョリユウセン」 「キョリ」 「キョリルート」	「距離優先で再探索します」
		すでに距離優先が設定されているとき 「現在のルートは距離優先です」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」

機能	音声コマンド	返答
別ルートの探索をする	「ベツルート」 「ベツルートタンサク」	「別ルートで再探索します」
		すでに別ルートが設定されているとき 「現在のルートは別ルートです」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
現在選択されているルートを再探索する	「リルート」 「サイタンサク」 「ルートサイケイサン」	「目的地までの再探索をします」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
迂回ルートを探索する	「ウカイタンサク」 「ゼンポウウカイ」 「ウカイルート」	「迂回探索をします」
		案内ルートから外れているとき 「案内ルート上ではありません」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」

ルート案内の中止 / 再開

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ルート案内を中止する</td><td rowspan="4">「アンナイチュウシ」
「アンナイストップ」
「ガイドストップ」
「ガイドキャンセル」</td><td>「ルート案内を中止します」</td></tr>
<tr><td>ルート案内が行なわれていないとき
「ルート案内中ではありません」</td></tr>
<tr><td>ルート探索中のとき
「ルート探索中です」</td></tr>
<tr><td>目的地が設定されていないとき
「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ルート案内を再開する</td><td rowspan="4">「アンナイサイカイ」
「アンナイカイシ」
「ガイドサイカイ」</td><td>「ルート案内を再開します」</td></tr>
<tr><td>ルート案内が行なわれているとき
「ルート案内中です」</td></tr>
<tr><td>ルート探索中のとき
「ルート探索中です」</td></tr>
<tr><td>目的地が設定されていないとき
「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」</td></tr>
</table>

ルート案内中の表示切り替え

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="2">全ルート図を表示する</td><td rowspan="2">「ルートゼンタイ」
「ゼンルートヒョウジ」</td><td>「全ルート図を表示します」</td></tr>
<tr><td>ルート案内が行なわれていないとき
「ルート案内中でないため表示できません」
以下のときも、同じ返答が行なわれます。
• 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない
• 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
分岐点案内図の表示を設定する	「ブンキテンアンナイズヒョウジ」 「ブンキテンアンナイヒョウジ」	「分岐点案内の表示設定をオンにします」
分岐点案内図の表示を解除する	「ブンキテンアンナイズヒョウジカイジョ」 「ブンキテンアンナイヒョウジカイジョ」	「分岐点案内図の表示設定を解除します」
高速案内図の表示を設定する	「コウソクアンナイズヒョウジ」 「コウソクアンナイヒョウジ」 ⓘ 高速道路または都市高速道を走行中で、ルート案内中に設定できます。	「高速案内図の表示設定をオンにします」
高速案内図の表示を解除する	「コウソクアンナイズヒョウジカイジョ」 「コウソクアンナイヒョウジカイジョ」 ⓘ 高速道路または都市高速道を走行中で、ルート案内中に設定できます。	「高速案内図の表示設定を解除します」

メモリ地点に登録する

機能	音声コマンド	返答
メモリ地点を登録する	「メモリーチテン」 「チテントウロク」	「メモリ地点に登録します」 **メモリ地点が上限まで登録されている** 「メモリ地点がいっぱいです」

VICS 表示

機能	音声コマンド	返答
地図画面に VICS 高速道情報を表示する	「ビックスコウソクドウヒョウジ」	「VICS 情報による高速道路の表示設定を ON にします」
		2km 表示以上の縮尺で拡大表示しているとき 「VICS 情報による高速道路の表示設定を ON にします。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 高速道路情報の表示を解除する	「ビックスコウソクドウヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による高速道路の表示設定を解除します」
地図画面に VICS 一般道情報を表示する	「ビックスイッパンドウヒョウジ」	「VICS 情報による一般道の表示設定を ON にします」
		2km 表示以上の縮尺で拡大表示しているとき 「VICS 情報による一般道の表示設定を ON にします。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 一般道情報の表示を解除する	「ビックスイッパンドウヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による一般道の表示設定を解除します」
地図画面に渋滞・混雑線を表示する	「ジュウタイコンザツヒョウジ」 「ジュウタイコンザツセンヒョウジ」	「VICS 情報による渋滞混雑線の表示設定を ON にします」
渋滞・混雑線の表示を解除する	「ジュウタイコンザツヒョウジカイジョ」 「ジュウタイコンザツセンヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による渋滞混雑線の表示設定を解除します」
順調線を表示する	「スイテイルミチヲヒョウジ」 「ジュンチョウセンヒョウジ」	「VICS 情報による順調線の表示設定を ON します」

機能	音声コマンド	返答
順調線の表示を解除する	「スイテイルミチヒョウジサクジョ」 「スイテイルミチヒョウジカイジョ」 「ジュンチョウセンヒョウジサクジョ」 「ジュンチョウセンヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による順調線の表示設定を解除します」
規制情報を表示する	「キセイジョウホウヒョウジ」	「VICS 情報による規制情報の表示設定を ON にします」
規制情報の表示を解除する	「キセイジョウホウヒョウジサクジョ」 「キセイジョウホウヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による規制情報の表示設定を解除します」

その他の音声コマンド

機能	音声コマンド	返答
目的地の到着予想時刻を確認する	「イツ ツキマスカ」 「イツ ツクノ」 「トウチャクヨソウジコク」	「目的地までの到着予想時刻は（午前/午後）xx 時（ちょうど）/ xx 分です」 ℹ システム設定の時刻表示設定が 24 時間表示の場合は、「目的地までの到着予想時刻は xx 時（ちょうど）/xx 分です」と返答されます。
		案内ルートを外れているとき 「案内ルートから外れているため目的地までの到着予想時刻が計算できません」
		ルート案内情報が取得できないとき 「目的地までの到着予想時刻が計算できません」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」 以下のときも同じ返答が行なわれます。 • 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない • 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません」

機能	音声コマンド	返答
現在走行中の道路を確認する	「イマハシッテイルドウロハ」 「ゲンザイノドウロ」	**都市間の高速道路、都市高速または有料道路を走行しているとき** 「現在 xxx を走行中です」
		国道または県道を走行しているとき 「現在 xx、xxx 号線を走行中です」
		その他の一般道を走行しているとき 「現在一般道を走行中です」
		その他の道路を走行しているとき 「走行している道路名称がわかりませんでした」
日付を確認する	「キョウワナンニチ」	「今日は xx 月 xx 日 x 曜日です」
時間を確認する	「イマナンジ」	「ただ今（午前 / 午後）xx 時（ちょうど）/ xx 分です」 ⓘ システム設定の時刻表示設定が 24 時間表示の場合は、「ただいま、xx 時（ちょうど）xx 分です」と返答されます。

ヘルプ機能

機能	音声コマンド	返答
アプリケーションを切り替えるための音声コマンドを表示する ⓘ "ｼｽﾃﾑ"→"システム"→"音声認識設定"で"ヘルプ表示"を解除しているときは、ヘルプ機能は表示されません。	「ヘルプ」	「機能を切り替えるためのコマンドを表示します。各機能で使える代表的なコマンドは音声認識中にヘルプ表示が出ます」

音声コマンドの訂正

機能	音声コマンド	返答
入力した音声コマンドを訂正する	「テイセイ」 「モドル」 「チガウ」	「訂正します」
		入力している音声コマンドがないとき 「音声認識を終了します」

施設ジャンルの音声コマンド一覧

ℹ 太字で示してあるジャンルは、目的地設定または施設検索時に、都道府県名に続けて施設の名称を発声することにより、地図に位置を表示したり、目的地に設定できます。

ジャンル		音声コマンド
買い物	スーパーマーケット	スーパーマーケット / スーパー
	デパート	デパート / ヒャッカテン
	ホームセンター	ホームセンター
	ディスカウントストア	ディスカウントストア
	書店	ショテン / ホンヤ
	CD・ビデオレンタル店	シーディービデオレンタル / シーディービデオレンタルテン / シーディーレンタル / ビデオレンタル / レンタルシーディー
	家電店	カデン / カデンテン / デンキテン / デンキヤ
	スポーツ用品店	スポーツヨウヒン / スポーツヨウヒンテン

ジャンル		音声コマンド
車	**メルセデスベンツ**	メルセデスベンツ / メルセデスベンツサービス / エムビーサービス / ベンツサービス
	カー用品店	カーヨーヒンテン / カーショップ / カーヨウヒン
	駐車場	チュウシャジョウ
宿泊	**ホテル**	ホテル
	ビジネスホテル	ビジネスホテル
	旅館	リョカン
	ペンション	ペンション
	公的の宿	コウキョウノヤド / コウテキシュクハクシセツ
遊ぶ	**ゴルフ場**	ゴルフジョウ / ゴルフ
	ゴルフ練習場	ゴルフレンシュウジョウ
	テニスコート	テニスコート
	スキー場	スキージョウ
	スケート場	スケートジョウ / スケートリンク
	プール	プール
	海水浴場・海岸	カイスイヨクジョウ カイガン / カイスイヨクジョウ / カイガン
	ボーリング場	ボーリングジョウ
	陸上競技場	リクジョウキョウギジョウ
	野球場	ヤキュウジョウ
	体育館	タイイクカン
	サーキット場	サーキットジョウ
	キャンプ場	キャンプジョウ

ジャンル		音声コマンド
遊ぶ	マリーナ・ヨットハーバー	マリーナ ヨットハーバー / マリーナ / ヨットハーバー
	遊園地	ユウエンチ
	水族館	スイゾクカン
	動物園	ドウブツエン
	植物園	ショクブツエン
	映画館	エイガカン
	ゲームセンター	ゲームセンター / ゲーセン
	競馬場・WINS（ウインズ）	ケイバジョウ ウインズ / ケイバジョウ / ウインズ
	競艇・競輪・オートレース	キョウテイ ケイリン オートレース / ケイリンジョウ / キョウテイジョウ / オートレースジョウ
	温泉	オンセン
	マウンテンバイクコース	マウンテンバイクコース
食べる	ファミリーレストラン	ファミリーレストラン / ファミレス
	レストラン	レストラン
	ファーストフード店	ファーストフード

ジャンル		音声コマンド
公共	警察署	ケイサツショ
	役所	ヤクショ
	図書館	トショカン
	保健所	ホケンジョ
	郵便局	ユウビンキョク
	病院	ビョウイン
交通	**インターチェンジ**	インターチェンジ / インター / アイシー
	サービスエリア・パーキングエリア	サービスエリア パーキングエリア / パーキングエリア サービスエリア / サービスエリア / パーキングエリア / エスエー / ピーエー
	JR 駅	ジェイアールエキ
	私鉄駅	シテツエキ
	地下鉄駅	チカテツエキ
	空港	クウコウ
	港	ミナト
	フェリーターミナル	フェリーターミナル / フェリー
	道の駅	ミチノエキ

ジャンル		音声コマンド
文化	**ホール・劇場**	ホール ゲキジョウ / ホール / ゲキジョウ
	美術館	ビジュツカン
	博物館	ハクブツカン
	名所・旧跡	メイショ キュウセキ / メイショ / キュウセキ
	城・城跡	シロ シロアト / シロ / シロアト / ジョウセキ
	公園・緑地	コウエン リョクチ / コウエン / リョクチ
観光	**ビューポイント**	ビューポイント
	花の名所	ハナノメイショ
	祭事	サイジ / マツリ
その他	サウナ・健康センター	サウナ ケンコウセンター / サウナ / ケンコウセンター

数字の読み方（電話番号、郵便番号）

0	ゼロ、レイ、マル
1	イチ
2	ニ / ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ / ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー

数字の読み方（丁目、番地、号）

1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー
十の桁	ジュウ
百の桁	ヒャク、ビャク、ピャク
千の桁	セン、ゼン

※この取扱説明書の内容は、2011 年 1 月現在のものです。

総輸入元
メルセデス・ベンツ日本株式会社
〒106-8506 東京都港区六本木一丁目９番９号 六本木ファーストビル

A / B

環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用致しました。

MBJCSD 31320-011103900 E